

# 目 次

目 次	1
<b>I 2020（令和2）年度の主な活動</b>	<b>3</b>
*2020（令和2）年度入館者一覧	4
<b>II 資料の収集・利用</b>	<b>5</b>
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
<b>III 展示活動</b>	<b>7</b>
III-1 総合展示	7
1)〈京の歴史〉ゾーン	7
2)〈京のまつり〉ゾーン	9
3)〈京の至宝と文化〉ゾーン	13
4)3階展示室	30
III-2 特別展示	31
*2020（令和2）年度特別展一覧	42
III-3 映 画	43
1) 常設上映	43
2) 特別企画・共催事業	44
3) 映像ギャラリー常設展示	46
III-4 京都学・歴彩館における展示	47
<b>IV 調査研究活動</b>	<b>49</b>
IV-1 学芸員の活動	49
1) 研 究	49
2) 出講・委嘱	49
3) 業 績	50
<b>V 普及活動</b>	<b>52</b>
V-1 出版物	52
1) 研究紀要『朱雀』	52
2) 年報	52
3) 展覧会図録	52
V-2 音楽会	53
V-3 京都アート・クラフトマーケット	53
V-4 学習普及外部連携室	53
1) ボランティア	53
2)「ぶんぱく子ども教室」事業	54
3) 団体見学案内	54
V-5 博物館実習	55
V-6 資料・情報公開	55

1) 資料閲覧室 .....	55
2) ホームページによる広報とコンテンツの提供 .....	55
V-7 外部連携活動 .....	56
1) 他館との連携 .....	56
2) 京都府内の学校との連携事業 .....	56
3) 地域との連携 .....	57
V-8 京都文化博物館友の会 .....	58
1) 会 員 .....	58
2) 事業概要 .....	59
V-9 文化財保護基金室 .....	59
1) 貸付け事業 .....	59
2) 文化財保護に関する巡回よろず相談 .....	59
3) 文化財保護の啓発普及 .....	60
<b>VI ギャラリー事業 .....</b>	<b>61</b>
VI-1 5・6階展示室 .....	61
1) 京都文化財団展示室運営委員会 .....	61
2) 美術・工芸作家の利用 .....	61
3) 生涯学習的発表期間の利用 .....	62
4) 一般の利用 .....	63
VI-2 別館ホール .....	64
<b>VII 管理・運営 .....</b>	<b>66</b>
VII-1 組織と職員 .....	66
1) 組 織 .....	66
2) 京都文化財団 .....	66
3) 京都文化博物館 .....	67
VII-2 施 設 .....	68
1) 本館関係 .....	68
2) 別館関係 .....	68
VII-3 館内店舗 .....	71
1) ろうじ店舗一覧 .....	71
2) 別館店舗 .....	71
3) 博和会・ろうじ店舗行事 .....	71
<b>VIII 2020（令和2）年度のあゆみ .....</b>	<b>72</b>
<b>IX 新型コロナウイルス感染症予防対策 .....</b>	<b>73</b>
IX-1 新型コロナウイルス感染症予防対策による 休止等の対応 .....	73
IX-2 展覧会の中止および変更 .....	73
IX-3 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン （第2次版） .....	74

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

# I 2020(令和2)年度の 主な活動

## I 概要

新型コロナウイルス感染症の感染者が国内で初めて確認されたのは、2020年1月のことである。2020年2月から6月までの主な動きや当館の対策等については、2019年度の年報にも記述したが、その後の状況等を加えて再掲する。

2月下旬に国が新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を決めたことに伴い、当館も2020年2月28日から同年3月23日まで総合展示室を閉室とした。(フィルムシアターは5月19日まで。特別展は休室中であった。)その後、「密閉空間」「密集」「密接」を避けることやサーモグラフィーを設置して発熱のある方には入館を控えていただくなどの感染防止対策を行い、3月24日から特別展「京都祇園祭—町衆の情熱・山鉦の風流」(以下「京都祇園祭」)及び総合展示室を開催した。しかし感染拡大は止まず、京都府及び京都市の要請により4月4日から特別展示室及び総合展示室を閉室した。この結果、祇園祭関係者をはじめ各方面の大きな協力により当館の全力を傾注して作り上げた特別展「京都祇園祭」(予定では5月17日まで)については開会式を断念、わずか10日間の開催となった。

4月16日には京都府も国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の対象となった。緊急事態宣言は5月25日まで続いたが、5月15日の時点で京都府が段階的な緊急事態措置の見直しを行い、休止要請を解除した。これを受けて当館も詳細な感染拡大予防ガイドラインを作成し、高性能サーモグラフィー設置、エントリースーツ提出、入場者数制限等の三密対策を含む徹底した対策をとった上で、5月19日から開館した。(6月19日までは18時閉館。)なおフィルムシアターは5月20日から再開したが、夜の上映は6月19日まで休止するとともに、密を避けるために座席は定員の半数78席とし9月25日まで継続した。

「京都祇園祭」以外の特別展や総合展にも大きな影響が生じた。2つの特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」(6月6日～7月19日開催予定)と「鈴木敏夫とジブリ」(7月30日～9月25日開催予定)は、いずれも延期。「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」は2022年2月26日～4月10日、「鈴木敏夫とジブリ」は2022年4月23日～6月19日開催予定。)このため急遽、代替の展覧会を準備する必要に迫られた。

途中休止となった特別展「京都祇園祭」については、祇園祭が元来疫病退散を祈願する祭であることから、このような時期にこそ開催する意義があると考え取り組んできたが、祭の山場である山鉦巡行自体の中止が決まるといって誠に残念な事態となった。それでも、祇園祭の素晴らしさや祭に込められた願いを伝えたいとの思いは消えなかった。そこで、巡行が休止になり当面展示室から搬出する必要のなくなったご神体や懸装品などを、関係者のご理解をいただき新たな形で展覧会を組み立て特別企画展「祇園祭 京都の夏を彩る祭礼」として6月20日から7月26日まで開催することができた。

さらに、8月12日から9月22日までは京都府所蔵資料で構成する「池大雅 文人たちの交流」展及び「木島櫻谷と京都画壇 京都三条・大橋家コレクション」展を同時開催した。両展は総合展示として開催する予定を変更して、展示内容を充実させて特別企画展として構成した。このため総合展示の計画にも調整が必要となり「皆川月華・泰蔵」展と「京都府内の学校所在資料」展の期間を変更するなど対処した。

7月以降の特別展は感染拡大防止に最大限の注意を払いながら、予定通り開催することができた。「舞妓モダン」展は館の独自企画として開催した。東京オリンピック・パラリンピックで見込まれた外国人客にも喜んでもらえる華やかな、そして知っているようで知らない舞妓の歴史に光を当てた好企画であったが、東京オリンピック・パラリンピックの延期やコロナ禍の影響は解消できず、もっと多くの方にご覧いただきたい展覧会であった。それでも会場には芸舞妓さんの姿も見られるなど、華やいだ雰囲気の良い展覧会となった。

「木梨憲武展 Timing—瞬間の光り—」展はアーティストの人気やキャラクターが如実に反映した展覧会となった。

混雑も想定して展示室内が一定の人数を超えた場合は入室制限することを決め、ゆとりある展示空間とするなど万全の感染予防対策を立てて臨んだ。連日、若い世代や家族連れから中高年まで様々な層の入場者でにぎわった。展示室は自由で楽しいアート作品と入場者の笑顔であふれ、コロナ禍で不安な日々を忘れさせてくれる展覧会であった。

5階、6階の貸展示室及び別館ホールは利用キャンセルが相次いだ。大規模なイベントから個展まで、多くの作家、アーティストが活動の場を失った。こうした方々を少しでも応援する観点から、無観客でもインターネットを介したライブ配信で発表できるよう、別館ホールにおいて安定したネット配信に対応する設備の強化を行った。このようなネット配信はコロナ禍において非常に有効な手段であることから、別館ホールだけでなく京都国際ヒストリカ映画祭などにおいても活用した。こうした取組により令和2年度に5000件を超えるライブ配信等の視聴があったと推計しており、入館者の減少をカバーするほどには至らなかったものの、オンラインで博物館を訪れるという新しい形が生まれてきたと考えている。今後、展覧会に関する動画配信等も行うなどネットの時代に対応した取組を進めていきたい。

最後に、2021年1月5日から1月17日まで「文化庁メディア芸術祭京都展」を別館ホールを中心に開催した。これは2022年に予定される文化庁京都移転への歓迎ムードを盛り上げる意味も込めて、文化庁の委託を受けて実施したもの。「科学者の見つけた詩 世界を見つめる目」をテーマとして、詩（芸術）と科学をむすぶ現代アートや湯川秀樹ら科学者の言葉が開く地平を提示するユニークなものとなった。またフィルムシアターではメディア芸術祭に関連する映画・アニメの上映を行った。

### \*2020(令和2)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2020.4	19	4	23	140	258	398	159	262	421	0	200	498	698	705	1,824
5	277	360	637	0	0	0	277	360	637	0	0	1,000	1,000	1,273	2,910
6	1,198	1,156	2,354	666	260	926	1,864	1,416	3,280	824	0	2,079	2,903	4,410	10,593
7	1,036	1,243	2,279	4,731	1,325	6,056	5,767	2,568	8,335	0	0	2,430	2,430	6,630	17,395
8	1,278	1,815	3,093	1,986	872	2,858	3,264	2,687	5,951	0	100	2,308	2,408	5,207	13,566
9	1,313	1,903	3,216	3,028	1,480	4,508	4,341	3,383	7,724	0	1,215	14,002	15,217	6,618	29,559
10	998	1,533	2,531	2,672	2,124	4,796	3,670	3,657	7,327	0	2,175	4,477	6,652	7,261	21,240
11	775	3,151	3,926	3,474	3,681	7,155	4,249	6,832	11,081	3,659	2,976	4,877	11,512	8,987	31,580
12	1,276	1,566	2,842	0	0	0	1,276	1,566	2,842	1,088	682	3,334	5,104	4,898	12,844
2021.1	1,017	2,088	3,105	1,204	7,680	8,884	2,221	9,768	11,989	1,845	1,871	6,590	10,306	3,621	25,916
2	1,269	1,805	3,074	14,623	8,815	23,438	15,892	10,620	26,512	1,615	2,966	7,184	11,765	5,873	44,150
3	1,595	1,889	3,484	33,533	6,309	39,842	35,128	8,198	43,326	1,632	1,962	39,744	43,338	9,182	95,846
年度計	12,051	18,513	30,564	66,057	32,804	98,861	78,108	51,317	129,425	10,663	14,147	88,523	113,333	64,665	307,423
1日平均 (総270日) (特170日)	45	69	113	389	193	582	289	190	479						

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月4日(土)～5月18日(月)までの間、特別展、総合展、フィルムシアター 休室および臨時休館。

## Ⅱ 資料の収集・利用

### Ⅱ 概要

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立京都学・歴史館（旧京都府立総合資料館）所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を京都学・歴史館（旧総合資料館）から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館および京都学・歴史館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2020年度末での管理資料は55,160点、寄託資料が1,017点、一時保管資料が49点であった。

### Ⅱ-1 資料の収集

#### 1) 受 贈

##### 【管理資料】

分野	資料名	点数
諸工芸	石田征希《蓋物「飛鳥の春」》ほか	5
日本画	岡本大更《竹林七賢図》	1
日本画	土佐派文書ほか	1113
その他	京都舎密局《七宝鳳凰図》ほか	71
日本画	田代正子《宴の日》	1
歴史	金座極印	5
		小計 1,196点

#### 2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館蔵資料	歴史資料	95件	美術工芸	224件	考古	88件					407件
管理資料	日本画	8件 26点	陶 器	1件 89点	民 俗	4件 222点	武 具	2件 5点	染 織	3件 676点	18件 1018点

## II - 2 資料の利用

### 1) 貸 与

#### 【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市教育委員会	常設展
考古	平安京左京三条三坊十一町出土土甕	2	備前市教育委員会	備前市埋蔵文化財管理センター常設展
考古	旧日本銀行京都支店金庫棟外壁赤れんが	2	舞鶴市立赤れんが博物館	常設展

#### 【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	西川祐信「源氏物語図 若菜」ほか計3点	3	奈良県立美術館	展覧会「みやびの色と意匠 公家服飾から見る日本美」に出品のため
日本画	入江西一郎「絵本 竹取物語」原画ほか計11点	11	田辺市立美術館	展覧会「絵本にみる日本画」に出品のため
日本画	猪熊佳子「森の王(京都府最大のブナ)」ほか計7点	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画、陶芸	広田多津「おしろい」ほか計3点	3	京都市美術館(京都市京セラ美術館)	展覧会「京都の美術250年の夢 第1部～第3部総集編」に出品のため
日本画	小野竹喬「曇り日の海」ほか計2点	2	京都府立堂本印象美術館	展覧会「小野竹喬・春男一父と息子の切ない物語」に出品のため
日本画	曲子明良「丹後暮色」ほか計7点	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
寄託	緋威小札大鑑	1	京都市歴史資料館	展覧会「鞍馬 くらしと行事」展に出品のため
日本画、染織、吉川風俗	高嵩溪「大石良雄室像」ほか計21点	21	兵庫県立歴史博物館	展覧会「女たちのひょうご」展に出品のため
日本画	株式会社便利堂製《復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風雷神神図、酒井抱一筆夏草図屏風》	1	刀剣博物館	展覧会「日本刀 オモテとウラの世界」展に出品のため
日本画	上村淳之《鴛鴦》(いのち賛歌15)	1	内閣府迎賓館京都事務所	迎賓館における貴賓接遇に際し展示のため
考古	考古0001 銅鐸 ほか計4点	4	京都市考古資料館	展覧会「よみがえる京都のYayoi-同大生は見た!!」に展示のため
日本画	澤野慎平《雪の塔》(こころの京都16)ほか計7点	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	栗田真秀《月前群雁》	1	朝日町歴史博物館	展覧会「近代を生きた土佐派絵師 栗田真秀」への展示のため
染織	兼先恵子《覗き見る女》ほか計2点	2	染・清流館	展覧会「源氏を染める 兼先恵子」展に出品のため
日本画、洋画	浅野均《緑の南丹、亀岡盆地》(こころの京都28)ほか計6点	6	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	上村淳之《啼く》	1	松伯美術館	展覧会「上村淳之米寿記念II 上村松園・松篁・淳之三代展～鳥たちに魅せられて～」への展示のため
日本画	上村淳之《鴛鴦》(いのち賛歌15)ほか計2点	2	内閣府迎賓館京都事務所	迎賓館における貴賓接遇に際し展示のため
歴史	「七卿落図屏風」ほか計3点	3	下関市立歴史博物館	展覧会「海峡に魅せられた幕末の英傑」に出品のため
日本画	渡辺省亭《伊賀の局と天狗》	1	東京藝術大学大学美術館 岡崎市美術博物館 公益財団法人佐野美術館	展覧会「渡辺省亭—欧米を魅了した花鳥画」への展示のため
日本画	石本正《清水三年坂(産寧坂)》(京の百景76)	1	島根県立美術館	展覧会「生誕100年 回顧展 石本 正」に出品のため
日本画	岡村宇太郎《白鷺》ほか計3点	3	南丹市立文化博物館	展覧会特別展「岡村宇太郎展—花鳥・動物画の—」への展示のため

合計 21件 88点

### 2) その他

#### 【館蔵資料・管理資料担当】

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 69件 236点 特別観覧 6件 169点／管理資料：撮影・利用 29件 42点 特別観覧 4件 7点

#### 寄託資料—持ち出し・貸与

	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	絵画	上村松園「夕暮」	1	京都市京セラ美術館長	展覧会
管理資料	民俗	大船鉾神輿体及び神事祭事用品及び装飾品	31	公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼
	民俗	天冠ほか	3	公益財団法人四条町大船鉾保存会	祭礼



## Ⅲ 展示活動

### Ⅲ-1 総合展示 概要

京都文化博物館は、昭和63年の開館以来、京都の歴史や美術・工芸、文化を紹介する施設としての役割を担ってきたが、平成23年にこれまでの固定的な常設展を一新し、四季折々に「ほんまもん（京都の至宝やゆかりの名品）で体感する」を基本コンセプトに、名称を「総合展示」と改めるとともに、国宝・重要文化財を含む多様な展示にフレキシブルに対応できる展示室を整備した。京都市内で唯一、京の通史を紹介する〈京の歴史〉ゾーンを核とし、ここでは語り尽くせないテーマを様々な角度から取り上げ「ほんまもん」で紹介する企画展示ゾーン〈京の至宝と文化〉〈京のまつり〉から構成されている。館蔵資料、管理資料、寄託資料をはじめ、他の美術館や博物館、寺社などの貴重で多彩な名品の数々で、展示内容や規模によって3階展示室も柔軟に利用しながら京都文化を紹介している。永い歴史に育まれた京都文化を語るには総体的な展示スペース不足の問題があるが、規模は大きくなくとも年間14～15に及ぶ質の高い企画展を展開しており、多様で重層的な京都文化の様々な側面を幅広く来館者に楽しんでいただいている。

#### 1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの

政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



【〈京の歴史〉ゾーン 展示資料】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈* *〉
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴史館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴史館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈* *〉	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴史館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴史館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴史館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	〈* *〉	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点
実物資料	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	〈* *〉
		28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	〈* *〉
		29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	〈* *〉
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	〈* *〉
		31	土器 雲林院跡出土	37点	〈* *〉
		32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	〈* *〉
		33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	〈* *〉
		34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	〈* *〉
	中世都市市民の生活	35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	〈* *〉
		36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	〈* *〉
		37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	〈* *〉
		38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	〈* *〉
		39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈* *〉
		40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈* *〉
	近世町人のなりわい	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	〈* *〉
		42	京童	1冊	〈* *〉
		43	都名所図会	1冊	〈* *〉
		44	つぼつぼ	9点	〈* *〉
		45	でんぼ	1組	個人
		46	伏見人形 布袋	1点	〈* *〉
		47	伏見人形 饅頭喰い	2点	〈*〉
		48	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	〈* *〉
		49	柄鏡	1点	〈*〉

※所蔵欄 〈\*〉印の資料は京都府立京都学・歴史館(旧総合資料館)蔵(当館管理)、〈\* \*〉印の資料は当館蔵



## 2) <京のまつり>ゾーン

### ① 京の翠とわざの粹 -緑釉陶器と緑釉瓦-

会 期：2020年4月11日(土)～6月21日(日)  
(但し、新型コロナウイルス感染症対策のため、5月19日～8月30日まで開催)

概 要：平安時代の京の人々に好まれた緑釉陶器と緑釉瓦に焦点をあて、その奥深さと面白さを紹介した。展示構成は、「プロローグ 捧げる翠と、用いる翠 -奈良・平安時代の施釉陶器-」「第1章 翠をまとわせる -わざの粹-」「第2章 京の器とその翠」「第3章 京の甍と

その翠」「第4章 陶技千年 -翠のわざをリバイバル!-」であり、緑釉陶器と緑釉瓦を生産地と消費地のそれぞれから総合的に紹介する初の展覧会となった。

主 催：京都府、京都文化博物館、  
公益財団法人古代学協会

協 力：公益財団法人生涯学習かめおか財団

出品資料数：24件

担当者：村野正景

#### 【「京の翠とわざの粹 -緑釉陶器と緑釉瓦-」出品目録】

No.	資料名	時代	遺跡	管理・所蔵
1	三彩陶器	奈良時代	神雄寺跡(馬場南遺跡)	木津川市教育委員会
2	緑釉単彩陶器	奈良時代	長岡京跡	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所
3	緑釉陶器	平安時代	平安京左京二条二坊跡(冷然院)	京都市
4	緑釉瓦、軒丸瓦、窯道具	平安時代	吉志部瓦窯跡	吹田市立博物館/大阪府教育委員会
5	緑釉瓦、軒丸瓦	平安時代	醍醐の森瓦窯跡	京都文化博物館
6	二彩陶器、緑釉陶器素地、窯道具	平安時代	栗栖野窯跡	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所
7	緑釉陶器、須恵器、緑釉陶器素地、窯道具	平安時代	石作窯跡	京都文化博物館
8	緑釉陶器、須恵器、緑釉陶器素地	平安時代	灰方窯跡	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所
9	緑釉陶器、須恵器、緑釉陶器素地、窯道具	平安時代	篠窯跡群(大谷窯跡)	大阪大学考古学研究室
10	緑釉陶器、須恵器、窯道具	平安時代	篠窯跡群(騎馬ヶ谷窯跡)	亀岡市教育委員会
11	緑釉陶器、須恵器、緑釉陶器素地	平安時代	篠窯跡群(黒岩窯跡)	亀岡市教育委員会/公益財団法人京都市埋蔵文化財調査研究センター
12	緑釉陶器	平安時代	篠窯跡群(西長尾窯跡)	公益財団法人京都市埋蔵文化財調査研究センター
13	緑釉陶器、軒瓦、須恵器、緑釉陶器素地、窯道具	平安時代	篠窯跡群(西山窯跡)	大阪大学考古学研究室
14	緑釉陶器、灰釉陶器、須恵器、土師器、黒色土器	平安時代	平安京左京二条二坊跡(冷然院)	京都市
15	緑釉陶器、灰釉陶器、白色土器、越州窯青磁	平安時代	平安宮内裏蘭林坊跡	京都文化博物館
16	緑釉陶器	平安時代	平安京左京八条三坊跡(七条町辺)	京都文化博物館
17	緑釉陶器、灰釉陶器、中国産白磁、中国産青磁	平安時代	平安京西寺跡	京都文化博物館
18	緑釉瓦	平安時代	平安宮朝堂院跡	京都文化博物館
19	緑釉瓦	平安時代	平安宮豊楽院跡	京都文化博物館
20	緑釉瓦	平安時代	仁和寺門堂院跡	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所
21	緑釉瓦	平安時代	法成寺跡	京都府教育委員会/京都府立鴨沂高等学校
22	緑釉陶器復元品	現代	-	千年前と今をつなぐ篠窯・焼き物プロジェクト
23	絵巻物	現代	-	公益財団法人生涯学習かめおか財団/ペリーマキコ
24	緑釉陶器復元実験映像	現代	-	公益財団法人古代学協会

\*冷然院跡出土資料は京都市指定文化財です。

## ② 町のちから — 三条御倉町文書の世界 —

会 期：2020年9月5日(土)～11月1日(日)  
 概 要： 平安時代より基幹通りとして機能してきた三条通りの中、烏丸通西入に所在する両側町が御倉町である。当該町は平安時代以来、西三条内裏や藤原基隆邸が所在する地域として著名で、中世に至っても特権的な職商人の根拠地として諸史料に姿を現す。江戸時代に至ると、法衣商として名を馳せた千切屋の根拠地となり、また祇園祭においては神輿の駕輿

丁（輿舁）を出す町となっていった。このような御倉町の実態を伝える町有文書が、近年当館に寄託され、本展では、この三条御倉町文書を通して、江戸時代における京都の町のあり方とそこに蓄積された文化について展観した。

出品資料数：18点  
 担当者：西山剛

## 【「町のちから—三条御倉町文書の世界—」出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	備考	展示期間
1	文書箱	一合	文政8年(1825)1月	木製	当館寄託
2	三好政生書状	一幅	室町時代 16世紀	紙本墨書	大橋家旧蔵文書 (京都府蔵<京都文化博物館管理>)
3	三好政生書状 添書	一枚	明治6年(1873)12月	紙本墨書	大橋家旧蔵文書 (京都府蔵<京都文化博物館管理>)
4	三条室町御倉町文書 (市原浄安後家金子借用証文等)	一卷	江戸時代 17世紀	紙本墨書	当館寄託
5	宗門人別改帳	一式	江戸時代 18世紀-19世紀	紙本墨書	当館寄託
6	寺請・借屋請状綴	一冊	江戸時代 19世紀頃	紙本墨書	当館寄託
7	町触	一卷	江戸時代 18世紀-19世紀	紙本墨書	当館寄託
8	定(組中参会の節の定)	一枚	寛延3年11月21日	紙本墨書	当館寄託
9	当町年寄役二付町儀控	一冊	宝暦9年(1760)	紙本墨書	大橋家旧蔵文書 (京都府蔵<京都文化博物館管理>)
10	組町書	一鋪	江戸時代 19世紀	紙本墨書	大橋家旧蔵文書 (京都府蔵<京都文化博物館管理>)
11	祇園会行事覚・添行事書上	一枚	江戸時代 18世紀-19世紀	紙本墨書	当館寄託
12	御輿供奉役割表	一枚	江戸時代 18世紀-19世紀	紙本墨書	当館寄託
13	御轆新調諸入用之記	一冊	寛政7年(1795)7月	紙本墨書	当館寄託
14	申達(駕輿丁近年人数及減少につき)	一通	江戸時代 19世紀	紙本墨書	当館寄託
15	東寺学等僧正賢賀書 地蔵尊刻字拓本	一枚	江戸時代 18世紀-19世紀	紙本墨書	当館寄託
16	神泉苑戒順書状(地蔵尊額字之義につき)	一枚	江戸時代 18世紀-19世紀	紙本墨書	当館寄託
17	定(毎月廿四日香白御膳供につき)	一枚	明和9年(1772)	紙本墨書	当館寄託
18	地蔵尊集銀控	一冊	文政元年(1818)7月2日 -慶応元年(1865)12月	紙本墨書	当館寄託

### ③ 近代博覧会と京都の産業 — 観光と染織産業を中心に —

会 期：2020年11月7日（土）～2021年1月11日  
（月・祝）

概 要：幕末から明治初期にかけて、京都は政治的混乱と戦火に見舞われ、さらに東京への遷都が決定的となり、心情的にも経済的にも市民は大きな打撃を受けた。しかし新たな近代都市としての町づくりと産業の活性化、貿易振興が積極的にすすめられ、再生を計っていく。

本展では、観光と染織産業を中心に明治初期の京都に焦点をあてた。京都は明治以前から日本人にとっては訪れたい観光地のひとつであったが、近代以降、外国人にも積極的に開いていく。さらに近世には寺社や皇室の需

要が大きかった染織業は、海外に目を向けて新たな需要を見出していくとともに、西欧の新しい技術も積極的に取り込んでいく。こうした動きの要に博覧会がある。明治4年、東京に先駆けて開いた京都博覧会はその後、毎年京都で開催されるとともに、新政府が進めてきた全国的な内国勸業博覧会の第4回目を京都・岡崎で開催する。染織や陶磁器等の伝統産業の新たな進展について博覧会を軸にその様相をたどる。

出品資料数：30件

担当者：畑 智子

#### 【「近代博覧会と京都の産業 — 観光と染織産業を中心に」展 出品資料一覧】

	資料名	作者	年代	員数	所蔵
1	也阿弥ホテル		明治中期	1	京都府(文博管理)
2	也阿弥ホテル(写真)		明治中期	4	京都文化博物館
3	京都新名所四季図屏風	森寛斎	明治6(1873)	二曲一双	京都府(文博管理)
4	The Guide to the Celebrated places in Kyoto & the surrounding places	山本覚馬	明治6(1873)	1	京都府立京都学・歴史館
5	「萬物化成」	横村正直	明治初期	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
6	舎密局・明石医療所門標		明治初期	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
7	明石博高 肖像画		明治	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
8	明石博高旧蔵 顕微鏡		明治	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
9	明石博高旧蔵 ルーペ		明治	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
10	明石博高旧蔵 懐中時計		明治	3	京都府(文博管理)明石家旧蔵
11	鳳凰文七宝	京都舎密局	明治13(1880)	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
12	天鷲絨友禅五重塔		明治初期	1	京都府(文博管理)明石家旧蔵
13	京都織殿製織物見本帖	織殿	明治初期	1	京都国立博物館
14	四世伊達弥助 裂見本帖	四世伊達弥助	明治5(1872)頃	1	西陣織物館
15	参考裂	六世伊達弥助編	大正5(1916)編	20	西陣織物館
16	伊達家 織物裂帖	伊達虎一編	明治8-21(1875-88)	1	西陣織物館
17	寄せ裂打敷	伊達虎一編	昭和初期編	1	京都国立博物館
18	ジャカード機 *京都市指定文化財	荒木小平	明治10(1877)	1	西陣織物館
19	鹿に薄 刺繍	西村總左衛門	明治後期	1	京都府(文博管理)
20	夕陽に帆掛舟 刺繍	西村總左衛門	明治後期	1	京都府(文博管理)
21	京都博覧会場之図		明治10(1877)	1	京都府立京都学・歴史館
22	京都博覧会場圖		明治15(1882)	1	京都府立京都学・歴史館
23	第四回内国勸業博覧会 模型	工房夢屋	昭和63(1988)	1	京都文化博物館
24	第四回内国勸業博覧会会場敷地 京都市東山近傍略図	日出新聞編	明治26(1893)	1	京都府立京都学・歴史館
25	第四回内国京都府勸業博覧会図	豊原国周	明治28(1895)	1	京都府立京都学・歴史館
26	第四回内国勸業博覧会図譜及看覧人心得	第四回内国勸業博覧会事務局編	明治28(1895)	1	京都府立京都学・歴史館
27	第四回内国博覧会平安神社大極殿之圖	京都絵画館編	明治28(1895)	1	京都府立京都学・歴史館
28	平安遷都紀年祭紀事 巻上	京都市参事会編	明治29(1896)	1	京都府立京都学・歴史館

29	Masterpieces of Industrial art and Sculpture at the International Exhibition 1862 Vol.III	J.B.Waring	1862	1	京都府立京都学・歴史館
30	Keramic Art of Japan Vol.II	J. L.Bowes, G. A. Audsley	1875	1	京都府立京都学・歴史館

#### ④ 雛人形名品展

会 期：2021年2月2日(火)～4月4日(日)

概 要：京都府には、江戸時代からのさまざまな人形とその関連資料が収蔵されており、例年、上巳の節句（桃の節句）にあわせた展示を行っている。本年は、京都府コレクションから選りすぐった雛人形の優品とあわせ、江戸時代後期の天児（あまがつ）・這子（ほうこ）や大正時代の御殿雛、江戸時代から明治時代の子供の振袖、現代の型染作家である澁谷和子の「雛祭」を紹介した。

出品資料数：23件

担当者：林 智子



雛人形名品展

#### 【「雛人形名品展」 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	備考	展示期間
1	天児	江戸時代後期		通期
2	這子	江戸時代後期		通期
3	雛人形 立雛	江戸時代後期		通期
4	雛人形 元禄雛	江戸時代中期		通期
5	雛人形 享保雛	江戸時代中期		通期
6	雛人形 有職雛	江戸時代後期		通期
7	雛人形 古今雛	江戸時代後期		通期
8	雛人形 古今雛	江戸時代後期		通期
9	雛人形 古今雛	江戸時代後期		通期
10	雛人形 古今雛	江戸時代後期		通期
11	御殿雛	大正時代		通期
12	御所人形 びんぶく童子ほか	江戸時代後期		通期
13	雛屏風	江戸時代後期		通期
14	市松人形	昭和時代前期		通期
15	雛道具 台所ほか			通期
16	陶器雛	明治時代		通期
17	三つ折れ人形	大正時代		通期
18	三つ折れ人形	明治時代～大正時代		通期
19	衣裳着人形「富士丸と桜子」	昭和45年(1970)	岡本正太郎作	通期
20	御簾貝桶文様振袖	江戸時代中期		通期
21	馬具散文様振袖	江戸時代後期		通期
22	釣花文様振袖	明治時代		通期
23	雛祭	平成元年(1989)	澁谷和子作	通期

\*全て京都府所蔵(京都文化博物館管理)

### 3) <京の至宝と文化>ゾーン

#### ① 生誕140周年 津田青楓と京都

会 期：2020年4月25日(土)～6月14日(日)  
 (但し、新型コロナウイルス感染症対策のため、5月19日～6月14日まで開催)

概 要：本展覧会では、多彩な活動と幅広い交流で知られる画家・津田青楓の作品・資料を、京都での活動に焦点を合わせながら紹介した。2020年は津田の生誕140年にあたる。それを記念して練馬区立美術館で開催された「生誕140年記念 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和

展」とも連携して、展覧会を開催した。

出品資料数：68件（その他、資料多数）

担当者：清水智世

#### 【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日 時：5月29日(金)、6月5日(金)午後6時～

(但し、新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

#### 【「生誕140周年 津田青楓と京都」展 出品資料一覧】

No.	前期	後期	作者	タイトル	制作年	素材	所蔵
1	○	○	津田青楓 (編集)	『華橋』(本田雲錦堂)	1899.6	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
2	○	○	津田青楓 (編集)	『華紋譜 花之巻』(本田雲錦堂)	1899.6	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
3	○	○	津田青楓 (編集)	『華紋譜 楓之巻』(本田雲錦堂)	1900.4	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
4	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』1巻(本田雲錦堂)	1899.8	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
5	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』2巻(本田雲錦堂)	1899.11	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
6	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』3巻(本田雲錦堂)	1900.1	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
7	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』4巻(本田雲錦堂)	1900.2	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
8	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』5巻(本田雲錦堂)	1900.6	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
9	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』6巻(本田雲錦堂)	1901.1	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
10	○	○	津田青楓 (編集)	『青もみぢ』1巻～6巻の合本	1899.8-1901.1	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
11	○	○	津田青楓	『青もみぢ』7巻、9巻(芸艸堂)	1899.9,11	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
12	○	○	津田青楓	『紋様小品』1巻(本田雲錦堂)	1900.8	木版、紙	芸艸堂
13	○	○	津田青楓	『紋様小品』2巻(本田雲錦堂)	1902.4	木版、紙	芸艸堂
14	○	○	津田青楓 (編集)	『うづら衣』2巻(山田芸艸堂)	1903.9	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
15	○	○	津田青楓 (編集)	『うづら衣』(山田芸艸堂)	1903	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
16	○	○	浅野古香	『匂い』(刷本)	1903	冊子	スコット・ジョンソン氏
17	○	○	津田青楓	『染織図案』1巻(山田芸艸堂)	1904.3	木版、紙	芸艸堂
18	○	○	津田青楓	『染織図案』2巻(山田芸艸堂)	1904.3	木版、紙	芸艸堂
19	○	○	津田青楓	『染織図案』3巻(山田芸艸堂)	1904.3	木版、紙	芸艸堂
20	○	○	津田青楓	『染織図案』4巻(山田芸艸堂)	1904.3	木版、紙	芸艸堂
21	○	○	津田青楓 他	『競華』(山田芸艸堂)	1904.4	木版、紙	芸艸堂
22	○	○	津田青楓	『ナツ艸』(山田芸艸堂)	1904.4	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
23	○	○	津田青楓	『小美術』1巻2号(山田芸艸堂)	1904.5	木版ほか、紙	スコット・ジョンソン氏
24	○	○	津田青楓 (編集)	『小美術』1巻5号(山田芸艸堂)	1904.5	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
25	○	○	津田青楓 (編集)	『小美術図譜』(山田芸艸堂)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
26	○	○	津田青楓 (編集)	『小美術図譜』(山田芸艸堂)	1904.9	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
27	○	○	津田青楓	「茶園」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
28	○	○	津田青楓	「しのぶ」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
29	○	○	津田青楓	「鳥四種」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
30	○	○	津田青楓	「雀」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
31	○	○	津田青楓	「落花」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
32	○	○	津田青楓	「砂搬車」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂

33	○	○	津田青楓	「すみれ」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
34	○	○	津田青楓	「糸瓜」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
35	○	○	津田青楓	「夕栄」(『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
36	○	○	津田青楓	「戦地図案其一(弾薬車)」 (『小美術図譜』より)	1904.9	木版、紙	芸艸堂
37	○	○	津田青楓、浅野古香	『落柿 上』(山田芸艸堂)	1906	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
38	○	○	津田青楓、浅野古香	『落柿 下』(山田芸艸堂)	1906.9	木版、紙	スコット・ジョンソン氏
39	○	○	津田青楓(装幀)	『装丁図案集』(芸艸堂)	1929	書籍	スコット・ジョンソン氏
40	○	○	西川一草亭	瓶梅図	1929	紙本墨画淡彩	京都府 (京都文化博物館管理)
41	○	○	谷口香嶠	紫裾濃大鏡	—	絹本着色	京都府 (京都文化博物館管理)
42	○	○	津田青楓	母子参詣図	—	水彩、紙	星野画廊
43	○	○	津田青楓	暮れゆく橋	1910	油彩、キャンバス	京都国立近代美術館
44	○	○	津田青楓	お茶の水風景	1918	紙本墨画淡彩	京都市美術館
45	○	○	津田青楓	ダリヤ	1910	油彩、板	星野画廊
46	○	○	津田青楓	電線のある風景	1911	油彩、キャンバス	星野画廊
47	○	○	津田青楓	海辺の村	1912	油彩、キャンバス	京都国立近代美術館
48	○	○	津田青楓	社	1917	油彩、ボード	京都市美術館
49	○	○	津田青楓	横たわる裸婦	1926	鉛筆、水彩、紙	星野画廊
50	○	○	津田青楓	研究室に於ける河上肇像	1926	油彩、キャンバス	京都国立近代美術館
51	○	○	狩野直喜・津田青楓・ 河上肇・河上左京	書画帖	1928.6	紙本墨画淡彩	京都大学文書館
52	○	○	津田青楓(筆) 河上肇(賛)	三果図	1938	紙本墨画淡彩	京都大学文書館
53	○	○	津田青楓	頬杖の女	1930	木版、紙	京都国立近代美術館
54	○	○	黒田重太郎	雪後(雪跡)	1925	油彩、キャンバス	京都府 (京都文化博物館管理)
55	○	○	今井憲一	豊子像	1931	油彩、キャンバス	京都精華大学情報館
56	○	○	今井憲一	ニコライ堂	1931	油彩、板	京都精華大学情報館
57	○	○	近藤悠三	山噴煙染付花瓶	1964	陶器	京都府 (京都文化博物館管理)
58	○	○	大月源二	山宣デス・スケッチ	1929	コンテ、紙	山本宣治資料館
59	○	○	大月源二	告別	1929	油彩、キャンバス	山本宣治資料館
60		○	津田青楓	草花図	—	絹本着彩	京都市美術館
61	○	○	津田青楓	葡萄籠盛図	—	紙本墨画淡彩	星野画廊
62		○	津田青楓	菊	—	紙本墨画淡彩	星野画廊
63	○		津田青楓	蓬萊仙境	大正期	絹本着彩	星野画廊
64		○	津田青楓	桃源図	1921	紙本着彩	星野画廊
65	○		津田青楓	赤椿(阿蘭陀水指)	1924	紙本着彩	星野画廊
66	○		津田青楓	秋声賦	1932	紙本墨画淡彩	京都市立美術館
67		○	津田青楓	歳寒五清図	1938	紙本墨画淡彩	京都国立近代美術館
68	○		津田青楓	歳寒五清図	1938	紙本墨画淡彩	京都国立近代美術館

その他、資料多数出品



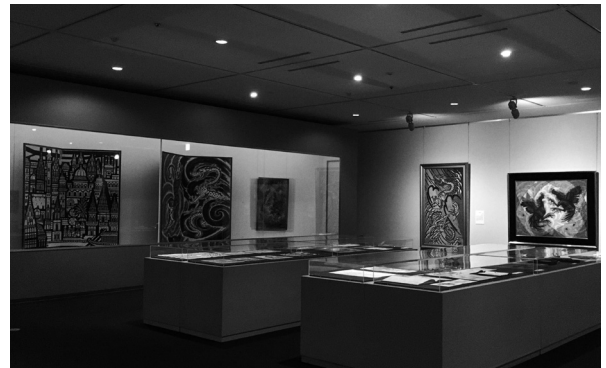
## ② 皆川月華・泰蔵

会 期：2020年6月20日(土)～8月16日(日)  
 (但し、新型コロナウイルス感染症対策のため、6月20日～9月13日まで開催)

概 要：皆川月華（1892-1987）は、日本近代染色の先駆的な役割を果たした作家である。明治25（1892）年京都市に生まれた月華は、はじめ画業を志すが、染色図案を学びデザイナーとして活躍した経験や、古い染織品の裂に興味を惹かれたことから、染色の制作の道に入った。染色分野の作家の少ない中、独学で試行錯誤の苦労を重ねながら、天然染料の深みのある色を、作品に生かすべく研究した。皆川泰蔵（1917-2005）は、京都に生まれ、京都市立美術工芸学校図案科に学んだ作家である。昭和19年（1944）、皆川月華の長女・千恵子（日本画家、1924-）と結婚し皆川姓となった。国内外の旅行を重ね、「対象から受けた感動の残像を、ぎりぎりまで単純化を重

ね、現実の風景を抽象化し、力強く魅力に満ちた作品を制作する」姿勢から、多くの作品を制作した。本展では、京都府所蔵の月華・泰蔵による作品と下絵類を紹介した。

出品資料数：11件  
 担当者：林 智子



皆川月華・泰蔵

### 【「皆川月華・泰蔵」展 出品一覧】

No.	資料名	作者等	制作年代	員数	所蔵者	展示期間
1	オランダ土産	皆川 月華	1965		※	通期
2	双鶏	皆川 月華	1963		※	通期
3	龍(昇龍)	皆川 月華	1973		※	通期
4	龍虎幻想	皆川 月華	1975		※	通期
5	波	皆川 月華	1987		※	通期
6	ベナレスの月	皆川 泰蔵	1969		※	通期
7	ソビエトキエフソフィア寺院	皆川 泰蔵	1972		※	通期
8	西藏ポタラ宮	皆川 泰蔵	1987		※	通期
9	ヒワ旅情・中央アジア	皆川 泰蔵	1990		※	通期
10	法隆寺弦月	山鹿 清華	1956		※	通期
11	下絵類	皆川 月華				通期
参考出品	市松人形	衣装：皆川 月華				通期

※は京都府所蔵(京都文化博物館管理)

### ③ 明智光秀と戦国京都

会 期：2020年6月20日(土)～8月16日(日)  
 前期展示：6月20日(土)～7月19日(日)  
 後期展示：7月22日(水)～8月16日(日)  
 概 要：本能寺の変で主君織田信長を殺害したことで知られる明智光秀は、戦国時代の京都を考える上でも重要な人物である。本展覧会では、永禄11年(1568)、織田信長が足利義昭を奉じて上洛した際には義昭の被官として、やがて

義昭が京を追われると信長の代官として、洛中の支配に携わった明智光秀に焦点を当て、戦国乱世にあっても政局の中心地であった京都の様相とあわせて紹介した。

協 力：京都府立京都学・歴史館、京都府立大学文学部歴史学科

出品資料数：49件  
 担当者：長村祥知

#### 【「明智光秀と戦国京都」展 出品一覧】

No.	指定	資料群名	資料名	時代・年月日	員数	所蔵者	展示期間
1			紺糸威胴丸	室町-戦国時代 15-16世紀	1領	京都府蔵(京文博管理)	通期
2			色々威腹巻	戦国時代 16世紀	1領	京都府蔵(京文博管理)	通期
3	国宝	東寺百合文書	室町幕府奉行人連署奉書	永正8年(1511)7月16日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
4	国宝	東寺百合文書	御敵退治祈禱修僧結番廻請	永正8年(1511)7月日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
5			大内義興像	江戸時代	1幅	京都府蔵(京文博管理)	前期
6	国宝	東寺百合文書	足利義晴御判御教書	大永7年(1527)11月18日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
7	国宝	東寺百合文書	三好元長安堵状	大永8年(1528)正月16日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
8	国宝	東寺百合文書	巻数所進所々注文	大永8年(1528)5月15日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
9	国宝	東寺百合文書	細川氏綱書下	(天文15年=1546)10月10日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
10	国宝	東寺百合文書	細川国慶書状	(天文15年=1546)10月24日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
11	重要文化財	革嶋家文書	三好長慶禁制	天文19年(1550)7月日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
12			三好長慶像(模本)	近代 原本：元亀2年(1571)	1幅	京都大学総合博物館	前期
13	国宝	東寺百合文書	細川晴元書状	(年未詳)7月5日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
14		若杉家文書	足利義輝泰山府君祭都状案	弘治3年(1557)7月吉曜	1通	京都府立京都学・歴史館	通期
15		龍安寺文書	細川氏綱書状	(天文18年=1549)3月22日	1通(1巻)	龍安寺	前期
16		龍安寺文書	細川氏綱書状	(年未詳)6月26日	1通(1巻)	龍安寺	前期
17		龍安寺文書	上原国忠書状	(年未詳)12月19日	1通(1巻)	龍安寺	前期
18		龍安寺文書	柴島正範・秀景連署状	(天文18年=1549)3月16日	1通(1巻)	龍安寺	前期
19		龍安寺文書	内藤貞祐書状	(永禄3年=1560)12月21日	1通(1巻)	龍安寺	前期
20		龍安寺文書	今村慶満書状	(天文18年=1549)3月22日	1通(1巻)	龍安寺	後期
21		龍安寺文書	多羅尾綱知書状	(天文18年=1549)3月21日	1通(1巻)	龍安寺	後期
22		龍安寺文書	竹内季治書状	(永禄4年=1561)閏3月10日	1通(1巻)	龍安寺	後期
23		龍安寺文書	上原国忠書状	(年未詳)11月19日	1通(1巻)	龍安寺	後期
24		龍安寺文書	内藤宗勝書状	(年未詳)12月24日	1通(1巻)	龍安寺	後期
25			三好義興像(模本)	近代	1幅	京都大学総合博物館	後期
26	国宝	東寺百合文書	三好義継禁制	永禄8年(1565)7月日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
27	国宝	東寺百合文書	三好長逸等連署禁制	永禄8年(1565)12月日	1通	京都府立京都学・歴史館	後期
28	国宝	東寺百合文書	池田勝正禁制	永禄8年(1565)11月23日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
29	国宝	東寺百合文書	松永久秀書状	(永禄6年=1563)4月11日	1通	京都府立京都学・歴史館	前期
30	国宝	東寺百合文書	一乗院覚慶禁制	永禄8年(1565)10月11日	1幅	京都府立京都学・歴史館	前期
31		和田家文書	一乗院覚慶書状	(永禄8年=1565)12月29日	1通	京都市歴史資料館	後期
32		和田家文書	足利義秋書状	(永禄9年=1566)卯月18日	1通	京都市歴史資料館	後期
33		和田家文書	足利義秋書状	(永禄9年=1566)6月11日	1通	京都市歴史資料館	後期
34	国宝	東寺百合文書	織田信長禁制	永禄11年(1568)9月日	1幅	京都府立京都学・歴史館	前期
35			旧二条城跡出土石仏	室町-戦国時代 15-16世紀		京都文化博物館保管	通期

36		立入家文書	元龜二年御借米之記	元龜2年(1571)11月10日	1冊	京都市歴史資料館	後期
37	重要文化財	革嶋家文書	織田信長書状	(元龜2年=1571)8月14日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	前期
38	重要文化財	革嶋家文書	織田信長朱印状	元龜元年(1570)卯月23日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	前期
39	重要文化財	革嶋家文書	織田信長朱印状	元龜3年(1572)9月3日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	前期
40	重要文化財	革嶋家文書	織田信長朱印状	(元龜3年=1572)9月28日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	後期
41	重要文化財	革嶋家文書	明智光秀書状	(元龜4年=1573)2月14日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	前期
42	重要文化財	革嶋家文書	明智光秀書状	(元龜4年=1573)2月24日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	前期
43	重要文化財	革嶋家文書	明智光秀書状	(年未詳)6月17日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	後期
44	重要文化財	革嶋家文書	明智光秀書状	(天正元年=1573)10月9日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	後期
45	重要文化財	革嶋家文書	滝川一益書状	(元龜3年=1572)9月28日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	後期
46	重要文化財	革嶋家文書	柴田勝家書状	(元龜4年=1573)3月朔日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	後期
47	重要文化財	革嶋家文書	室町幕府奉行人連署奉書	元龜元年(1570)4月28日	1通(1巻)	京都府立京都学・歴史館	パネル展示
48		立入家文書	立入家記 壱	明治時代	1冊	京都市歴史資料館	通期
49	京都市	本能寺跡出土品	「毘」字銘軒丸瓦	戦国時代 16世紀	5点	京都市文化財保護課	後期

#### ④ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝10 近衛家歴代－歴代関白記と和歌懐紙－

会 期：2020年8月22日(土)～10月18日(日)

前期展示＝8月22日(土)～9月17日(木)

後期展示＝9月19日(土)～10月18日(日)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「近衛家歴代－歴代関白記と和歌懐紙－」をテーマに、「歴代関白記」と称される近衛家

歴代当主の日記のうち鎌倉時代～室町時代の自筆日記と、近衛家当主自筆の和歌懐紙の中から主に江戸時代のものを中心に展示し、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品資料数：26件

担当者：長村祥知

#### 【「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝10 近衛家歴代－歴代関白記と和歌懐紙－」展 出品一覧】

No.	指定	資料名	筆者等	制作年代	員数	展示期間
1	国宝	御堂関白記 自筆本 長保元年下巻	藤原道長筆	平安時代 長保元年(999)	1巻	前期
2	国宝	御堂御記抄 (長保元年)		平安時代 11～12世紀	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘四年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘4年(1007)	1巻	後期
4	国宝	御堂御記抄 (長徳元年)		平安時代 11～12世紀	1巻	後期
5		春日権現霊験記絵巻 巻第十七	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		春日権現霊験記絵巻 巻第二十	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7		和歌懐紙「梅近聞鶯」	近衛前久筆	桃山時代 16～17世紀	1幅	通期
8		和歌詠草「立待月・渡月・月前松・寄月旅」	近衛信尹筆	江戸時代 慶長19年(1614)	1幅	通期
9		和歌懐紙「秋深夜長・紅葉添雨・世治文事興」	近衛信尹筆	桃山時代 17世紀	1幅	通期
10		和歌懐紙「春風春水」	近衛信尋筆	江戸時代 寛永16年(1639)	1幅	通期
11		和歌懐紙「瞿麦帯露」	近衛尚嗣筆	江戸時代 17世紀	1幅	通期
12		和歌懐紙「初春見鶴」	近衛基熙筆	江戸時代 17世紀	1幅	通期
13		和歌懐紙「歓遊不限年」	近衛家久筆	江戸時代 18世紀	1幅	通期
14		和歌懐紙「竹有佳色」	近衛内前筆	江戸時代 18世紀	1幅	通期
15		和歌懐紙「冬海・冬里・冬祝」	近衛忠熙筆	江戸時代 19世紀	1幅	通期
16		消息	近衛基熙筆	江戸時代 17～18世紀	1幅	通期

17		書状	近衛忠熙筆	江戸時代 19世紀	1幅	通期
18		懐紙手鑑「梅花集」	近衛忠房筆	江戸時代 19世紀	1帖	通期
19	重要文化財	猪熊関白記 正治元年夏記	近衛家実筆	鎌倉時代 正治元年(1199)	1巻	前期
20	重要文化財	猪熊関白記 建仁二年冬記	近衛家実筆	鎌倉時代 建仁2年(1202)	1巻	後期
21	重要文化財	岡屋関白記 建長元年春記	近衛兼経筆	鎌倉時代 建長元年(1249)	1巻	前期
22	重要文化財	深心院関白記 文永五年春記	近衛基平筆	鎌倉時代 文永5年(1268)	1巻	後期
23	重要文化財	後深心院関白記 文和五年(延文元年)秋冬記	近衛道嗣筆	南北朝時代 延文元年(1356)	1巻	前期
24	重要文化財	後深心院関白記 応安四年秋冬記	近衛道嗣筆	南北朝時代 応安4年(1371)	1巻	後期
25	重要文化財	後法興院関白記 文正元年記	近衛政家筆	室町時代 文正元年(1466)	1巻	前期
26	重要文化財	後法興院関白記 文正二年(応仁元年)記	近衛政家筆	室町時代 応仁元年(1467)	1巻	後期

※所蔵はすべて公益財団法人陽明文庫。

## ⑤ 中川伊作と南蛮陶器の世界 — 沖縄に魅せられて —

会期：2020年10月24日(土)～12月6日(日)

概要：中川伊作は、明治32年に京都に生まれ京都市立美術工芸学校、京都市立絵画専門学校で日本画を学んだ。国画創作協会展にも日本画を出品していたが、昭和3年以降版画に傾倒していき京都創作版画協会を結成。昭和4年、初めて沖縄を訪れた中川の視線は、沖縄のやきものに釘づけとなり、多くの器を蒐集、また自らがプロデュースしたものを持ち帰った。

昭和13年には御賜京都博物館（現京都国立博物館）でそれらを紹介している。

本展では、中川伊作が沖縄で蒐集したやきものを中心に、自身が制作したものや版画を紹介し、京都・沖縄を行き来しつつ、日本画、版画、陶芸へと領域を変化させながら追い求めた美意識を辿る。

出品資料数：75件

担当者：洲鎌佐智子

### 【「中川伊作と南蛮陶器の世界 — 沖縄に魅せられて —」展 出品一覧】

#### 中川伊作が蒐集したやきもの

	資料名	制作年
1	線条文片口(水指)	不詳/東南アジアか？
2	鴨徳利・盃	近代(戦前期)/壺屋
3	急須	近代(戦前期)/壺屋
4	斜め格子茶碗	近代(戦前期)/壺屋
5	四方花生	近代(戦前期)/壺屋
6	壺(へたり)	近代(戦前期)/壺屋
7	線条文壺(へたり)	近代(戦前期)/壺屋
8	鉢	近代(戦前期)/壺屋
9	壺(口へたり)	近代(戦前期)/壺屋
10	小壺(口へたり)	近代(戦前期)/壺屋
11	不識水屋鉢	室町時代
12	水指	17～18世紀頃/ベトナムか？
13	ちまき(掛け花生)	17～18世紀頃/東南アジア
14	水指	17～18世紀頃/ベトナムか？
15	墨掛け流し線条文甕	18世紀頃/湧田、初期壺屋
16	線条文三耳壺	18世紀頃/湧田、初期壺屋
17	墨掛け流し厨子甕	18世紀(古我知焼)
18	壺(バナリ焼)	18～19世紀頃

19	染付草文筒花生	王国時代末期～近代初頭/壺屋
20	瑠璃釉耳付花生(仏花器)	王国時代末期～近代初頭/壺屋
21	褐釉瓶	王国時代末/壺屋
22	緑釉掛分花生	王国時代末期～近代初頭/壺屋
23	褐釉緑釉掛分竹型花生	王国時代末/壺屋
24	染付重輪灯明具	王国時代末期～近代初頭/壺屋
25	白釉灯明具	王国時代末期～近代初頭/壺屋
26	酒器(カラカラ)	近代(戦前期)/壺屋
27	線条文瓶(鬼の腕)(ウニヌティー)	近代(戦前期)/壺屋
28	漏斗	近代(戦前期)/壺屋
29	鈴	近代(戦前期)/壺屋？
30	松竹梅文台付瓶子(ピンシー)	近代(戦前期)/壺屋
31	黒釉四耳壺(油壺)	近代(戦前期)/壺屋
32	火炉	近代(戦前期)/壺屋
33	白化粧巴文按瓶	近代(戦前期)/壺屋
34	按瓶	近代(戦前期)/壺屋
35	シーサー	近代(戦前期)/壺屋
36	抱瓶	現代(戦後期)/壺屋
37	茶碗	現代(戦後)～1970年代
38	黒釉四耳壺(呂宋壺)	15～16世紀頃/中国南部
39	黄釉押文壺	18～19世紀頃/中国南部
40	華南三彩貼花文五耳壺	17世紀頃/中国南部

### 中川伊作の作品

	資料名	制作年
1	少女	1929年
2	二人	昭和時代前期
3	黒い襟巻の少女	昭和時代前期
4	髪を梳く	1932年
5	竜安寺石庭	昭和時代前期
6	平安神宮	昭和時代前期
7	鍵屋ノ辻(伊賀越仇討旧跡)	1933年
8	南国の花	1934年
9	戦前の守禮門	1947年
10	スケッチ帖	不詳
11	南国の魚とパイパイの葉	1932年頃
12	鳥の娘	昭和時代前期
13	常夏の琉球	昭和時代前期
14	アンドレ・マルローの顔	1958年
15	盲目の群	1962年
16	顔	1975～2000年
17	南蛮押版龍文茶碗	1988年
18	南蛮緋芋頭水指	1975～2000年
19	南蛮魚文水指	1975～2000年
20	南蛮花生	1975～2000年
21	シーサー	1975～2000年
22	香合(狸、蟬、柿)	1975～2000年

### その他資料

	資料名	制作年
1	『南蛮雅陶』	1938年
2	『南蛮』	1980年
3	『中川伊作作品集 南蛮』	1988年
4	沖縄国際海洋博覧会記念絵葉セット	1975年



⑥ 京都府内の学校所在資料展 - 「京一中」「府一」「京二中」のたからもの -

会 期：2020年10月24日(土)～12月6日(日)  
 (但し、新型コロナウイルス感染症対策のため、9月19日～12月6日まで開催)

概 要：学校所在資料には豊かな価値がある。しかし日本全国を見渡すと、学校の統廃合をはじめ様々な要因によって、その資料が消失・散逸の危機に瀕している場合も少なくない。そこで京都文化博物館では、京都府内の学校に収蔵・利用・継承されてきた貴重な資料の紹介を2016年、2018年に学校教員や生徒、地域組織のみならず協力しておこなっており、今年度も同じ趣旨から展示会を企画した。今年度は京都府中学(現・京都府立洛北高等学校)、京都府第二中学校(現・京都府立鳥羽高等学校)、新英学校及女紅場(現・京都府立鴨沂高等学校)由来の品々に着目するとともに、現在のそれぞれの学校での保管や利用の様子を紹介した。また高校生による展示

案内をSNS上にて実施した。

協 力：京一中洛北高校同窓会、京都府立鴨沂高等学校、京都府立鳥羽高等学校

後 援：京都府教育委員会

出品資料数：40件

担当者：村野正景

【関連行事】

〔1〕高校生による展示案内「鴨沂高校京都文化コースの生徒による展示案内シリーズ」

公開日：第1回2020年10月15日(木)、第2回10月16日(金)、第3回10月17日(土)、第4回10月20日(火)、第5回10月21日(水)、第6回10月22日(木)、第7回10月23日(金)、第8回10月24日(土)、第9回10月27日(火)

場所：オンライン

【「京都府内の学校所在資料展 - 「京一中」「府一」「京二中」のたからもの -」展 出品目録】

No.	資料名	時代	所蔵
1	ジャイロスコープ 東京開成学校製作場造品	明治時代 明治7年～10年頃	京一中洛北高校同窓会
2	写真 京都府第一中学校第一年度丁組	明治時代 明治34年(1901)	京一中洛北高校同窓会
3	試験問題 第十七学年 英語科・歴史科	明治時代 明治41年(1908)	京一中洛北高校同窓会
4	学友会誌	明治時代～昭和時代	京一中洛北高校同窓会
5	校旗	制作年不詳	京一中洛北高校同窓会
6	大正15年 卒業記念	昭和時代 昭和元年(1926)	京一中洛北高校同窓会
7	府立京都第一中学校配置図	昭和時代 昭和2年頃(1927)	京一中洛北高校同窓会
8	昭和5年卒 卒業記念写真	昭和時代 昭和6年(1931)	京一中洛北高校同窓会
9	改築落成記念帖	昭和時代 昭和6年(1931)	京一中洛北高校同窓会
10	昭和9年 卒業記念写真	昭和時代 昭和9年(1934)	京一中洛北高校同窓会
11	京一中園芸同好会会誌 第二号	昭和時代 昭和12年(1937)	京一中洛北高校同窓会
12	NATURA 第六巻第一号	昭和時代 昭和12年(1937)	京一中洛北高校同窓会
13	嶺 第五号	昭和時代 昭和14年(1939)	京一中洛北高校同窓会
14	みをつくし 創刊号	昭和時代 昭和22年(1947)	京一中洛北高校同窓会
15	記念誌類	昭和時代～現代	京一中洛北高校同窓会
16	漢書評林	江戸時代 明暦3年(1657)	京都府立鴨沂高等学校
17	康熙字典	発行年不詳 成立：康熙55年(1716)	京都府立鴨沂高等学校
18	東華録	発行年不詳 成立：乾隆30年(1765)	京都府立鴨沂高等学校
19	名物六帖	江戸時代 享保10年(1725)	京都府立鴨沂高等学校
20	新刻校正史記評林	江戸時代 寛政4年(1792)	京都府立鴨沂高等学校
21	二十一代集	江戸時代 文化3年(1806)	京都府立鴨沂高等学校
22	増続大廣益會玉篇大全	江戸時代 嘉永7年(1854)	京都府立鴨沂高等学校
23	瀛環志略	江戸時代 文久元年(1861)	京都府立鴨沂高等学校
24	四書集註	江戸時代	京都府立鴨沂高等学校



25	十三経注疏	江戸時代	京都府立鴨沂高等学校
26	經史子集分類語(諸子類語)	江戸時代か	京都府立鴨沂高等学校
27	雑字類篇	明治時代 明治9年(1876) 原版:文政7年(1824)	京都府立鴨沂高等学校
28	生徒の手書きデータベース	現代	京都府立鴨沂高等学校
29	絵葉書	昭和時代	京都府立鴨沂高等学校
30	観光案内	昭和時代	京都府立鴨沂高等学校
31	野球部記	明治～昭和時代	京都府立鳥羽高等学校
32	学会誌	明治時代	京都府立鳥羽高等学校
33	全国中等学校優勝野球大会 第一回優勝記念旗	大正時代 大正12年(1923)	京都府立鳥羽高等学校
34	中山再次郎肖像画 画・鹿子木孟郎	昭和初期か	京都府立鳥羽高等学校
35	創立三十周年 祝賀記念録	昭和時代 昭和6年(1931)	京都府立鳥羽高等学校
36	京都府立京都第二中学校一覽表	昭和時代 昭和6年(1931)	京都府立鳥羽高等学校
37	改築落成記念帖	昭和時代 昭和12年(1937)	京都府立鳥羽高等学校
38	改築竣工記念号「京二中」第十一号	昭和時代 昭和12年(1937)	京都府立鳥羽高等学校
39	京都府立二中夜間中学一覽	昭和時代 昭和12年(1937)	京都府立鳥羽高等学校
40	京二中新聞	昭和時代 昭和12年(1937)	京都府立鳥羽高等学校

## ⑦ 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター設立40周年 動乱の世から太平の世へ —戦国を乗り越えた人々のくらし—

会 期：2020年12月12日(土)～2021年1月31日(日)

概 要：本展覧会では、公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターが設立40周年をむかえることを記念して、同センターによる発掘調査成果を中心としながら、京都府内の関係各所と協力して、動乱の戦国時代、そして、その後おとずれた太平の世、すなわち江戸時代の多様化した人々のくらしや新しく花開いた文

化を、考古資料や美術工芸品などを通じて紹介した。

主 催：京都府、京都文化博物館、京都府教育委員会、公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

出品資料数：505点

担当者：村野正景

### 【「動乱の世から太平の世へ—戦国を乗り越えた人々のくらし—」展 出品目録】

番号	展示品	点数	出土地	遺跡名等	遺物管理団体	指定
1	相国寺被災瓦	2	京都市	相国寺旧境内	同志社大学歴史資料館	
2	大内氏土師器	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
3	京都の土師器	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
4	堀周辺の復元イラスト	1	—	早川和子画	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
5	16世紀前半の京都の様子(イラスト)	1	—	早川和子画	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
6	三ノ宮東城模型	1	—	三ノ宮東城	大山崎町歴史資料館	
7	鉄製鎌	1	京都市	竹田城跡	京都市考古資料館	
8	鉄製脛当	6	京都市	竹田城跡	京都市考古資料館	
9	炭化米	2	京都市	山科本願寺跡	京都市考古資料館	
10	色々威胴丸	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
11	兜の部品：鍬形台	2	京丹波町	三ノ宮東城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
12	兜の部品：八幡座	1	京丹波町	シミズ谷城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
13	鎧の部品：鞆(こはぜ)	1	京丹波町	三ノ宮東城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
14	鎧の部品：八双金物	1	京丹波町	三ノ宮東城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	

15	刀装具：筭(こうがい)	1	京丹波町	三ノ宮東城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
16	刀装具：目貫(ききょう)、革先金物、頭又は鑑(こじり)	3	京丹後市	シミズ谷城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
17	瀬戸美濃天目椀	1	八幡市	石清水八幡宮境内瀧本坊跡	石清水八幡宮	
18	土師器皿	1	綾部市	上林城跡	綾部市教育委員会	
19	中国製青磁椀	1	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会	
20	唐津焼皿	1	綾部市	上林城跡	綾部市教育委員会	
21	中国製青花椀	1	京都市	平安京跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
22	志野焼菊皿	1	京都市	龍前町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
23	朝鮮半島製白磁椀	1	京都市	平安京跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◇
24	瀬戸美濃焼灰釉皿	1	綾部市	上林城跡	綾部市教育委員会	
25	中国製白磁皿	1	京丹後市	シミズ谷城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
26	瀬戸美濃鉄釉皿	1	京都市	平安京跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
27	漆器椀	1	京都市	旧二条城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
28	瀬戸美濃灰釉小杯	1	京都市	上林城跡	綾部市教育委員会	
29	中国製白磁小椀	1	南丹市	八木城跡	南丹市立文化博物館	
30	墨書皿	1	宮津市	今熊野城跡	宮津市教育委員会	
31	犬形土製品	5	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
32	猿水滴	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
33	猿水滴	1	綾部市	上林城跡	綾部市教育委員会	◇
34	瀬戸美濃茶入	1	舞鶴市	大俣城跡	舞鶴市	
35	瓦質土器茶釜	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
36	建水	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
37	茶臼	3	京丹後市	シミズ谷城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
38	丹波焼すり鉢	1	綾部市	上林城跡	綾部市教育委員会	
39	土師器鍋	1	京都市	聚楽第跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
40	瓦質火鉢	1	京都市	聚楽第跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
41	聚楽第金箔瓦 巴紋軒丸瓦	1	京都市	聚楽第跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◎
42	聚楽第金箔瓦 唐草文軒平瓦	1	京都市	聚楽第跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◎
43	聚楽第金箔瓦 桐文滴水瓦	1	京都市	聚楽第跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◎
44	聚楽第金箔瓦 唐草文軒平瓦	1	京都市	聚楽第跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◎
45	大名屋敷金箔瓦 巴紋軒丸瓦	1	京都市	両御霊町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◎
46	大名屋敷金箔瓦 唐草文軒平瓦	1	京都市	両御霊町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◎
47	大名屋敷金箔瓦 木瓜紋軒丸瓦	1	京都市	龍前町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
48	大名屋敷金箔瓦 桐文軒平瓦	1	京都市	龍前町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
49	大名屋敷金箔瓦 葵紋軒丸瓦	1	京都市	小川町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
50	大名屋敷金箔瓦 桐文飾瓦	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
51	大名屋敷金箔瓦 梅鉢文軒丸瓦	1	京都市	小川町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
52	伏見城金箔瓦 巴紋軒丸瓦	1	京都市	伏見城下毛利家屋敷跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◇
53	伏見城金箔瓦 唐草文軒平瓦	1	京都市	伏見城下毛利家屋敷跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◇
54	炭化したおにぎり	4	京都市	伏見城跡	京都市考古資料館	
55	瀬戸美濃天目	1	舞鶴市	田辺城跡	舞鶴市	
56	軟質施釉陶器	1	舞鶴市	田辺城跡	舞鶴市	
57	絵唐津鉢	1	舞鶴市	田辺城跡	舞鶴市	
58	唐津焼椀	1	舞鶴市	田辺城跡	舞鶴市	
59	鉄砲玉	2	舞鶴市	田辺城跡	舞鶴市	
60	巴紋軒丸瓦	1	京都市	史跡旧二条離宮(二条城)	京都市考古資料館	
61	菊丸瓦	1	京都市	史跡旧二条離宮(二条城)	京都市考古資料館	
62	染付皿(吹き墨免)	1	京都市	史跡旧二条離宮(二条城)	京都市考古資料館	
63	備前焼水指	1	京都市	三条せと物や町(弁慶石町)	京都市	○
64	信楽焼水指(蓋付)	2	京都市	三条せと物や町(弁慶石町)	京都市	○
65	高取焼水指	1	京都市	三条せと物や町(下白山町)	京都市	○

66	総織部向付	1	京都市	三条せと物や町(中之町)	京都市	○
67	黒織部沓茶椀	1	京都市	三条せと物や町(中之町)	京都市	○
68	青織部向付	1	京都市	三条せと物や町(中之町)	京都市	○
69	志野織部向付	1	京都市	三条せと物や町(中之町)	京都市	○
70	鳴海織部向付	1	京都市	三条せと物や町(中之町)	京都市	○
71	信楽焼花入、伊賀焼花入	2	京都市	三条せと物や町(下白山町)	京都市	○
72	備前花入	1	京都市	三条せと物や町(下白山町)	京都市	○
73	織部沓茶椀	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
74	志野茶椀	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
75	唐津焼沓茶椀	1	京都市	東立売町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
76	織部向付	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
77	黄瀬戸鉢	1	京都市	龍前町・花立町	京都府	
78	瀬戸黒椀	1	京都市	両御霊町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
79	唐津焼皿	1	京都市	龍前町・花立町	京都府	
80	中国製呉須赤絵鉢	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
81	唐津焼向付	5	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
82	織部水注	1	京都市	大黒屋町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
83	織部水注	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
84	志野水注	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
85	絵唐津鉢	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
86	志野小椀	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
87	絵唐津小瓶	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
88	唐津焼片口鉢	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
89	唐津焼大皿	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
90	中国製青花大皿	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
91	備前盤	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
92	信楽すり鉢	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
93	ベトナム陶器長胴瓶	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
94	墓石(一石五輪塔、舟形碑、板碑、舟形五輪塔、笠塔婆)	5	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
95	陶器骨壺(蓋付)	4	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
96	染付骨壺(蓋付)	2	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
97	副葬品(伏見人形ほか)	9	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
98	副葬品(ミニチュアほか)	21	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◇
99	副葬品(人形ほか)	13	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◇
100	土師器椀(供養具)	6	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
101	色絵鉢	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
102	肥前磁器椀(内面染付・外面鉄釉)	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
103	染付椀・小椀・皿・鉢	6	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
104	京焼風肥前陶器椀	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
105	青磁鉢	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
106	朝鮮半島製粉青沙器椀	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
107	染付椀(くらわんか椀)	1	京都市	西大路町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
108	京焼椀	2	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
109	染付椀・皿・小皿	4	京都市	大黒屋町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
110	染付筒椀(蛸唐草)	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
111	天明の大火で焼けた器	2	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
112	京焼系土瓶	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
113	白磁皿	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
114	染付筒椀・椀・端反小椀・広東椀・皿	4	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
115	染付広東椀・蓋・小椀・端反小椀	4	京都市	西大路町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
116	禁裏御用品(京焼椀・水注・柄杓)	3	京都市	公家町遺跡	京都市考古資料館	

117	禁裏御用品(肥前磁器椀)	2	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
118	禁裏御用品(肥前磁器皿)	1	京都市	法成寺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
119	唐津焼皿	1	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会
120	唐津焼皿	1	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会
121	染付椀	1	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会
122	染付皿・椀・蓋付広東椀	4	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会
123	灯火器	2	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会
124	越前焼すり鉢	1	宮津市	宮津城跡	宮津市教育委員会
125	染付皿(鍋島様式)	1	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
126	京焼椀	1	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
127	染付椀・そば猪口	5	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
128	唐津焼椀・小杯	2	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
129	目貫	1	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
130	紅猪口	1	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
131	京焼椀	2	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
132	陶器把手付鍋(行平鍋)	1	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
133	三田青磁皿	1	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
134	京焼德利	1	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
135	染付椀・小椀・蓋・皿・鉢	6	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
136	丹波德利	1	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
137	丹波すり鉢	1	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
138	白磁小椀	1	福知山市	戸田遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
139	染付椀・端反椀	3	福知山市	戸田遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
140	京焼系椀	1	福知山市	戸田遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
141	三田青磁鉢	1	福知山市	戸田遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
142	肥前磁器(染付椀・赤絵重ね鉢)	3	八幡市	善法寺家(馬場遺跡)	八幡市教育委員会
143	肥前磁器(鉢・椀・小杯・皿)	9	八幡市	瀧本坊(石清水八幡宮)	石清水八幡宮
144	荷札木簡	3	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
145	染付皿	1	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
146	中国製青花小椀	1	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
147	萩焼椀	1	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
148	漆塗土師器小椀	1	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
149	瀬戸椀	1	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
150	漆器椀	1	京都市	伏見岡山藩邸	京都府埋蔵文化財調査研究センター
151	染付椀・端反椀・皿	3	京都市	淀城跡	京都市考古資料館
152	唐津焼刷毛目椀	1	京都市	淀城跡	京都市考古資料館
153	紅猪口	1	京都市	淀城跡	京都市考古資料館
154	軟質施釉陶器	1	京都市	淀城跡	京都市考古資料館
155	染付皿・椀	3	木津川市	木津遺跡	木津川市教育委員会
156	焙烙(鍋)	1	木津川市	木津遺跡	木津川市教育委員会
157	唐津焼刷毛目椀・皿・小杯	3	木津川市	木津遺跡	木津川市教育委員会
158	備前すり鉢	1	木津川市	木津遺跡	木津川市教育委員会
159	青磁盤	1	木津川市	木津遺跡	木津川市教育委員会
160	紅皿	1	京都市	京都大学構内遺跡	京都大学
161	紅皿	1	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
162	紅皿(紅付)・筆	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
163	お歯黒壺(丹波鉄漿壺)	1	南丹市	園部城跡	南丹市立文化博物館
164	紅猪口	1	京都市	公家町遺跡	京都市考古資料館
165	紅猪口	1	京都市	常盤井殿町遺跡	同志社大学歴史資料館
166	紅猪口	1	京都市	西大路町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
167	笹紅(小町紅)	1	—	伊勢半製	個人像・参考出品

168	ガラス製かんざし	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
169	銅製かんざし	3	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
170	ガラス製かんざし	1	京都市	常盤井殿町遺跡	同志社大学歴史資料館
171	銅製かんざし	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
172	櫛と筭	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
173	櫛	1	京都市	伏見岡山藩邸跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
174	櫛	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
175	鬘水入れ	1	京都市	龍前町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
176	方鏡	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
177	キセル(雁首)	2	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
178	キセル(雁首)	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター
179	キセル(吸い口)	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
180	キセル(吸い口)	1	京都市	伏見岡山藩邸跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
181	キセル	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
	三美人図 花月庵光貞画	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
182	都名所図会	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
183	巡礼札	2	京都市	清水寺境内	清水寺
184	嵯峨硯	1	京都市	公家町遺跡	京都市考古資料館
185	紅猪口	1	南丹市	園部城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
186	備前徳利(保命酒の容器)	1	綾部市	山家陣屋跡	綾部市教育委員会
187	蓮月焼(涼炉・湯瓶・急須・蓋・煎茶椀・徳利・盃)	8	京都市	京都大学構内遺跡	京都大学
188	大津絵賛徳利(蓮月焼)	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)
189	伏見人形 西行	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター
190	伏見人形(饅頭食い、座り童子、犬連れ童子、太鼓持ち、猿回し、福助、相撲取り、ひよこ、鶏、虎、一文牛、犬、猫、じゃれあう犬)	14	京都市	常盤井殿町遺跡	同志社大学歴史資料館
191	伏見人形 狛	1	京都市	西大路町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
192	伏見人形 狛	1	—	伏見・丹嘉製	個人蔵・参考出品
193	伏見人形 雀	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
194	伏見人形 キツネ	1	八幡市	木津川河床遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
195	箱庭道具(釣り人、ヒラメ、城門)	3	京都市	常盤井殿町遺跡	同志社大学歴史資料館
196	鳩笛	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
197	ままごと道具(緑釉花瓶)	1	京都市	常盤井殿町遺跡	同志社大学歴史資料館
198	ままごと道具(皿、椀または蓋置、土瓶、銚子、壺、蓋)	6	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター
199	ままごと道具(椀)	1	京都市	両御霊町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
200	ままごと道具(椀)	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
201	おはじき	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
202	芥子めんこ	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
203	泥めんこ	14	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
204	盤双六のサイコロ	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
205	盤双六のコマ	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
206	碁石	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
207	土製独楽	2	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
208	貝独楽	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
209	京焼皆具(釜、釜蓋、風炉、水指、水指蓋、杓立、椀、建水)	8	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター
210	敷板	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター
211	鉄釉四耳壺	1	宇治市	宇治市街遺跡	宇治市教育委員会
212	葵紋京焼椀	1	京都市	法成寺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター
213	染付急須(蓋付)	2	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
214	宜興窯急須	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター
215	煎茶椀	1	京都市	寺町旧域	京都府埋蔵文化財調査研究センター
216	煎茶椀	1	京都市	和水町	京都府埋蔵文化財調査研究センター

◇



217	染付煎茶椀	3	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
218	涼炉	1	南丹市	園部城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
219	涼炉 青木木米作	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
220	壳茶翁図 田能村直入画	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
221	華南三彩盤	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	◇
222	軟質施釉陶器	1	八幡市	木津川河床遺跡	八幡市教育委員会	
223	軟質施釉陶器	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
224	黒染片	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
225	赤染	1	京都市	長刀鉾町	京都文化博物館	
226	赤染茶碗 染長入作	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
227	京焼椀	3	京都市	公家町遺跡	京都市考古資料館	
228	仁清椀	1	京都市	和水町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
229	二代乾山 椀	1	京都市	西大路町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
230	二代乾山 額皿・椀	2	京都市	京都大学構内遺跡	京都大学	
231	京焼(椀・皿)	12	京都市	公家町遺跡	京都市考古資料館	
232	京焼椀(「岩倉山」印)	1	京都市	公家町遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
233	京焼椀(「音羽」印)	1	京都市	公家町遺跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
234	京焼鉢(「帯山」印)	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
235	「道八」銘染付小椀	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
236	「大日本周平造」銘染付広口壺	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
237	「六兵衛造」銘鉄絵磁器椀	1	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
238	京焼急須・煎茶椀(道八)	2	亀岡市	亀山城跡	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
239	会津藩邸の食器	13	京都市	藪之内町	京都府埋蔵文化財調査研究センター	
240	禁門の変で焼けた瓦	7	京都市	曇華院跡	京都文化博物館	
241	禁門の変の銃弾	2	京都市	武衛陣町	京都府(京都文化博物館管理)	
242	鹿背山焼(茶入・急須・煎茶椀・徳利・小皿)	12	—	—	木津川市教育委員会	○
243	古清水六角段重(蓋付)	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
244	楼閣山水絵四方皿 尾形乾山作	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
245	赤絵ねじ鉢 奥田穎川作	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
246	白磁木瓜形水注 青木木米作	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
247	芋頭水指 初代高橋道八作	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
248	金欄手急須 尾形周平作	2	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
249	白磁龍文花瓶 三代清水六兵衛作	1	—	—	京都府(京都文化博物館管理)	
	合 計	505				

※表中の記号は、◎重要文化財 ○市指定文化財 ◇暫定登録文化財



## ⑧ 公開70周年記念 映画『羅生門』展

会 期：2021年2月6日(土)～3月14日(日)

概 要：ヴェネチア国際映画祭での金獅子賞受賞などにより、黒澤明の名を世界に知らしめた、日本映画史上の傑作『羅生門』を、劇場公開70年、監督生誕110年を記念し、監督だけでなく、美術・撮影・録音・音楽・演技・宣伝と公開・評価と世界への影響と、多角的な視点で作品の魅力に迫った。

協 力：文化庁、株式会社KADOKAWA、株式会社アイ・ティー・ワン

出品資料数：107件

担当者：森脇清隆・大矢敦子

## 【関連行事】

〔1〕【『羅生門展』記念特集】映画『羅生門』と大映京都撮影所特集

日時：2021年2月6日(土)～3月14日(日) 28日間

回数：1日2回(ただし、3月3日までは1日1回上映) 定員78席

場所：本館3階フィルムシアター

作品：『羅生門』『維新の曲』『王将』『お遊さま』『源氏物語』『地獄門』『山椒大夫』『源氏物語 浮舟』『炎上』『次郎長富士』『ジャン有馬の襲撃』『新源氏物語』『釈迦』の13作品

鑑賞者：2,377名

## 【「公開70周年記念 映画『羅生門』展」出品一覧】

出品番号	資料	所蔵・協力・提供	展示期間
<b>第1章 企画と脚本</b>			
1	書籍：芥川龍之介「藪の中」[『将軍』(1922年)所収]	日本近代文学館所蔵	通期
2	書籍：芥川龍之介「羅生門」[『羅生門』(1917年)所収]	日本近代文学館所蔵	通期
3	羅城門1/100復元模型	京都文化博物館所蔵	通期
4	橋本忍「羅生門物語」[デジタル展示：Canvas]	株式会社黒澤プロダクション、株式会社アイ・ティー・ワン協力	通期
5	「羅生門物語」黒澤明監督のメモ[デジタル展示：Canvas]	株式会社黒澤プロダクション、株式会社アイ・ティー・ワン協力	通期
6	黒澤明「羅生門」創作ノート[デジタル展示：Canvas]	株式会社黒澤プロダクション、株式会社アイ・ティー・ワン協力	通期
7	『羅生門』企画シナリオ	東映太秦映画村・映画図書館所蔵	通期
8	本木荘二郎旧蔵「羅生門」台本	国立映画アーカイブ所蔵(本木荘二郎コレクション)	通期
9	「中日映画新聞」1950年7月15日号「『羅生門』製作前記」	槇田寿文氏所蔵	通期
10	単行本：『シナリオ 羅生門』(1952年)	槇田寿文氏所蔵	通期
<b>第2章 美術</b>			
12	松山崇旧蔵『羅生門』写真アルバム	玉川大学教育学術情報図書館所蔵	通期
13	「大映京都撮影所通信」(1950年)	槇田寿文氏所蔵	通期
14	大映京都撮影所 マップと各施設写真[複製]	国立映画アーカイブ所蔵	通期
15	雑誌：「毎日グラフ」1950年8月1日号「再建『羅生門』」	槇田寿文氏所蔵	通期
16	雑誌：「アサヒグラフ」1950年8月2日号「ごらく地帯 映画 羅生門」	槇田寿文氏所蔵	通期
<b>第3章 撮影と録音</b>			
17	写真パネル[2点]：ロケーション現場の現在	槇田寿文氏撮影	通期
18	宮川一夫の撮影台本[デジタル展示システム(IT-One Quest)]	宮川一郎氏所蔵、株式会社アイ・ティー・ワン協力	通期
19	野上照代の撮影台本[デジタル展示システム(IT-One Quest)]+原本	野上照代氏所蔵、株式会社アイ・ティー・ワン協力	通期
20	製作資料：野上照代による画コンテ	宮川一郎氏所蔵	通期
21	黒澤明から宮川一夫への手紙(1952年)	宮川一郎氏所蔵	通期
22	ビデオ：野上照代インタビュー (2020年)	株式会社KADOKAWA制作	通期
23	ビデオ：紅谷愼一インタビュー (2020年)	株式会社KADOKAWA制作	通期
24	写真パネル：撮影スナップ「羅生門」セットと雨	国立映画アーカイブ所蔵	通期
25	写真パネル：撮影スナップ「羅生門」セットと雨	株式会社KADOKAWA所蔵	通期
26	ビデオ：カット尻フィルム 森のシーン	宮川一郎氏所蔵/株式会社KADOKAWA提供	通期
27	『羅生門』写真アルバム	株式会社KADOKAWA所蔵	通期
28	写真パネル[5点]：撮影スナップ	株式会社KADOKAWA、国立映画アーカイブ所蔵	通期

29	写真パネル[1点]: クランクアップ記念	株式会社KADOKAWA所蔵	通期
30	スナップ写真スナップ帖	槇田寿文氏所蔵	通期
31	雑誌:「ラッキー 映画と読物」1950年10月号「カメラ『羅生門』ロケを追う」	槇田寿文氏所蔵	通期
第4章 音楽			
32	早坂文雄による音楽構成表	明治学院大学 日本近代音楽館所蔵(北浦絃子氏旧蔵)	通期
33	早坂文雄による楽譜	明治学院大学 日本近代音楽館所蔵(北浦絃子氏旧蔵)	通期
34	早坂文雄自筆ノート「入浴記」	明治学院大学 日本近代音楽館所蔵(北浦絃子氏旧蔵)	通期
35	「オリジナル・スコアによる 七人の侍/羅生門」LPレコード(1978年)	槇田寿文氏所蔵	通期
第5章 演技			
36	三船敏郎の撮影台本	株式会社三船プロダクション所蔵	通期
37	志村喬の撮影台本	国立映画アーカイブ所蔵(志村喬コレクション)	通期
38	京マチ子旧蔵写真アルバム	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館所蔵	通期
39	写真パネル[4点]: スタジオ撮影スチル	株式会社KADOKAWA所蔵	通期
40	雑誌:「映画ファン」1950年9月号「特集グラフ『羅生門』への道」	国立映画アーカイブ所蔵	通期
—	写真パネル[1点]: 大映京都撮影所前にて	株式会社KADOKAWA所蔵	通期
第6章 宣伝と公開			
41	ポスター: 劇場公開オリジナル版(1950年)	谷田部信和氏所蔵	通期
42	ポスター [2点]: ヴェネチア国際映画祭受賞 凱旋上映用(1951年)	谷田部信和氏、国立映画アーカイブ所蔵	通期
43	プログラム: 帝国劇場 特別有料試写会(1950年)	槇田寿文氏所蔵	通期
44	プレス資料:「DAIEI AD BOOK」No.231(1950年)	槇田寿文氏所蔵	通期
45	パンフレット:「大映ニュース」①(1950年)	槇田寿文氏所蔵	通期
46	パンフレット: 梅田映画劇場「Umeda」33号(1951年)	槇田寿文氏所蔵	通期
47	プレス資料:「大映縮刷版シナリオNo.17 羅生門」	槇田寿文氏所蔵	通期
48	パンフレット: スバル座 凱旋上映用「SUBARU」71号(1951年)	槇田寿文氏所蔵	通期
49	ポスター: リバイバル公開用(1965年)	国立映画アーカイブ所蔵	通期
50	プレスシート: リバイバル公開用(1965年)	国立映画アーカイブ所蔵	通期
51	パンフレット: みゆき座 リバイバル公開用(1965年)	槇田寿文氏所蔵	通期
52	ポスター:「デジタル完全版」(2008年)	国立映画アーカイブ所蔵	通期
53	プレスシート:「デジタル完全版」(2008年)	国立映画アーカイブ所蔵	通期
54	プログラム: 歌舞伎座「八月興行大歌舞伎」(1951年)	槇田寿文氏所蔵	通期
第7章 評価と世界への影響			
〈ヴェネチア国際映画祭での受賞〉			
55	本木荘二郎旧蔵 ヴェネチア国際映画祭金獅子賞トロフィ [複製]	国立映画アーカイブ所蔵(本木荘二郎コレクション)	通期
56	松山崇旧蔵 金獅子賞トロフィ 複製品贈呈時の書状	玉川大学教育学術情報図書館所蔵	通期
57	雑誌:「アサヒグラフ」1950年9月6日号記事「日本語御堪能の方々」	槇田寿文氏所蔵	通期
58	ジュリアナ・ストラミジョリ旧蔵 ヴェネチア映画祭出品関係書簡・電報[7点]	濱野けい子氏所蔵	通期
59	ジュリアナ・ストラミジョリ旧蔵 ヴェネチア映画祭出品関係覚書[3点]	濱野けい子氏所蔵	通期
60	ヴェネチア国際映画祭参加証	京都文化博物館所蔵	通期
—	大映京都撮影所 グランプリ広場 記念碑のレプリカ像(金獅子賞トロフィ、オスカー像)	京都文化博物館所蔵	通期
61	ビデオ:『文化ニュース』No.230(1951年)抜粋	国立映画アーカイブ所蔵	通期
62	パネル:「ニューヨーク・タイムズ」1951年10月21日号記事	槇田寿文氏所蔵	通期
63	写真[2点]: 受賞記念祝賀会にて	国立映画アーカイブ所蔵	通期
〈アメリカにおける評価〉			
64	パネル:「ニューヨーク・タイムズ」1951年12月27日号記事	槇田寿文氏所蔵	通期
65	写真[2点]: ブロードウェイ版『羅生門』宣伝用	槇田寿文氏所蔵	通期
66	書籍: フェイ&マイケル・ケニン作 ブロードウェイ版『羅生門』原作(1959年)	槇田寿文氏所蔵	通期
67	雑誌:「シアター・アーツ」1959年2月号	槇田寿文氏所蔵	通期
68	雑誌:「プレイビル」1959年1月26日号 ブロードウェイ版『羅生門』記事	槇田寿文氏所蔵	通期

69	雑誌：「プレイビル」1988年4月号 ブロードウェイ版再上演『羅生門』記事	槇田寿文氏所蔵	通期
70	ブロードウェイ版『羅生門』オリジナル音楽LPレコード(1959年)	槇田寿文氏所蔵	通期
71	ポスター：『暴行』オリジナル版(1964年)	槇田寿文氏所蔵	通期
72	チラシ：『暴行』日本版(1964年)	槇田寿文氏所蔵	通期
〈世界が探求する『羅生門』〉			
73	書籍：Donald Richie (ed.), Rashomon: a film by Akira Kurosawa (1969年)	槇田寿文氏所蔵	通期
74	書籍：Donald Richie (ed.), Focus on Rashomon (1972年)	槇田寿文氏所蔵	通期
75	書籍：Donald Richie (ed.), Rashomon: Akira Kurosawa, director (1987年)	槇田寿文氏所蔵	通期
76	書籍：Patrick Rieder, Akira Kurosawas "Rashomon" (2009年)	槇田寿文氏所蔵	通期
77	書籍：Marco Dalla Gassa, Kurosawa Akira: Rashōmon (2012年)	槇田寿文氏所蔵	通期
78	書籍：Paul Anderer, Kurosawa's Rashomon (2016年)	槇田寿文氏所蔵	通期
79	書籍：ポール・アンドラ著『黒澤明の羅生門』(2019年)	国立映画アーカイブ所蔵	通期
80	書籍：Blair Davis, Robert Anderson and Jan Walls (ed.), Rashomon Effects: Kurosawa, Rashomon and their legacies (2016年)	槇田寿文氏所蔵	通期
81	書籍：Allan Mazur, A Hazardous Inquiry: The Rashomon Effect at Love Canal (1998年)	槇田寿文氏所蔵	通期
82	ビデオ：「ロバート・アルトマン監督『羅生門』を語る」	ジャヌス・フィルム、クライテリオン・コレクション提供	通期
特別コーナー 旅する羅生門			
〈外国版ポスター〉			
83	アメリカ初公開版(1952年)	槇田寿文氏所蔵	通期
84	アメリカ初公開版[レヴュー版](1952年)	槇田寿文氏所蔵	通期
85	西ドイツ初公開版(1952年)	槇田寿文氏所蔵	通期
86	西ドイツリバイバル公開版(1959年)ハンス・ヒルマン作	槇田寿文氏所蔵	通期
87	スウェーデン初公開版(1953年)	槇田寿文氏所蔵	通期
88	ポーランド初公開版(1958年)ヴォイチェフ・ファンゴル作	槇田寿文氏所蔵	通期
89	チェコスロヴァキア初公開版(1970年)ベドジヒ・ドロウヒー作	槇田寿文氏所蔵	通期
90	イタリアリバイバル公開版	槇田寿文氏所蔵	通期
91	イタリア版写真ポスター(フォトブスタ)	槇田寿文氏所蔵	通期
92	アメリカ デジタル復元版(2009年)ケント・ウィリアムズ作	槇田寿文氏所蔵	通期
93	イギリス デジタル復元版(2009年)	槇田寿文氏所蔵	通期
〈さまざまな外国版刊行物〉槇田寿文氏所蔵			
94	プレス資料：ユーゴスラヴィア[セルビア]版	槇田寿文氏所蔵	通期
95	プレスシート：西ドイツ版	槇田寿文氏所蔵	通期
96	プレスシート：東ドイツ版	槇田寿文氏所蔵	通期
97	キャンペーンブック：アメリカ版(1957年)	槇田寿文氏所蔵	通期
98	ロビーカード：アメリカオリジナル版	槇田寿文氏所蔵	通期
99	プログラム：アメリカ デジタル版完成記念上映会	槇田寿文氏所蔵	通期
100	プログラム：アイスランド版	槇田寿文氏所蔵	通期
101	雑誌：西ドイツ「フランクフルター・イロストリールテ」1952年8月10日号	槇田寿文氏所蔵	通期
102	雑誌：ユーゴスラヴィア「ドゥガ」1953年4月号	槇田寿文氏所蔵	通期
103	黒澤明直筆 ファン宛書簡(1952年)	槇田寿文氏所蔵	通期
《特別展示》			
・	ビデオ：映画『羅生門』紹介アニメーション	大賀しょうこ制作・提供	通期
・	ビデオ：《四人》の視点から見た『羅生門』	株式会社KADOKAWA制作・協力	通期

## ① 創立75周年記念京都工芸美術作家協会展 ―煌・KIRAMEKI―

会 期：2021年1月15日(金)～2月7日(日)  
 休館日：月曜日（祝日の場合は、その翌日休館）  
 会 場：3階展示室  
 入場料：一般500円(400円)／大高生400円(320円)  
 ／高校生以下は無料  
 ＊（ ）内は20名以上の団体料金  
 主 催：京都府、京都文化博物館、京都工芸美術作家協会  
 後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、FM京都  
 協 力 京都ライオンズクラブ  
 担当者：洲鎌佐智子、林智子  
 入場者： 総入場者：10,042人（1日平均約477人）

## 【概 要】

京都工芸美術作家協会は、昭和21年（1946）に創立された京都にゆかりのある作家たちの団体である。部門や会派を超えた作家団体として、戦後京都の工芸活動をささえてきたが、現在11の分野にわたる約350名の作家を擁し、展覧会などといった活動を行なっている。2021年の秋に設立75周年を迎えるにあたって、約200名の作家の作品を展示紹介し、多くの人々に京都の工芸の多彩な魅力や歴史の厚みを感じてもらおうというもの。

【出品作品数】 211点

【関連行事】

小品展

日時：1月15日(金)、1月16日(土)、1月17日(日)  
 午前10時～午後6時

場所：6階展示室



「京都工芸美術作家協会展 ―煌・KIRAMEKI―」  
 ちらし

## Ⅲ-2 特別展示

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 特別展

### ①「京都文化カプロジェクト関連事業 舞妓モダン」

会 期：2020年10月6日(火)～11月29日(日)  
〔48日／56日〕  
開室時間：午前10時～午後6時まで  
＊金曜日は午後7時30分まで(入室は30分前  
まで)  
休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)  
会 場：4階・3階展示室  
入場料：一般1500円(1300円)／大高生1100円  
(900円)／中小生500円(300円)  
＊( )内は前売券、及び20名以上の団体料金  
主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、京都  
新聞、MBS  
後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人  
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都  
協 賛：京阪ホールディングス  
担当者：植田彩芳子  
入場者：11,951人(1日平均 249人)

#### 【概 要】

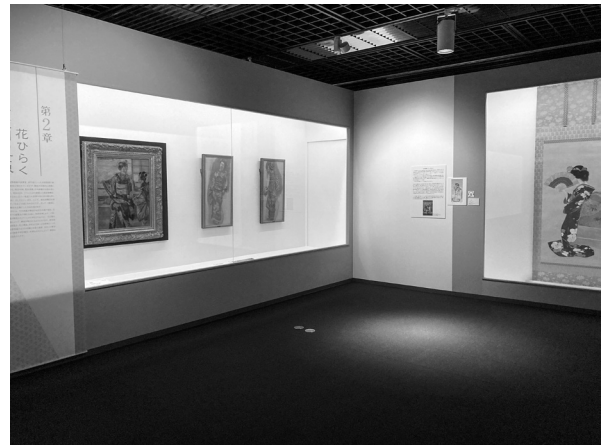
舞妓。いまや京都を代表する文化の一つとして知られるが、その詳細は意外にも知られていない。どのようにして舞妓は京都のシンボルとなっていったのだろうか。

近世における京都の芸舞妓の誕生は、17世紀半ば、あるいは18世紀半ばといわれているが、その詳細は判然としない。近世においては芸舞妓を描いた絵画は必ずしも多くはなく、むしろ芸舞妓が盛んに描かれるのは近代以降のことである。

明治5年、京都博覧会の附博覧として都をどりなどが始まり、芸舞妓が伝統都市・観光都市としての京都を象徴する存在として押し出されていく。明治26年に洋行帰りの黒田清輝が《舞妓》(東京国立博物館、重要文化財)を、明治42年に竹内栖鳳が舞妓をモデルにした《アレタ立に》(高島屋史料館)を文展に発表すると、大正期にかけて特に舞妓は盛んに描かれるようになる。そこでの舞妓は、美しく、時に妖しく、画家によってさまざまなイメージで描かれた。昭和期に入っても、芸舞妓は多くの画家を惹きつけ、伝統としての花街や京都に残された町並みとともにノスタルジアの対象として描き出された。こうしたイメージが集

積され、現在、舞妓は京都、時には日本のシンボルとして、国内外に知られるようになっていく。

本展では、都をどりの始まりから、舞妓のイメージが近代京都において、古都の象徴として成長していく過程を絵画作品を中心に紹介した。



「京都文化カプロジェクト関連事業 舞妓モダン」会場風景



「京都文化カプロジェクト関連事業 舞妓モダン」ちらし



## 【展覧会の構成と主な出品作品】

### 第一章 都をどりの始まり～江戸後期から明治初期～

- ・吉原真龍《舞妓納涼図》江戸後期 京都府（京都文化博物館管理）
- ・森寛斎《都をどり初演図》明治5年 個人蔵
- ・幸野株嶺《妓女図》明治6年 京都府（京都文化博物館管理）

### 第二章 花ひらく舞妓図の世界～明治中期から昭和戦前期～

- ・黒田清輝《舞妓》明治26年 東京国立博物館【重要文化財】
- ・竹内栖鳳《アレタ立に》明治42年 高島屋史料館
- ・岡本神草《口紅》大正7年 京都市立芸術大学芸術資料館
- ・速水御舟《京の舞妓》大正9年 東京国立博物館
- ・土田麦僊《明粧》昭和5年 東京国立博物館

### 第三章 広がる舞妓イメージ～絵画と文学、複製芸術～

- ・竹久夢二《セノオ楽譜no.61「舞姫」》大正6年

### 京都国立近代美術館

- ・長田幹彦（竹久夢二装丁）『舞妓姿』（新潮社）大正4年

- ・楽譜「祇園小唄」昭和4年 個人蔵

### 第四章 古都の象徴として～昭和戦後から現代～

- ・広田多津《涼粧》昭和43年 東京国立近代美術館
- ・小倉遊亀《舞妓》昭和44年 京都国立近代美術館
- ・「都をどりポスター原画」 祇園新地甲部歌舞会
- ・《豆かつら髪型 割れしのぶ》京都府（京都文化博物館管理）

## 【出品作品数】

133点

## 【関連行事】

- ・舞妓モダン展関連映画上映「銀幕の舞妓」  
会期中、「祇園の姉妹」（溝口健二監督、昭和11年）などの舞妓に関連する映画を3F フィルムシアターで2週間上映した。

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 特別展

## ②「文化庁メディア芸術祭京都展 『科学者の見つけた詩 —世界を見つめる目—』

会 期：(展覧会) 2021年1月5日(火)～  
1月13日(水)〔8日〕  
(上映) 2021年1月5日(火)～  
1月17日(日)〔12日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

会 場：(展覧会) 別館1Fホール、2F講義室  
(上映) 本館3Fフィルムシアター

入場料：無料

主 催：文化庁

共 催：京都府

企 画・運営：京都文化博物館（公益財団法人京都文化財団）

協 力：オーストリア文化フォーラム東京、KYOTO Design Lab

キュレーション：植田憲司

入場者：3,403人（展覧会・上映両方が開催している期間の1日平均 311人）

## 【概 要】

「科学者はときどき、思いがけない詩を発見する」これは、京都ゆかりの物理学者・湯川秀樹の言葉です。湯川は一方で進歩した科学が高度に専門分化する弊害を見抜き、科学者を「詩を忘れた人」であるとも書いています。一見、遠く離れているように見える「詩（芸術）」と「科学」。対峙するかのような両者に、新しいつながりを探るメディア芸術の作品があります。

たとえば、漫画作品『ドミトリーともきんす』（高野文子作）は、そのひとつです。そこに登場するのは、京都で学んだ朝永振一郎と湯川秀樹、中谷宇吉郎、牧野富太郎。本展では、この若き科学者の探求と、彼らの言葉を手がかりにしながら、「世界を見つめる目」としての作品と科学者の言葉が開く地平を提示します。

## 【展覧会の構成と主な出品作品】

### 1. 展示作品

展示点数 32点（マンガ・ライブラリー13点）  
(展示作品一覧)

高野文子 『ドミトリーともきんす』原画22点、模



型 2点、制作具 4点

木本圭子 《Imaginary・Numbers 2006》2006  
 《INSIDE》2009  
 《velvet order》2015  
 《分岐図A》《分岐図B》 2点  
 《Attractor Glass》 2点

中谷芙二子 《卵を立てる》  
 「霧の彫刻の記録映像」

田村友一郎 《NIGHT LESS》  
 《響（しかみ）》

池田亮司 《data.scan》  
 《the transcendental ( $\pi$ ) [n° 1-c]》

ジュリオ・ポアト 『DUMB TYPE 高谷史郎ー自然とテクノロジーのはざま』  
 ダムタイプ作品記録映像「pH」「S/N」  
 「OR」「memorandum」

高嶺 格 《ジャパン・シンドローム〜関西編》2011

藤本由紀夫 《5horizontaltops》2013  
 《ECHO (water) ver.3》2020  
 《TOP (spiral)》2012  
 《vexation》2017  
 《THERE (lens)》2013

BCL 《Common Flowers - Flower Commons》

intext 《Super reflection》

(マンガライブラリー作品一覧)

島田虎之介 『ロボ・サピエンス前史』

雁須磨子 『あした死ぬには、』

野田彩子 『ダブル』

安野モヨコ 『鼻下長紳士回顧録』

リアド サトゥフ (Riad Sattouf) (著)、鶴野孝紀 (訳)  
 『未来のアラブ人 中東の子ども時代 (1978-1984)』

石川雅之 『もやしもん』

市川春子 『25時のバカンス 市川春子作品集II』

あさりよしとお 『まんがサイエンス』

さそうあきら 『ミュージコフィリア』

蛇蔵 『決してマネしないでください』

こうの史代 『この世界の片隅に』  
 『夕凧の街 桜の国』

## 2. 上映作品

点数 11プログラム19点

(上映作品一覧)

湯浅政明 『夜は短し歩けよ乙女』

山田尚子 『たまこラブストーリー』

片渕須直 『この世界の（さらによくつもの）片隅に』

石田祐康 『ペンギン・ハイウェイ』（原作者が京都で活動、舞台が京都市）

SOL CHORD 『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』

ジュリオ・ポアト 『DUMB TYPE 高谷史郎ー自然とテクノロジーのはざま』  
 ダムタイプ作品記録映像「pH」「S/N」  
 「OR」「memorandum」

田中秀幸ミュージックビデオ集「べろべろ」「Fake It!」「Missing Beatz」

榊原澄人 『浮楼』

ぬQ 『サイシュ〜ワ』

ひらのりょう 『ホリデイ』

水尻自子 『かまくら』

石田祐康 『rain town』

INDUSTRIAL JP

## 3. 参考出品資料

点数 22点

(参考出品資料一覧)

- ・湯川秀樹書簡 2点
- ・湯川秀樹旧蔵図書 5点
- ・日本で初めて作られた $\pi$ 中間子の顕微鏡写真
- ・湯川秀樹が基礎物理学研究所で使用した机と椅子
- ・湯川秀樹筆記具と原稿用紙
- ・「随筆四季」第2集
- ・湯川秀樹・中谷宇吉郎合作「学問は大なる蓄積である」
- ・中谷宇吉郎「雪華之図」
- ・天然雪の写真・人工雪の写真（撮影：中谷宇吉郎）4点
- ・朝永振一郎筆「色紙」
- ・ジャイロスコープ
- ・舎密局看板
- ・『ドミトリーともきんす』の制作に使用した道具
- ・『ドミトリーともきんす』模型

## 【関連行事】

〔1〕トークイベント

BitSummit 連携企画「生き様トーク！クリエイター達のインディーゲームに込めた想い」

日時：1月9日(土)午後4時～午後5時30分

場所：フィルムシアター

ゲスト：藤井トム(株式会社デスクワークス 代表取締役)

SWERY (株式会社 White Owls 代表取締役)

Baiyon (マルチメディア・アーティスト／  
キュー・ゲームス クリエイティブ・  
ディレクター)

飯田和敏 (立命館大学映像学部映像学科教授)

モデレーター: 村上雅彦 (株式会社 Skeleton Crew  
Studio 代表取締役)

配信方法: YouTube Live

<https://youtu.be/OMvkuN0dXBo>

参加者数: リアル会場 9人

配信視聴者数: 48人

## [2] トークイベント 伊藤ガビン×タナカカツキ

「暮らしと解像度」

日時: 1月11日(月・祝) 午後4時30分から午後5  
時30分

場所: 新型コロナウイルス感染対策の観点からオン  
ラインのみでの実施

ゲスト: 伊藤ガビン (編集者)

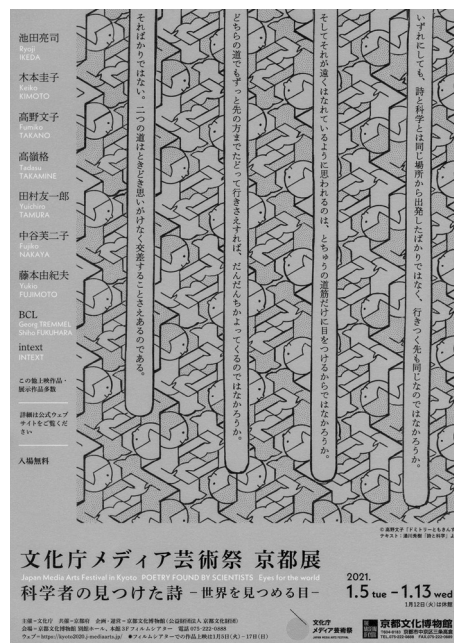
タナカカツキ (マンガ家)

配信方法: YouTube Live

<https://youtu.be/9cKTsEgxrE>

オンライン配信のみの実施

配信視聴者数: 110人



「文化庁メディア芸術祭京都展 『科学者の見つけた詩 - 世界を見つめる目 -』ちらし

III - 2 特別展示 ▶ 1) 特別展

## ③ 「Kyoto Art for Tomorrow 2021 - 京都府新鋭選抜展 -」

会期: 2021年1月23日(土)～2月7日(日)  
[14日/16日]

開室時間: 午前10時～午後6時まで

\*金曜日は午後7時30分まで(入室は30分前まで)

休館日: 月曜日 (ただし祝日は開館、翌日休館)

会場: 4階展示室

入場料: 一般500円(400円) / 大高生400円(320円)  
高校生以下無料

\* ( )内は20名以上の団体料金

主催: 京都府、京都文化博物館

後援: 京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協

会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者: 清水智世

入場者: 16,305人 (1日平均 1,165人)

### 【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介し、その創造的な作品を京都から積極的に発信しようとする企画である。また別館ホールでは京都で学び、国際的に活躍する美術家、高嶺格氏による特別出品「118の除夜の鐘」を紹介した。

### 【出品作家】

石田 小榛、石田 翔太、井上 康子、今井 完眞、岩

井 晴香、上原 浩子、大槻 拓矢、勝木 有香、加納 俊輔、川田 知志、菊池 ルイ、貴志 在介、給田 麻那美、桐月 沙樹、栗棟 美里、近藤 大祐、ジダーノワ・アリーナ、嶋 春香、田中 雅文、谷内 春子、陳 湘璇、土取 郁香、釣 光穂、唐仁原 希、堂東 由佳、長沢 優希、中山 明日香、肥後 亮祐、堀川 すなお、前谷 康太郎、町田 藻映子、三橋 卓、薬師川 千晴、山下 耕平、山田 千尋、山羽 春季、山本 伊代奈、六根 由里香、若木 くるみ、和田 直祐

### 【特別出品作家】

高嶺格「118の除夜の鐘」

1968年鹿兒島生まれ。京都市立芸術大学漆工専攻卒業。岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）卒業。美術家・演出家。第38回京都府文化賞功労賞受賞。現在、多摩美術大学彫刻学科にて後進の育成に努める。社会問題や集団の無意識による抑圧などを、自らの身体を使った表現で可視化。映像インスタレーションから写真、彫刻、舞台演出まで多岐に渡る表現で、国内外で高く評価されている。主な個展に、2003年「在日の恋人」（NPO丹波マンガ記念館／京都）、2008年「大きな休息—明日のためのガーデニング1095㎡」（せんだいメディアテーク／宮城）、また第50回ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加をはじめ、釜山ビエンナーレ（2004年）、ヨコハマトリエンナーレ（2005年）、あいちトリエンナーレ（2010年、2019年）など、数々の国際展をはじめ国内外のグループ展に多数参加。単著に『在日の恋人』（河出書房新社、2008年）。

2013年ドイツ学術交流アカデミー（DAAD）の招きで一年間ベルリン滞在。

### 【出品作品数】

40点、特別出品作1点

### 【関連行事】

\*新型コロナウイルス感染症対策のため中止



「Kyoto Art for Tomorrow 2021  
—京都府新鋭選抜展—」チラシ

## ④「木梨憲武展 Timing —瞬間の光り—」

会 期：2021年2月16日(火)～3月28日(日)  
 [36日]  
 開室時間：午前10時～午後6時まで  
 ＊金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）  
 休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）  
 会 場：4階・3階展示室  
 入場料：一般1,600円（1,400円）、大高生1,300円（1,100円）、中小生600円（400円）  
 ＊（ ）内は前売券、及び20名以上の団体料金  
 主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞、産経新聞

聞社、読売テレビ、イムラアートギャラリー  
 特別協力：コッカ  
 協 賛：ソニー・ミュージックエンタテインメント  
 担当者：植田憲司  
 入場者：55,859人（1日平均 1,552人）

### 【概 要】

木梨憲武は1994年にバラエティ番組の企画で架空の画家「木梨憲太郎」に扮し、フランス・パリで風景画《セーヌ川》を描き、これがきっかけとなり、本格的な絵画の制作を始めた。木梨は作品制作において、人



の「手」や私たちの暮らす「家」や「街」といった日常的なものをモチーフとしている。鮮やかな色づかいの具象的な絵画表現から、緻密で書き込み、記号的で抽象的な表現、肩の力が抜けた遊び心溢れるオブジェ作品まで幅広い表現を自由に展開してきた。

本展は、国内だけでなく、ニューヨーク、ロンドンでも個展を開催してきた木梨の25年にも及ぶ創作活動から、厳選された作品を一堂に集めた作家活動の集大成となる。絵画、ドローイング、オブジェ、映像作品から木梨の広い交友関係を活かしたコラボレーション作品まで、多岐にわたるジャンルの作品は、その多彩さから美術関係者を含む多くの人々を驚かせてきた。画業を象徴するアイコン的作品から最新作まで、「木梨ワールド」の現在を余すところなく紹介する。

### 【展覧会の構成と主な出品作品】

本展書き下ろし作品を中心に絵画、オブジェ、映像など

### 【出品作品数】

150点



「木梨憲武展 Timing—瞬間の光り—」ちらし

## III - 2 特別展示 ▶ 2) 特別企画展

### ① 「祇園祭～京都の夏を彩る祭礼～」

会 期：2020年6月20日(土)～7月26日(日)

[32日/37日]

開室時間：午前10時～午後6時まで

\*金曜日は午後7時30分まで(入室は30分前まで)

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般・大学生 800円(当日券のみ)

高校生以下無料

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞

協 力：公益財団法人祇園祭山鉾連合会、各保存会

担当者：橋本章、洲鎌佐智子

入場者：6,982人(1日平均 218人)

### 【概 要】

祇園祭の山鉾巡行は、京都の夏を彩る風物詩として長く親しまれてきました。舶来の懸装品や美しい飾金具、そして故事や伝説の物語を体現した意匠の数々など、多様な装飾品で彩られた絢爛豪華な山鉾の姿は、



「祇園祭～京都の夏を彩る祭礼～」ちらし

多くの人びとを魅了してきたのです。

祇園祭の源泉は、遠く千年以上前の平安時代初期にさかのぼり、都の安寧を脅かす疫神の退散を願った祭儀に由来するとされています。それから幾多の年月を経て行く中で、祭礼にはさまざまな変化がもたらされますが、今からおよそ七百年前には山や鉦の姿が祇園祭に登場するようになります。祇園祭の行列をにぎやかな踊りや音曲で囃し美しい装飾が施された山や鉦が往来する様相は、沿道に繰り出す観衆を大いに熱狂させました。その担い手となったのは、後に町衆と総称される都の経済を支えた商工業者たちでした。彼らの情熱は祇園祭の山鉦巡行をより盛大なものへと成長させてゆき、現在の祭礼の姿へと連なるいしずえを作り上げていったのです。

この展覧会では、日本を代表する祭りとして世界に認められた京都祇園祭について、山鉦を彩る華麗な装飾を紹介しました。

#### 【展覧会の構成と主な出品作品】

##### 1. 祇園祭の山鉦

- ・重要有形民俗文化財 前懸 「イーリアス」トロイアの戦争物語「出陣するヘクトールの妻子との別れ」 16世紀 公益財団法人霞天神山保存会
- ・重要有形民俗文化財 前懸 宮島之図 天保2年(1831) 一般財団法人占出山保存会
- ・重要有形民俗文化財 前懸 緋羅紗地蘇武牧羊図 刺繍 安永2年(1773) 公益財団法人保昌山保存会
- ・京都市指定文化財 蘇武牧羊図屏風 円山応挙筆 江戸時代中期 公益財団法人保昌山保存会

##### 2. 祇園祭の記録

- ・京都市登録文化財 「御寄附物有無御断書」 天保10年(1839) 一般財団法人占出山保存会
- ・京都市登録文化財「祇園会占出山神具入日記」 宝暦11年(1761)／文政4年(1821) 一般財団法人占出山保存会

##### 3. 山鉦を彩る飾金具

- ・鉦頭 銅製金鍍金月形 大鋸屋勘右衛門作 元龜4年(1573) 公益財団法人月鉦保存会
- ・重要有形民俗文化財 見送裾飾金具 四季花鳥図文

様鍍金 文政12年(1829) 公益財団法人放下鉦保存会

- ・重要有形民俗文化財 虹梁 亀・海馬と海草に貝尽し 水面に珊瑚 江戸時代後期公益財団法人月鉦保存会
- ・重要有形民俗文化財 欄縁 黒漆塗三十六禽之図鍍金金具付 菱川清春下絵 天保7年(1836) 公益財団法人長刀鉦保存会

##### 4- 1. 山鉦の懸装品

- ・重要有形民俗文化財 胴懸 金地孔雀に幻想花樹文 インド刺繍 18世紀中期 一般財団法人太子山保存会
- ・重要有形民俗文化財 見送 宮廷園遊図毛綴織 文化12年(1815) 公益財団法人油天神山保存会
- ・重要有形民俗文化財 見送 波濤に飛龍文様綴錦 文化13年(1816) 公益財団法人鈴鹿山維持会

##### 4- 2. 山鉦の御神体

- ・重要有形民俗文化財 神功皇后神面 文安年間(1444～49) 公益財団法人祇園祭船鉦保存会
- ・重要有形民俗文化財 白楽天御神体人形 頭部・明暦3年(1657)／体部・寛政6年(1794) 公益財団法人白楽天山保存会
- ・重要有形民俗文化財 八幡宮祠 天明年間(1781～89) 公益財団法人八幡山保存会

##### 5. 近代と祇園祭の山鉦

- ・重要有形民俗文化財 見送 白綴地墨画孟宗竹藪林 図 竹内栖鳳筆 昭和15年(1940) 孟宗山保存会
- ・重要有形民俗文化財 妻飾 木彫彩色丹頂鶴 大正6年(1917) 公益財団法人放下鉦保存会
- ・妻飾下絵 幸野煤嶺筆 明治23年(1890) 公益財団法人放下鉦保存会
- ・重要有形民俗文化財 軒裏絵 金地四季草花図 今尾景年筆 大正7年(1918) 公益財団法人岩戸山保存会
- ・京都市指定有形民俗文化財 かまきり 19世紀中期 蟻螂山保存会

#### 【出品作品数】

116点

## ②「池大雅－文人たちの交流－」

会 期：2020年8月12日(水)～9月22日(火・祝)  
[37日/42日]

開室時間：午前10時～午後6時まで

\*金曜日は午後7時30分まで(入室は30分前まで)

休館日：月曜日(9月21日は開館)

会 場：4階展示室

入場料：一般・大学生800円(600円)／高校生以下  
無料 \* ( )内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人  
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：有賀茜

入場者：7,366人(1日平均 199人)

池大雅 高士訪隠図屏風

池大雅 天産奇葩図巻

池大雅 山亭小酌之図

第3章 大雅、筆墨の世界

池大雅 柳下童子之図 重要文化財

池大雅 伯牙弹琴図

大雅堂画法 京都府立京都学・歴彩館蔵

第4章 大雅へのあこがれ－大雅堂をめぐる人々

池大雅 書簡(あさり貝礼状)

大雅社中連名簿

池大雅念持 如意輪観世音像

韓天寿 司馬温公獨楽園記

京都府蔵(京都文化博物館管理)

田能村直入 印章 京都府蔵(京都文化博物館管理)

## 【概 要】

池大雅は享保8年(1723)京都に生まれ、幼い頃から書をよくし、文人画といわれる分野で活躍した。中国に端を発する「文人」たちは、幅広い教養と知識をもって国のあるべき姿を問うた人々のことをいう。彼らは互いに漢詩を送りあったり、共に書画を作りあげたりしながら、理想の国家、理想の生き方を論じた。

大雅が生きた時代、日本でもまた地位や立場を問わず、文人たちは諸国を行き来して知見を深めようとした。大雅も中国の文人画に学びながら、同時代を生きる知識人たちと交わり、日本における文人画の先駆者の一人と目される。没後は多くの文人たちが、大雅への憧れを口にしていく。

本展覧会では、池大雅美術館から京都府に寄贈されたコレクションを中心として、例年よりも規模を拡大して大雅をめぐる文人たちの交流を紹介した。

## 【展覧会の構成と主な出品作品】

主な展示作品

第1章 大雅、誕生－書との出会い

池大雅 獨楽園記

池大雅 唐詩細楷扇面

泉堂元昶 泉堂之偈

池大雅 庾肩吾 芝草之詩

第2章 万巻の書を読み、万国を歩く

※以上、所蔵先を記さないものはすべて京都府蔵  
(京都文化博物館管理) 池大雅美術館コレクション



「池大雅－文人たちの交流－」ちらし



【「池大雅－文人たちの交流－」展 出品資料一覧】

指定	番号	作者	作品名	材質・技法	形態・員数	制作年	所蔵	
	1	野呂介石	池大雅居室之図	紙本墨画	1幅	寛政4	京都府(京都文化博物館管理)	
	2		机	木製	1基			
	3		池大雅愛玩硯	石製	1点			
	4		竹筆	竹製	2点			
	5		違棚	木製	1棹			
	6	池大雅	金山	紙本墨書	1幅	享保10		1725
	7	三熊花頼	近世崎人伝	紙本	1冊	寛政2		1790
	8	泉堂元昶	泉堂之偈	紙本墨書	1幅	享保14		1729
	9	池大雅	唐詩細楷扇面	紙本墨書	1幅			
	10	池大雅	獨楽園記	紙本墨書	1幅	享保19		1734
	11	池大雅	庾肩吾「芝草之詩」	紙本墨書	3幅			
	12	池大雅	慶子老舞踊図	紙本墨画	1幅			
	13	池大雅	高士訪隠図屏風	紙本淡彩	六曲一双屏風	寛延3		1750
	14	池大雅	寒山拾得図	紙本墨画	対幅			
	15	池大雅	壬生□□僧群詣図	紙本墨画	1巻			
	16	池大雅	衆集図	紙本淡彩	1幅			
	17	池大雅	金鶏落照図	紙本淡彩	1幅			
	18	池大雅	夏景山水図	紙本墨画	1幅	明和8		1771
	19	池大雅	秋江邨図	紙本墨画	1幅			
	20	池大雅	巫峡山水図	紙本淡彩	1幅			
	21	池大雅	山亭小酌之図	絹本淡彩	1幅			
	22	池大雅	葡萄図	紙本墨画	1幅			
	23	池大雅	石崖之図	紙本墨画	1幅			
	24	池大雅	山関之図	紙本墨画	1幅			
	25		大雅堂画法	紙本	3冊			京都府立京都市・歴彩館
	26	池大雅	蕙石図	紙本墨画	1幅			
	27	池大雅	三酸図	紙本淡彩	1幅			
	28	池大雅	伯牙弹琴図	紙本墨画	1幅			
	29	池大雅	孝工記図解	紙本墨画	1巻	延享2	1745	
	30	池大雅	天産奇葩画卷	紙本墨画	1巻	寛延2	1749	
	31	玉瀾	なでしこ図	紙本墨画	1幅			
	32	玉瀾	梅図木盃	木製	1口			
	33		祇園社寄付金受取覚	紙本墨書	1幅			
	34	池大雅	墨梅図	紙本墨画	1幅			
	35	池大雅	墨蘭図扇面	紙本墨画	1幅			
	36	池大雅	墨菊図扇面	紙本墨画	1幅			
	37	池大雅	風蕙図	紙本墨画	1幅			
	38	池大雅	老松鶴図	紙本淡彩	1幅			
	39	池大雅	風竹図	紙本墨画	1幅			
	40	池大雅	和様尺牘文範	紙本墨書	1巻	安永2	1773	
◎	41	池大雅	柳下童子図屏風	紙本淡彩	八曲一隻			
	42	池大雅	張果老図	紙本墨画	1幅			
	43	池大雅	寿老人図	紙本淡彩	1幅			
	44	池大雅	岩永宛書簡	紙本墨書	1面			
	45	池大雅	書簡 伊勢源兵衛宛	紙本墨書	1幅			
	46	池大雅	与葛子琴詩	紙本墨書	1幅	宝暦12	1762	
	47	池大雅	書簡(あさり貝礼状)	紙本墨書	1幅			
	48	池大雅	書簡(軒号宜春のすすめ)	紙本墨書	1幅			

49	池大雅	般若心經	紙本墨書	1幅			
50		如意輪観世音像	金銅铸造	1軀			
51	大典禅師	扁額「大雅堂」	木製	1面			
52		大雅社中「連名簿」	紙本墨書	1面			
53	月峰	池大雅肖像	紙本著色	1幅			
54	韓天寿	司馬温公獨楽園記	紙本墨書	1幅	天明2	1782	京都府(京都文化博物館管理)
55	桑山玉洲	水墨竹石図	紙本墨画	1幅			京都府(京都文化博物館管理)
56	木村兼葎堂	山水図	紙本	1幅			京都府(京都文化博物館管理)
57	田能村直入	売茶翁像	紙本墨画	1幅			京都府(京都文化博物館管理)
58	田野村直入	印章	石製	1点			京都府(京都文化博物館管理)
59	福原五岳	寄懐大雅先生	紙本墨書	1幅			
60	大雅堂定亮	清亮肖像画並びに伝記	紙本著色	1幅	明治20	1887	
61	池大雅	王羲之書扇図	紙本墨画	1幅			
62	池大雅	大雅五十歳 歳旦手形木版	木版	1枚	文化元識	1804	
63		池大雅墓碑銘拓本	紙本	1幅			

※所蔵を表記していない作品は全て京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション  
 ※◎は重要文化財

### ③「木島櫻谷と京都画壇 - 京都三条・大橋家コレクション」

会 期：2020年8月12日(水)～9月22日(火・祝)  
 [37日/42日]

開室時間：午前10時～午後6時

\*金曜日は7時30分まで(入室は30分前まで)

休館日：月曜日(9月21日は開館)

会 場：3階展示室

入場料：一般・大学生800円/高校生以下無料  
 (団体20名以上 600円)

主 催：京都府、京都文化博物館

担当者：畑 智子、洲鎌佐智子

入場者：7,366人(1日平均 199人)

京都画壇の作品を中心に展示。あわせて大橋家の歴史をひもといて紹介するものである。

#### 【出品作品数】

88件

#### 【概 要】

大橋家とは残された家系図によると、宝暦8年(1758)に亡くなった大橋重右衛門を初代とする江戸時代中期から続く旧家である。その五代目弥兵衛(糸屋)の息子・松之助が分家として初代大橋重助を名乗り、三条御倉町に家を構える。5代続いたこの家は、西村總左衛門家が営む染織業(現・千總)と深くかわりながら平成まで続いた。しかし2014年にこの家は後継者がいなくなり、京都府は2016年にその所蔵資料の寄贈を受けた。

今回の展示ではその中から大橋家4代の大橋松次郎と深い交流のあった木島櫻谷・谷口香嶠・猪飼嘯谷ら



「木島櫻谷と京都画壇  
 - 京都三条・大橋家コレクション」ちらし

【「木島櫻谷と京都画壇 京都三条 大橋家コレクション」展 出品リスト】

番号	作者	作品名	材質・技法	員数	制作年
1	木島櫻谷	富士図	絹本着色	一面	明治時代
2	木島櫻谷	初夏・晩秋	紙本着色	六曲一双	明治36年(1903)
3	木島櫻谷	狗児図	紙本着色	一幅	明治時代~大正時代
4	木島櫻谷	孔雀図	絹本着色	一幅	大正時代
5	木島櫻谷	富嶽図	絹本着色	一幅	大正時代
6	木島櫻谷	蓬萊瑞光	絹本着色	一幅	大正時代
7	木島櫻谷	虎図	紙本墨画	一幅	大正時代
8	木島櫻谷	秋野双鹿図	絹本着色	一幅	大正時代
9	木島櫻谷	鷹図	絹本墨画	一幅	大正時代
10	木島櫻谷	白鷺図	絹本淡彩	一幅	大正時代
11	木島櫻谷	群禽	絹本着色	一幅	大正時代
12	木島櫻谷	寒月	紙本淡彩	一幅	大正時代
13	木島櫻谷	月ヶ瀬	絹本着色	一幅	大正時代
14	木島櫻谷	夏山樵座	紙本着色	一幅	大正時代
15	木島櫻谷	百舌	紙本着色	一幅	大正時代
16	木島櫻谷	放牛図	紙本墨画	一幅	大正14年(1925)
17	木島櫻谷	僊客採芝図	絹本着色	一幅	大正15年(1926)
18	木島櫻谷	月下遊狸	絹本墨画	一幅	大正時代~昭和時代
19	木島櫻谷	白鷺	絹本着色	一幅	大正時代~昭和時代
20	木島櫻谷	閑適帖	絹本着色	一帖	昭和4年
21	木島櫻谷	芦江	紙本墨画	一幅	昭和時代
22	木島櫻谷	早春	紙本着色	一幅	昭和時代
23	木島櫻谷	飛瀑	紙本墨画	一幅	昭和時代
24	木島櫻谷	雪後	紙本淡彩	一幅	昭和時代
25	木島櫻谷	燕子花	紙本着色	一幅	昭和時代
26	木島櫻谷	瀑布	紙本墨画	一幅	昭和時代
27	木島櫻谷	昏秋	紙本着色	一幅	昭和時代
28	木島櫻谷	養拙帖	絹本着色	一帖	大正時代
29	猪飼 嘯谷/谷口 香嶠	舞楽図衝立	紙本着色	一基	
30	谷口 香嶠	祇園祭供の図	紙本着色	一幅	大正4年(1915)頃
31	谷口 香嶠	句意盆踊図	紙本着色	一幅	
32	谷口 香嶠	素尊得靈剣図	絹本着色	一幅	
33	谷口 香嶠	童子図	絹本着色	一幅	
34	谷口 香嶠	義経勝浦上陸図	絹本着色	一幅	
35	猪飼 嘯谷	能楽内外詣図	絹本着色	一幅	大正8年(1919)
36	猪飼 嘯谷	観音大士図	絹本金泥画	一幅	大正12年(1923)
37	猪飼 嘯谷	賀茂競馬図	絹本着色	一幅	大正12年(1923)
38	猪飼 嘯谷	内裏雛図	絹本着色	一幅	
39	猪飼 嘯谷	印地打図	絹本着色	一幅	
40	猪飼 嘯谷	頼義得清泉図	絹本着色	一幅	
41	画：木島櫻谷	茶吞茶碗	陶磁器	五客	
42	画：木島櫻谷	土瓶	陶磁器	一点	
43	画：木島櫻谷	火鉢	陶磁器	二対	
44	画：谷口香嶠 作：清水六兵衛	白菊図罐	陶磁器	一点	大正7年(1918)
45	画：谷口香嶠	松葉図菓子盆	漆工	一点	
46	画：谷口香嶠	酢漿草図菓子盆	漆工	一点	
47	画：谷口香嶠 作：五世吉向松月	雪景図千切形水指	陶磁器	一点	大正5年(1916)
48	画：猪飼嘯谷	四季艸花図硯箱	木工	一点	
49	画：木島櫻谷	団扇「鹿」		一点	
50	画：神坂雪佳	団扇「桔梗」		一点	
51	画：猪飼嘯谷	団扇「雀」		一点	
52	神坂祐吉	玉椿蒔絵硯箱	漆工	一点	
53	神坂祐吉	長寛写赤絵菓子盆	漆工	一式	

54	12代永楽善五郎(和全)	仁清写亀甲酒次	陶磁器	一点	
55	14代永楽善五郎(得全)室妙全	紫交趾阿古多形火入	陶磁器	一点	
56	初代伊東陶山	鳳凰模様菓子器	陶磁器	一点	
57	初代伊東陶山	古代花鳥模様煎茶器揃	陶磁器	一式	
58	榊原文翠	牡丹図	絹本着色	一幅	
59	望月玉泉	春堤釣魚図	紙本着色	一幅	
60	幸野樸嶺	檀特山	紙本着色	一幅	
61	今尾景年	四季花鳥図扇面画帖	紙本着色	二帖	明治30年代
62	菊池芳文	秋溪遊鹿之図	絹本着色	一幅	
63	都路華香	蓬莱仙境	絹本着色	一幅	
64	山元春挙	山村春霧	絹本着色	一幅	
65	芝千秋	紅白椿図屏風	紙本着色	二曲一隻	
66	菊池契月	蓮池	絹本着色	一幅	
67	伊藤小坡	秋乃夜	紙本着色	一幅	
68	土田麦僊	鶯もみじ	絹本着色	一幅	
69		三十番神像	絹本着色	一幅	江戸時代 17世紀
70	日遠	七字題目	紙本墨書	一幅	寛永13年(1636)
71	日政上人	七字題目	紙本墨書	一幅	天保15年(1844)
72		大橋家写真	ガラス/紙	二点	
73	大橋政七	鬼子母神像	紙本墨書	一幅	
74	大橋重之助	「山頭旭日五雲隈」	紙本墨書	一幅	明治10年(1877)
75	京都府	表彰状	紙本墨書	一幅	明治10年(1877)
76	三国幽眠	「順風快帆」	紙本墨書	一面	明治10年(1877)
77	三国幽眠	「篤敬忠信」	紙本墨書	一幅	明治8年(1875)
78	三国幽眠	「和歌 山路紅葉」	紙本墨書	一幅	
79	大橋松次郎	大橋松次郎の日記	紙本墨書	一点	明治38年(1905)
80	林忠正	大橋松次郎宛書簡	紙本墨書	一点	
81		千切花西村古図杯	漆工	一点	明治24年(1891)
82	今尾景年・宮原易安	「百事如意」	紙本着色	一幅	明治前期
83	木島櫻谷	絵葉書帖(大橋松次郎宛)		二冊	明治～昭和期
84		年賀葉書帖(大橋松次郎宛)	紙本着色	一冊	明治40年(1907)～昭和12年頃(1937)
85		年賀葉書		一式	明治37年(1904)～大正7年頃(1918)
86	芝千秋	千秋帖	紙本墨画	一冊	大正9年(1920)～昭和27年(1952)
87	谷口香嶠	谷口香嶠書簡(大橋氏宛)	紙本墨書	一幅	

※所蔵はすべて、京都府蔵(京都文化博物館管理)

## \*2020(令和2)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
祇園祭 —京都の夏を彩る祭礼— (京都文化カプロジェクト2016-2020関連事業)	2020年6月20日～7月26日	32	6,982	218	共催 ※1
池大雅 —文人たちの交流—	2020年8月12日～9月22日	37	7,366	199	共催 ※1
木島櫻谷と京都画壇 —京都 三条・大橋家コレクション—	2020年8月12日～9月22日	37	7,366	199	共催 ※1
舞妓モダン (京都文化カプロジェクト2016-2020関連事業)	2020年10月6日～11月29日	48	11,951	249	共催
文化庁メディア芸術祭京都展 『科学者の見つけた詩 —世界を見つめる目—』	2021年1月5日～1月17日	12	3,403	311	共催 ※2
Kyoto Art for Tomorrow 2021 —京都府新鋭選抜展—	2021年1月23日～2月7日	14	16,305	1,165	委託
木梨憲武展 Timing—瞬間の光り—	2020年2月16日～3月28日	36	55,859	1,552	共催
計7件					

※1 総合展示の企画内容をさらに充実させることによって、新型コロナウイルス感染症による緊急対応特別企画展として実施した。

※2 展覧会・上映両方が開催している期間の1日平均

### Ⅲ-3 映画

#### 1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2020.5.20~6.28	映画と古典芸能 —江戸世話物情話の世界を描く	心中天網島／曾根崎心中／河内山宗俊／鳥辺山心中／藤十郎の戀／近松物語／女殺し油地獄／人情紙風船／暴れん坊街道／夜の鼓／浪花の恋の物語／妖刀物語 花の吉原百人斬り	35	43	1,842
2020.6.30~7.8	深作欣二監督生誕90年記念上映 —出町座協賛企画	誇り高き挑戦／柳生一族の陰謀／火宅の人／仁義なき戦い	8	16	693
2020.7.9~7.24	特別企画展祇園祭記念上映 —祇園祭と京の伝統工芸	古都／車大工／文化財を守る人たち／截金(齊田梅亭(日本工芸会))／京蒔絵／京象嵌／京くみひも／祇園祭／京扇子・京うちわ／金銀糸	14	28	691
2020.7.25~8.2	【生誕100年】映画監督・田中徳三特集	濡れ髪三度笠／悪名／眠狂四郎 殺法帖／大殺陣 雄呂血	8	16	645
2020.8.4~8.30	医をめぐる闘い —映画にみる医療現場	狂った一頁／愛染かつら・総集編／暖流／小島の春／酔いどれ天使／静かなる決闘／本日休診／ひめゆりの塔／おとうと／赤ひげ／赤い天使／華岡青洲の妻	24	48	2,213
2020.9.1~9.30	【生誕90年記念】武満徹の映画音楽世界	狂った果実／不良少年／からみ合い／切腹／おとし穴／彼女と彼／怪談／砂の女／太平洋ひとりぼっち／他人の顔／上意討ち 拝領妻始末／心中天網島／はなれ瞽女おりん	26	50	2,449
2020.9.12	日本映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会	蒲田行進曲	1	1	78
2020.9.17	映画監督・山中貞雄を偲ぶ	丹下左膳余話 百万両の壺	1	1	76
2020.10.1~10.4	戦前名作記録映画特集	機関車C-57／或日の干潟／信濃風土記より 小林一茶／或る保母の記録	4	8	172
2020.10.6~10.18	舞妓モダン展記念特集 銀幕の舞妓	祇園小唄 絵日傘 舞ひの袖／祇園小唄 絵日傘 狸大尽／祇園の姉妹／花ちりぬ／祇園囃子／女の坂／京舞・四世 井上八千代	12	24	946
2020.10.20~11.15	【京都ヒストリカ国際映画祭連携】松竹映画 100周年 松竹京都撮影所特集	雪之丞変化／元禄忠臣蔵 前篇／元禄忠臣蔵 後篇／破れ太鼓／大江戸五人男／残菊物語／螢火／元禄美少年記／燃えよ剣	20	39	1,673
2020.10.31~11.8	【第12回】京都ヒストリカ国際映画祭	たそがれ清兵衛／忠臣蔵外伝四谷怪談／荒地の少女グウェン／義理の姉妹／魂は屈しない／モスキート／武士の家計簿／超高速！参勤交代／忠臣蔵／残菊物語／治郎吉格子／暗殺／榎山節考／螢火／切腹／オルジャスの白い馬／愛することのレッスン／御法度／CHAIN／壬生義士伝／カサノバ／サテリコン(フェデリコ・フェリーニの生誕100年を記念したイタリア文化会館-大阪連携企画「フェデリコ・フェリーニ」)上映以外に開会式、『CHAIN』上映後のシンポジウム、オンライン・Q&A等あり	8	22	1,569
2020.11.17~12.26	高峰秀子没後10年 デコちゃんの映画渡世 子役から少女スター、そして女優へ	東京の合唱／綴方教室／花籠の歌／樋口一葉／馬／細雪／宗方姉妹／カルメン故郷に帰る／雁／女の園／二十四の瞳／浮雲／喜びも悲しみも幾年月／女が階段を上る時／名もなく貧しく美しく／永遠の人	30	60	2,395
2020.11.21~11.23	パウハウス100年映画祭 at 京都文化博物館	ニュー・パウハウス／パウハウス・スピリット／パウハウスの女性たち／パウハウス 原型と神話／マックス・ビル 絶対的な視点／ミス・オン・シーン／ファグスーグロピウスと近代建築の胎動	3	11	217
2020.11.28~11.29	京まちなか映画祭2020	新座頭市 破れ！唐人剣／むかしの歌／嵐電／鴛鴦歌合戦／彼女と彼／きょうのできごと上映と作品推薦者のトーク	2	6	238
2021.1.5~1.17	文化庁メディア芸術祭 京都展	ダムタイプ パフォーマンス記録映像『pH』／ダムタイプ パフォーマンス記録映像『S/N』／ダムタイプ パフォーマンス記録映像『memorandum』／ダムタイプ パフォーマンス記録映像『OR』／DUMB TYPE 高谷史郎—自然とテクノロジーのはざま／BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW／ベンギン・ハイウェイ／この世界の(さらにつも)の片隅に／夜は短し歩けよ乙女／たまこラブストーリー／短編作品プログラム (田中秀幸ミュージックビデオ集(電気グルーヴ「Fake It!」)／グループ魂「べろべろ」／電気グルーヴ「Missing Beatz」)／INDUSTRIAL JP(トレーラームービー、ミュージックビデオ)／rain town／浮楼／サイシュ〜ワ／ホリデイ／かまくら)上映とオンライン・トークイベント等	12	23	637
2021.1.19~2.5	おちよんの役者魂 —浪花千栄子出演映画特集	近松物語／お父さんはお人好し／夫婦善哉／猫と庄造と二人のをんな／蜘蛛巣城／大阪物語／彼岸花／悪名	16	16	1,203
2021.2.6~3.14	【映画『羅生門』展記念】映画『羅生門』と大映 京都撮影所特集	羅生門／維新の曲／王将／お遊さま／源氏物語／地獄門／山椒大夫／源氏物語 浮舟／炎上／次郎長富士／ジャン有馬の襲撃／新源氏物語／釈迦	28	38	2,377



2021.2.12～14	「第23回 京都国際学生映画祭」のシアターでの上映中止に伴う代替上映	文化財を守る人たち／甦える文化財	3	3	21
2021.2.17	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト2020年度合評上映会	毎日爆裂クッキング／醒めてまぼろし／窓たち 上映と事前収録のインタビュー	1	1	45
2021.3.16～3.31	京都府所蔵記録映画名作選	鷲進／海に生きる／世界は恐怖する／人間みな兄弟／にっぽん戦後史 マダムおんぼろの生活／彫る・棟方志功の世界／創る・本郷新の世界	11	22	602
2021.3.27～3.28	第26回 京都国際子ども映画祭	Stay Home Diaries／劇場版 ごん-GON, THE LITTLE FOX-／カランコエの花／そんなことを考えるの馬鹿／短編作品プログラム(わすれな草／私たちの愛は誰にも負けない／Miss / 3 feet / Daughter)上映とオンラインでのオープニング・セレモニーやグランプリ発表、講評、事前収録のQ&A等	2	7	293

\*新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため臨時休館(2020年2月28日(金)～5月19日(火))

\*第23回京都国際学生映画祭(2月12日～14日)は新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のためシアターでの上映を中止し、オンラインでの開催となった。

## 2) 特別企画・共催事業

III - 3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

### ① 2020年度外部共催上映等の実績

#### ◆第12回京都ヒストリカ国際映画祭

期間：10月31日～11月8日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学)

共催：KYOTO CMEX 実行委員会

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『たそがれ清兵衛』『忠臣蔵外伝四谷怪談』『荒地の少女グウェン』『義理の姉妹』『魂は屈しない』『モスキート』『武士の家計簿』『超高速！参勤交代』『忠臣蔵』『残菊物語』『治郎吉格子』『暗殺』『楯山節考』『螢火』『切腹』『オルジャスの白い馬』『愛することのレッスン』『御法度』『CHAIN』『壬生義士伝』『カサノバ』『サテリコン』の上映と山田洋次監督のトーク、『CHAIN』上映後のシンポジウムを開催。オンラインではヒストリカ・ワールド作品4本、ヒストリカ・フォーカス作品66本を上映した。

鑑賞者数：1,569人(196人／1日)＋オンライン1,297人

#### ◆バウハウス100年映画祭 at 京都文化博物館

期間：2020年11月21日～23日

共催：Brand new day、ディレクターズ・ユニブ

協力：ゲーテ・インスティテュート東京・大阪

会場：本館3F フィルムシアター、別館2階講義室

内容：『ニュー・バウハウス』『バウハウス・スピリット』『バウハウスの女性たち』『バウハウス 原型と神話』『マックス・ビル 絶対的な視点』『ミース・オン・シーン』『ファグスグロピウスと近代建築の胎動』の上映と小崎哲哉(ジャーナリスト)、高木毬子(同志社大学准教授)のトーク。子ども向けにはダンボール制作ワークショップを開催。

鑑賞者数：217人(72人／1日)

#### ◆京まちなか映画祭2020 日本の音楽好事家による邦画セレクション

期間：11月28日～29日

主催：京まちなか映画祭実行委員会

会場：本館3F フィルムシアター

内容：『新座頭市 破れ！唐人剣』『むかしの歌』『嵐電』『鴛鴦歌合戦』『彼女と彼』『きょうのできごと』の上映とバンヒロシ氏のトーク。

鑑賞者数：238人(119人／1日)

#### ◆第23回京都国際学生映画祭

期間：2021年2月26日～3月5日

主催：公益財団法人大学コンソーシアム京都

会場：オンライン開催

内容：映画祭ノミネート16作品の上映とトークをオンラインで開催。

鑑賞者数：352人(オンライン)



### ◆第26回京都国際子ども映画祭

期間：3月27日～28日

共催：キンダーフィルムフェストきょうと

会場：本館3Fフィルムシアター

内容：世界各国で製作される子ども映画を、ベルリ

ン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『劇場版ごん』『カランコエの花』『そんなこと考えるのバカ』等8作品の上映と監督によるトーク。

鑑賞者数：293人(147人／1日)

## ② 映画製作者・研究者・専門家向け育成・普及事業

### ◆第13回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2020)

期間：2020年11月3日～6日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都市、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学]

共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館 - 大阪、KYOTOCMEX 実行委員会

協力：京都クロスメディア推進戦略拠点

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、当館

内容：世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。今年はコロナ対策のため、募集は国内在住者に限った。web公募の結果、ハンズオン時代劇は29名(うち国籍がカナダ1、ネパール2、中国3、アメリカ2含む)の応募。審査の結果、17の国と地域から外国人25名(うち日本在住3名)、日本人13名が審査を通過(日本、インド、アルゼンチン、フィリピン、中国、香港、カナダ、アメリカ、ルーマニア、インドネシア、タイ、南アフリカ、ポーランド、トルコ、マレーシア、イラン、オーストラリア)。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人(照明監督/東映)、溝口豊(プロデューサー/松竹)監修の時代劇製作ワークショップを開催。

参加人数：20名

本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学]

共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館 - 大阪、KYOTOCMEX 実行委員会

協力：京都クロスメディア推進戦略拠点

会場：本館3Fフィルムシアター、東映京都撮影所、松竹撮影所、旧武徳殿

内容：京都フィルムメーカーズラボ参加者、竹葉リサ(映画監督、KFL2012年参加者)、バレンティーナ・ベラッローモ(ヴェネチア・ビエンナーレ・カレッジシネマ・キュレーター)、入江悠(映画監督)、中村健人(殺陣師)、杉山明(Epic Game)、平澤直(株式会社グラフィニカ)、中村彰憲(立命館大学)、都島信成(東京国際映画祭事務局長)によるトーク。

鑑賞者数：516人(172人／1日)

### ◆第15回映画の復元と保存に関する(オンライン)ワークショップ

期間：2021年1月23日

主催：第15回「映画の復元と保存に関するワークショップ」実行委員会

会場：オンライン+別館2階講義室

内容：大傍正規(国立映画アーカイブ主任研究員)、大関勝久(名古屋大学未来材料・システム研究所特任教授)、佐野千絵(東京文化財研究所名誉研究員)、大矢敦子(当館学芸員)の講演。

鑑賞者数：439人(439人／1日)

### ◆「博物館と回想法」オンライン情報交流会

期間：2月15日

共催：文化継承機構

支援：文化庁 - 博物館等における新しい関係性の構築による収益確保・強化事業

会場：本館6階和室

### ◆京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

期間：11月6日～8日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都市、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖

内容：博物館資料を活用し、回想法を用いて認知症要支援者の活動を活性化させる事業の構築テスト。  
6階和室に昭和30年代、40年代の2つのお茶の間を再現し、その違いを体験。そして、当時の映画館のチラシ(当館・複写物)を手に取ってみたり、テレビ番組『てなもんや三度笠』を鑑賞することにより、楽しく脳の活動を活性化させるプログラム。  
鑑賞者数：35人(35人／1日)

◆文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト  
2020年度合評上映会

期間：2月17日  
共催：特定非営利活動法人映像産業振興機構  
会場：本館3Fフィルムシアター  
内容：『毎日爆裂クッキング』『醒めてまぼろし』『窓たち』の上映と監督のトーク(オンライン参加)。  
鑑賞者数：45人(45人／1日)

### 3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50

点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。  
2020年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2020.5.20～6.28	映画と古典芸能－江戸世話物情話の世界を描く
2020.6.30～7.8	深作欣二監督生誕90年記念上映－出町座協賛企画
2020.7.9～7.24	特別企画展祇園祭記念上映－祇園祭と京の伝統工芸
2020.7.25～8.2	【生誕100年】映画監督・田中徳三特集
2020.8.4～8.30	医をめぐる闘い－映画にみる医療現場
2020.9.1～9.30	【生誕90年記念】武満徹の映画音楽世界
2020.10.6～10.18	舞妓モダン展記念特集 銀幕の舞妓
2020.10.20～11.15	【京都ヒストリカ国際映画祭連携】松竹映画100周年 松竹京都撮影所特集
2020.10.31～11.8	第12回京都ヒストリカ国際映画祭
2020.11.17～12.26	高峰秀子没後10年 デコちゃんの映画渡世 子役から少女スター、そして女優へ
2021.1.19～2.5	おちょやんの役者魂－浪花千栄子出演映画特集
2021.2.6～3.14	【映画『羅生門』展記念】映画『羅生門』と大映京都撮影所特集
2021.3.16～3.31	京都府所蔵記録映画名作選
2021.3.27～3.28	第26回 京都国際子ども映画祭

※新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館に伴い、2020年4月1日～5月19日まで休室

## Ⅲ-4 京都学・歴彩館における展示

Ⅲ-4 京都学・歴彩館における展示

### ① 新収蔵品展

会 期：2020年5月25日(月)～7月5日(日)  
〔41日／42日〕  
当初予定：2020年4月11日(土)～6月7日(日)〔53日／58日〕  
コロナ感染予防のため休室  
休館日：祝日、第2水曜日  
会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室  
入場料：無料  
主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・歴彩館  
担当者：洲鎌佐智子  
入場者：598人（1日平均 15人）

#### 【概 要】

京都府では、京都の文化に資するため美術・工芸品をはじめとする京都に関する資料を広く収集・保存している。本展では平成25年度から30年度にかけて収集された資料のうち各分野の初めて公開する約40点の資料を紹介した。日本画の山崎隆夫、鳥頭尾精、洋画の齋藤真成、中村善種、染織の澁谷和子、坂井修、朝倉美津子、陶芸の木村盛伸など京都で活躍の美術、工芸作家たち（物故を含む）の作品をはじめ、分野も多彩な貴重な資料を数多く紹介し、また一堂に展示するこ

とで改めて京都文化の幅の広さ、奥の深さを実感していただきたいというもの。

#### 【主な出品作品】

山崎隆夫《沼宴》(2008)、鳥頭尾精《樹の景・1994》(1994)、齋藤真成《沼宴》(2008)、中村善種《余呉湖》(2070～80年代)、澁谷和子《すみれ》(1965)、坂井修《友禅訪問着「みぎわ」》(1988)、朝倉美津子《Continuum and Difference》(1994)、木村盛伸《茄子釉大鉢》(2011)、三代三木表悦《深山漆絵箱》(2001)など

【出品作品数】 31点

#### 【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク  
日時：2020年6月25日(木)  
午後2時30分～（30分程度）  
場所：1階展示室内  
担当：洲鎌佐智子  
参加者数：15名

Ⅲ-4 京都学・歴彩館における展示

### ② 仮面展

会 期：2020年10月17日(土)～12月6日(日)  
〔48日／51日〕  
休館日：祝日、第2水曜日  
会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室  
入場料：無料  
主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・歴彩館  
担当者：橋本章  
入場者：2,237人（1日平均 47人）

#### 【概 要】

京都府立京都学・歴彩館には、1万2000点を超える郷土玩具が収蔵されているが、その大半は郷土玩具蒐集家の舩（みかづき）健之助氏が集め、後に京都府に寄贈されたものである。舩氏は昭和5年（1930）頃から郷土玩具の蒐集を始め、平成2年（1990）に亡くなるまで生涯をかけてその活動に勤しんだ。舩氏の活動範囲は、日本国内はもとより海外にまで広がっており、集められた郷土玩具の中には今では見ることのできない希少な品も含まれている。

今回は拙氏のコレクション等の中から仮面を取り上げて公開した。嵯峨面や広隆寺牛祭面など京都にゆかりの面はもとより、日本各地の玩具面のほか、中国や朝鮮半島、ネパールやブータンなど海外の珍しい仮面も紹介した。

#### 【主な出品作品】

嵯峨面「大黒」、「魔除赤鬼」、太秦広隆寺牛祭の面（以上京都）、山台戯仮面、鳳山仮面（以上朝鮮）、ティンプーの土面冥界の王シンジ・チョギャル（ブータン）など

いずれも京都府蔵（京都文化博物館管理）

【出品作品数】 150点

#### 【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日時：10月22日（木）、10月29日（木）

午後2時30分～（30分程度）

場所：1階展示室内

担当：橋本章

参加者数：10月22日 15名、10月29日 24名



「仮面展」会場風景



「仮面展」ちらし

# Ⅳ 調査研究活動

## Ⅳ-1 学芸員の活動

### 1) 研究

#### 【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・近代博覧会と京都の産業  
村野正景 ・当館所蔵の考古資料にかかる基礎的研究  
有賀 茜 ・江戸時代中期に描かれた耕織図の調査  
・京都府立京都学・歴彩館蔵 原家文書の翻刻

#### 【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 橋本 章 ・京都府立京都学・歴彩館委託研究「伏見の文化資源―意義の究明と活用方策―に係る調査研究」  
清水智世 ・公益財団法人ポーラ美術振興財団調査研究助成「戦時下における京都の前衛画家の研究」

### 2) 出講・委嘱

畑 智子 ・第20回福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員

- ・京都日本画新展2021 審査員
- ・第74回姫路市美術展 審査員
- ・「美連協奨励賞」推薦委員

森脇清隆 ・文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業協力者会議委員（主査）

- ・文化庁アーカイブ中核拠点形成モデル事業検討委員
- ・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委員
- ・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
- ・京都国際学生映画祭企画検討委員
- ・NHK大阪放送局連続テレビ小説『おちょやん』映画考証

洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議員

- ・京都国立近代美術館令和2年度企画審査委員会委員
- ・京都国立近代美術館令和2年度第2回美術作品購入評価員

- ・京都国立博物館買取・寄贈評価委員
- ・令和2年度京都市美術館美術品等評価会議委員
- ・滋賀県立陶芸の森陶芸作品収集審査会委員

橋本 章 ・京都民俗学会理事／企画委員長

- ・京都府祭り行事調査事業詳細調査専門調査員
- ・京都祇園祭の山鉦行事歴史資料調査事業委員

西山 剛 ・東京大学史料編纂所 画像史料解析センター 共同研究員

- ・世界人権問題研究センター 登録研究員
- ・北野天満宮 北野文化研究所 特別研究員

大矢敦子 ・立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員

植田憲司 ・第67回桑名市民展審査員

- ・きょうと障害者文化芸術推進機構 検討部会構成員
- ・日本記号学会 理事・編集委員

有賀 茜 ・和歌山県立博物館 企画展「紀伊田辺の画家 真砂幽泉」調査・展示協力2020年6月

- ・2020年度東京大学史料編纂所一般共同研究「承久の乱関係資料の基礎的研究」共同研究員



### 3) 業績

#### ① 論文・著作

畑 智子 ・「明治初期の京都観光に関する資料について—也阿弥ホテルと英文ガイドブック」京都文化博物館研究紀要『朱雀』第33集所収、2021年3月

森脇清隆 ・「映画『北白川こども風土記』と脚本家・依田義賢」コラム執筆（「学校で地域を紡ぐ—『北白川こども風土記』から—」所収、小さ子社、2020年6月）

・「『羅生門』と宮川一夫の魔術」コラム執筆（ソフィア京都新聞文化報道部会議、2021年2月7日京都新聞）

洲鎌佐智子 ・「京都工芸美術作家協会の未来へ向けて」『創立75周年記念京都工芸美術作家協会展—煌—』図録所収、2021年1月

橋本 章 ・『山・鉾・屋台の祭り研究事典』共編著、思文閣出版、2021年3月

・「歴史伝承の成立過程に関する研究—信長上洛と立入宗継の事績を題材に—」京都文化博物館研究紀要『朱雀』第33集所収、2021年3月

植田彩芳子 ・（中野慎之・藤本真名美・森光彦との共著）『近代京都日本画史』求龍堂、2020年8月

・「岡本神草筆 口紅」『國華』1499号、2020年9月

・「総論 日本近代における描かれた舞妓」ほか『舞妓モダン 画家たちが描いた京都の美しい舞妓たち』青幻舎、2020年10月

・「太田喜二郎の研究—雑誌『徳雲』をめぐる京阪神文化人ネットワーク—」『鹿島美術研究 年報（別冊）』37号、2020年11月

・「描かれた舞妓—竹内栖鳳筆《アレタ立に》の史的 position」『日本美術のつくられ方 佐藤康宏先生の退職によせて』羽鳥書店、2020年12月

西山 剛 ・西山剛・小出祐子「『四条真町文書』（京都文化博物館蔵）の特色 史料紹介を兼ねて」（『朱雀』第32集、2020）

・西山剛「歴史展示における差別表象」（『GLOBE』No.101、2020）

村野正景 ・「京都市立北白川小学校の郷土室—学校博物館の活動とその役割の可能性—」（『学校で地域を紡ぐ—『北白川こども風土記』から—』所収／小さ子社／2020年6月）

・「『北白川こども風土記』にかかる学校所在資料」（『学校で地域を紡ぐ—『北白川こども風土記』から—』所収／小さ子社／2020年6月）

—』所収／小さ子社／2020年6月）

・「Discussing the Roles of the Museum of Kyoto in Contemporary Society」（『City Museums as Cultural Hubs: Past, Present and Future』所収／CAMOICOM／2020年9月）

・「博物館学とパブリック考古学」（『メソアメリカ文明ゼミナール』所収／勉誠出版／2021年1月）

・「戦時下の考古学と埴輪の位置」（『さまよえる絵筆—東京・京都 戦時下の前衛画家たち』所収／みすず書房／2021年2月）

・「京都府立鴨沂高等学校所蔵の瓦—学校所在考古資料の基礎的研究—」（『持続する志 岩永省三先生退職記念論文集』所収／中国書店／2021年3月）

植田憲司 ・書評「伊藤俊治『陶酔映像論』」（『すばる 2020年10月号』集英社、2020年9月）

・「美術館と写真のデジタルアーカイブの課題」（京都文化博物館研究紀要『朱雀』第33集所収、2021年3月）

清水智世 ・「Le «style de tableau bouddhiste» chez Gentaro Komaki」（『Revue A』No.9 所収／Marsa Publications Animations／2020年10-12月）

・「小牧源太郎と稲荷と狐—前衛画家の描く稲荷信仰」（『朱』第64号／伏見稲荷大社／2021年3月）

・『さまよえる絵筆—東京・京都 戦時下の前衛画家たち』（弘中智子・清水智世編／みすず書房／2021年2月）

有賀 茜 ・「絵画資料にみる記録と記憶—災害を伝えること」『伝える 災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料』展図録所収、2021年3月

・「江村春甫《伏見九郷図屏風》について」京都文化博物館研究紀要『朱雀』第33集所収、2021年3月

・有賀 茜・松井直人・吉野健一「翻刻 原家文書（京都府立京都学・歴彩館蔵）のうち「原家火事一件」「原一件之控書」」京都文化博物館研究紀要『朱雀』第33集所収、2021年3月

・「岩佐又兵衛筆 誓願寺門前図屏風の修理を終えて」『文化財レポート』第34号（公益財団法人京都文化財団編集・発行）、2021年3月



## ② 発表・講演

**森脇清隆** ・「ヒストリカ・スペシャル『たそがれ清兵衛』山田洋次監督トーク」(コーディネーター、京都文化博物館、2020年10月31日)

- ・「ジャパン・コンテンツの悠久と先端～京都で学ぶ映画～」(講師、大学コンソーシアム京都、2020年11月21日)

**洲鎌佐智子** ・「五節句の歴史的背景を辿る」(NPO法人五節句文化アカデミア/オンライン/2020年11月5日)

**橋本章** ・「自粛される祭礼行事ー「コロナ」後の変わりゆく社会を見据えてー」(於 京都民俗学会オンライン例会、2020年6月26日)

**西山 剛** ・「伊達市ゆかりの洛中洛外図から読む京都文化」(オンライン講演会、だて歴史文化ミュージアム、2020年9月19日)

**村野正景** ・「京都市立北白川小学校の郷土室ー学校博物館の活動とその役割の可能性ー」(学校資料論

『学校で地域を紡ぐー「北白川こども風土記」からー』発刊記念トークイベント第三夜/オンライン/2020年7月9日)

- ・「都市博物館の連携事業ー京都文化博物館の事例ー」(京都・大学ミュージアム連携シンポジウム「コロナ時代の連携ー京都・大学ミュージアム連携の10年とその後」/オンライン/2020年12月20日)

- ・「京都文化博物館と地域コミュニティーまちづくりを担う博物館ー」(ユネスコ・アジア文化センター文化遺産に関わる国際会議 博物館と地域社会/オンライン/2020年12月22日)

**大矢敦子** ・「映画関連資料＝ノンフィルムについて～京都文化博物館の場合～」(映画の復元と保存に関するオンラインワークショップ2021、「映画の復元と保存に関するオンラインワークショップ2021」実行委員会/オンライン/2021年1月23日)

# V 普及活動

## V-1 出版物

### 1) 研究紀要『朱雀』

#### 【『朱雀』第33集】

発行：京都文化博物館

発行日：2021年3月31日

印刷：株式会社ITP

体裁：A4判、74ページ

編集担当：畑 智子

掲載記事：

[論考]

・橋本 章

歴史伝承の成立過程に関する研究

—信長上洛と立入宗継の事績を題材に—

・村野 正景

横地石太郎収集の須恵器

—京都府立鴨沂高等学校コレクションの基礎的研究—

[研究ノート]

・植田 憲司

美術館と写真のデジタルアーカイブの課題

[資料紹介]

・畑 智子

明治初期の京都観光に関する資料について

—也阿弥ホテルと英文ガイドブック

・有賀 茜・松井 直人・吉野 健一

翻刻 原家文書（京都府立京都学・歴彩館蔵）のうち

「原家火事一件」「原一件之控書」

[研究ノート]

・有賀 茜

江村春甫《伏見九郷図屏風》について

### 2) 年報

#### 【京都文化博物館2019(令和元)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2020年9月30日

印刷：株式会社ITP

体裁：A4版、72ページ

編集担当：畑 智子、木村 千尋

### 3) 展覧会図録

#### 【舞妓モダン-画家たちが描いた京都の美しい舞妓たち】

体裁：タテ26cm×ヨコ18.3cm、145ページ

企画・編集：京都文化博物館

企画協力：加藤政洋（立命館大学 教授）、高木博志（京

都大学[人文科学研究所] 教授）

編集：植田彩芳子（当館学芸員）、古屋 歴

発行者：安田英樹

発行所：株式会社青幻舎

発行日：2020年10月6日

印刷・製本：ニューカラー写真印刷株式会社

#### 【Kyoto Art for Tomorrow 2021-京都府新鋭選抜展-】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、39ページ

編集・発行：京都府、京都文化博物館

## V-2 音楽会

◆主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

### 京都文化博物館 Summer Museum Concert 2020

日 時：2020年8月25日、27日、9月1日、4日

主 催：京都文化博物館

会 場：当館 別館ホール

演奏者：

8月25日（火）京都市立芸術大学 14:00 18:00

8月27日（木）京都市立芸術大学 14:00 18:00

9月1日（火）京都女子大学 13:00

9月4日（金）京都女子大学 13:00

入場者：218名

## V-3 京都アート・クラフトマーケット

京都アート・クラフトマーケットは、2008年秋に京都府が中心となって開催した京都アートフリーマーケットを母体とする。京都アートフリーマーケットは、若手作家及び職人の創作活動支援と京都文化博物館が位置する三条通界隈に賑わいをつくりだすために始められたイベントであったが、2018年度をもって終了。2019年秋は、新たなスポンサーを得て、京都アートフリーマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校として開催、2020年春は名称を新たに、京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校

として開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

2020年秋、2021年春は出展ブース削減などのソーシャルディスタンスの確保、マスク着用・手指消毒の徹底、出展者のフェイスシールドの着用など、新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催した。出展者、来場者からは、コロナ禍により、同種のイベントやマーケットの中止が多い中、若手作家、職人の活動支援の場が継続されており、また新たな交流も生まれていると好評であった。

#### 【京都アート・クラフトマーケット】

名 称	開 催 日	入場者数
2020秋 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	2020年9月12日(土)～9月13日(日)	11,020
2021春 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	2021年3月12日(金)～3月14日(日)	20,736

## V-4 学習普及外部連携室

### 1) ボランティア

2021年3月31日現在（2020年度）、64名のボランティアスタッフが活動している。2階総合展示室内における来館者案内や見回りを行った。通常ならば、必要に応じて音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントのサポートにも参加するが、コロナ禍でそうした活動は控えている。日本語30名、英語28名、その他の外国語6名が朝10時から夜7時30分までの間、3交

代制で活動を行った。（計64名）

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを実施するのが通例だが、コロナ禍のため、2020年度はオンライン研修による対応とした。

## 2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

通常、学習普及連携室が軸となり、ボランティアスタッフと学芸員が協働して企画運営を行う「ぶんぱく子ども教室」を実施するが、2020年度はコロナ禍のため、一度も開催することはできなかった。

学習普及連携室チーム（神山俊昭、広井真弓、洲鎌佐智子、植田彩芳子、大矢敦子、長村祥知、有賀茜、森田直子）

## 3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2020年度の来館件数は17件であった。このうち解説を行ったのは、3件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、高校、中学校、小学校がつづく。

本年度は、11月、12月、3月の団体申し込みが多かった。

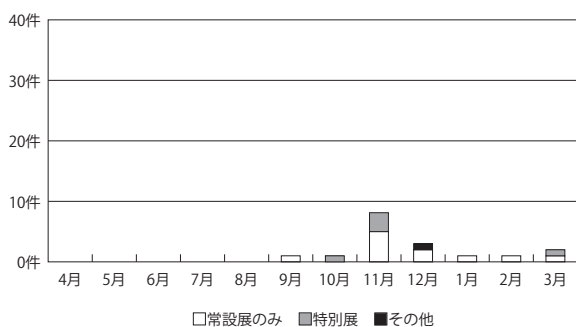
新型コロナウイルス感染症対策として、団体解説を停止するとともに、以下のような「新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のためのお願い」を事前に送付して注意を促した。

連携授業や課外授業に関しては、学芸員の指導の元、複数のグループに分かれる、別室や別場所で解説を実施する等の対策を講じた。

### 【2020年度団体見学案内件数】

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	0	0	0	0	0	18	27	223	59	37	23	204	591
来館件数	0	0	0	0	0	1	1	8	3	1	1	2	17
解説件数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3

### 【月別申込み件数】



### 【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	2
中学校	3
高校	4
専門学校	0
大学	7
支援学校	0
一般	1
合計	17

別紙

### 新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のためのお願い

**ご来館前に**

- ・入館前に検温及び体調確認を行い、発熱及び体調不良の方はご来館をお控えください。

**ご入場の際は**

- ・集合の際は、密にならないよう館内での団体行動はお控えいただき、館外でお待ちください。
- ・必ずマスクの着用をお願いします。
- ・手指消毒をお願いします。
- ・エレベーターをご利用になる前に文化博物館入ロサーモグラフィカメラ(体温センサー)の前に立って、ご自身の体温をご確認の上、エレベーターをご利用ください。37.5℃以上の体温のお客様は、ご入場をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症患者の発生が判明した場合の迅速な感染拡大防止対策のため、以下のご協力をお願いします。

方法① 新型コロナウイルス緊急連絡サービス(こころ)等のアプリ登録。  
方法② スマートフォン等のご利用が難しい場合は、ご自身で来館日時の記録をお願いします。  
※万が一感染者が確認された場合は当館ウェブサイトでお知らせします。

**館内・展示室内で**

- ・団体での行動はお控えください。
- ・会話、発声はなるべくお控えください。
- ・密にならないよう最低1mの距離を保ちながらご覧ください。
- ・展示室内の状況によっては入場制限等をする場合がございます。
- ・マスクを着用ください。
- ・展示ケース、備品、壁に触れないでください。

**その他**

- ・当館スタッフもマスク等を着用しております。ご理解賜りますようお願いいたします。

京都文化博物館

## V-5 博物館実習

### 【実施期間】

2020年8月17日(月)～8月21日(金)までの5日間

### 【実習生】

京都精華大学	1名
京都ノートルダム女子大学	1名
立命館大学	2名
甲南女子大学	1名
京都芸術大学	3名
京都産業大学	1名
神戸大学	1名(計10名)

### 【実習内容/担当者】

・展覧会のマネジメントについて/畑 智子

- ・館内見学/西山剛
- ・映像資料の取り扱いについて/森脇清隆、大矢敦子
- ・民俗資料の取り扱いについて/橋本 章
- ・考古資料の取り扱いについて/村野正景
- ・美術資料の取り扱いについて/清水智世・植田彩芳子・有賀 茜
- ・展示の計画と展示設備/西山 剛
- ・染織資料の取り扱いについて/林 智子
- ・美術工芸品の取り扱いについて/洲鎌佐智子
- ・写真資料の取り扱いについて/植田憲司
- ・文献資料の取り扱いについて/西山 剛・長村祥知
- ・学習普及と地域連携について/植田彩芳子・植田憲司・林 智子・村野正景

## V-6 資料・情報公開

### 1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約84,360冊、逐次刊行物約3,220タイトル(83,540冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約35,610冊、展覧会図録が約16,060冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これら

の図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約1,730件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約250冊、展覧会図録が約360冊、年報・紀要類が約270冊であった。

### 2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトは、Twitterを中心としたSNSからのリンクによるアクセス増加に伴い、若い層の閲覧数も増加している。また、展覧会やお出かけ情報紹介サイトからではなく直接当館HPの展覧会情報ページへのアクセスが増えており、SNSの浸透もうかがえるが、2020年度はコロナ感染症感染予防による緊急事態宣言の発

出などで人々の活動が止まり、前年度にくらべ大幅にアクセス数、ページビューの数字が減った。

#### 【ホームページの利用状況】

2020年度	総数	一日平均
アクセス数	538,734	1,476
ページビュー	4,282,033	11,732



## V-7 外部連携活動

---

### 1) 他館との連携

---

V-7 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

#### ① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市京セラ美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑にする目的で、京都市内4館連携協力協議会（「京都ミュージアムズ・フォー」）が2009年6月12日に発足した。2020年度は学芸部会を1回・事務部会を1回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・ 京都ミュージアムズ・フォー連携講座の実施（年間4回、各館持ち回り）
  - ・ 4館の合同年間スケジュールの作成
  - ・ 各館友の会会員相互割引制度の実施
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4館相互割引・スタンプラリーは中止した。

V-7 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

#### ② 事業協力

##### 【「関西文化の日」事業への連携】

（関西の美術館・博物館、約410施設が参加）

2020年度は関西文化の日（2020年11月14日・15日）を「総合展示入場無料」とした。当館の総合展示入場者は、794人であった。

##### 【「ミュージアムぐるっとパス関西2020」への参加】

今年度は、関西の2府4県（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）と、隣接地区（岐阜、愛知、三重、岡山）の美術館・博物館で構成する合計97施設が参加した。

当館は利用者に総合展示無料（1回）および特別展前売料金扱い（1回）の特典を付与し、併せて館内でぐるっとパスの冊子を販売した。

### 2) 京都府内の学校との連携事業

---

京都府立鴨沂高等学校と連携授業を実施した。学芸員の出前講座を通じて文化財に生徒が触れ、観察した。また京都府立鴨沂高等学校、京都府立鳥羽高等学校、京一中・洛北高校同窓会と連携し、2階総合展示

「京都府内の学校所在資料展—「京一中」「府一」「京二中」のたからもの—」の展示解説パネルの作成、SNSを用いた展示案内を教員・生徒に実施していただいた。

### 3) 地域との連携

#### ① 京都文化博物館地域共働事業「持続可能な地域づくりコミュニティのための人材育成プログラム」

令和2年度文化芸術振興費補助金（地域と協働した博物館創造活動支援事業）の補助を受け「持続可能な地域づくりコミュニティのための人材育成プログラム」を展開し、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、千總文化研究所、京都古文化保存協会と連携して事業を行った。

##### 1. 地域文化マネジメント・プロデュース型人材の育成（地域との連携事業）

###### (1) 地域の景観エリアマネジメント人材の育成

###### ① 三条みちとまちワークショップ

（実施日2020年8/9、9/12、10/10、11/2、11/7、12/19、2021年1/23、2/21：のべ参加人数リアル271人、オンライン257人）

###### ② 姉小路界限景観資源ワークショップ

（実施日時：2020年11/2、11/8、12/11、2021年1/6、のべ参加人数27人）

###### ③ 近代建築ウィーク

○オンライン・シンポジウム（2020年9/27、ライブ視聴者53名、開催後1週間YouTube配信視聴者400名超）

○ツアー（2020年10/2、3、4、のべ参加人数43名）

○ワークショップ（2020年9/28、のべ参加

人数10名）

###### (2) グローバル化対応・文化観光に通じたプロデュース型人材の育成

###### ① 「京都の自然」講座・文化観光に関するパイロットメディアの開発・発信

○「京都の自然」講座（2020年7/25、9/1、のべ参加人数81人）

○文化観光研究会・ワークショップ（2020年9/8、23、11/5、12/5、2021年1/23、のべ参加人数45人）

##### 2. 次世代を担う人材の育成（若年層向け事業・大学との連携事業）

###### (1) 小・中学生を対象とした普及活動

① 地域の歴史文化を次世代につなぐ情報発信事業  
地域の歴史文化リーフレットの作成

② 日本画家・表具師による文化財体験ワークショップ（2021年3/7、21のべ参加人数17人）

###### (2) 大学との連携による人材育成

① 京都非公開文化財についてのオンライン講座（大学連携）（日付2021年3/9（2回）、3/16、18、のべ参加人数94名）

② 地域の考古資料を活用した企画展示ワークショップ（2020.12.15～2021.1.24、のべ参加人数1,090人）

#### ② 【「きものの似合うまち・京都」推進事業（京都府共催）への協力】

2020年10月1日から12月25日まで参加、協力した。「京都きものパスポート2020・2021」の特典施設として期間中、入館料を総合展示無料、特別展団体料金扱

い（きものを着て、パスポート提示の方）とした。なお、特典協力施設・店舗の情報はWebまたはアプリへの掲載となった。

## V-8 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

### 1) 会 員

#### 【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名様)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館の特別・常設展が団体料金に割引および京都府立堂本印象美術館の割引

#### 【会 費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名

#### ①会員数(近年の推移)

(単位:名)

	2020年度	2019年度	2018年度
A会員	361	390	376
グループ会員	136	143	144
B会員	276	277	313
計	773	810	833

#### ②新規加入

(単位:名)

A会員	63
グループ会員	28
B会員	120
計	211

#### ③男女の構成

(単位:名)

	男性	女性
A会員	67.6%	32.4%
グループ会員	45.6%	54.4%
B会員	64.5%	35.5%
計	62.6%	37.4%

#### ④年齢分布

(単位:名)

10代	0
20代	7
30代	19
40代	39
50代	111
60代	215
70代	272
80代	102
90代以上	8
不明	0
最高齢	95
平均	67.37

- ・B会員 年会費4,000円

#### 【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

会員については、A会員、グループ会員については昨年より減少となっている。またB会員については昨年と同様である。

要因として、友の会運営は博物館事業と一体化しており、特別展や上映映画に対する会員の興味度・関心度によるところも要因の一つと考えられる。また今年度は新型コロナウイルス感染症による、博物館全体で臨時休館が実施されたり特別展・総合展の中止やフィルムシアターの休室も影響している。

B会員は比較的廉価なため、20~30代の方の新規加入を期待しているが昨年同様高齢者層の新加入が多くなっている。

今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろんのこと、今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえる

#### ⑤職業

(単位:名)

会社員	114
公務員	26
教員	21
自営業	57
自由業	7
学生	4
その他	65
無職	479

#### ⑥住所分布

(単位:名)

京都市内	533
京都府内	65
近畿圏内	150
その他の府県	25

⑥-2 近畿圏内の内訳	
大阪府	87
兵庫県	33
滋賀県	20
奈良県	9
和歌山県	1
計	150

よう、友の会の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

【備考】 新型コロナウイルス感染症拡大防止による

博物館の臨時休館に対応し、2020年3月から2021年4月までに有効期限切れを迎える会員860人を対象に6ヶ月の期限延長の措置を取った。

## 2) 事業概要

V-8 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

### ① その他

#### 【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

## V-9 文化財保護基金室

公益財団法人京都文化財団では、京都文化博物館内に文化財保護基金室をおき、文化財の保護、啓発に努めている。

### 1) 貸付け事業

社寺建造物、美術品等文化財の保全に必要な修理事業などに長期、低利の文化財保護資金貸付事業を行っている。

また、2020年8月、同年初頭から蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した社寺等の指定文化財所有者のために、さらに低利の文化財保護緊急資金の貸付事業を開始した。

#### 【2020(令和2)年度貸付状況】

区 分	件数	貸付金額(千円)	備 考
文化財保護資金	1	7,000	本堂改修修理
文化財保護緊急資金	2	7,000	
合 計	3	14,000	

### 2) 文化財保護に関する巡回よろず相談

文化財の保存修理等に関して所有者が抱える様々な問題に対処するため、文化財保護関係機関等が一堂に会するよろず相談を開催した。

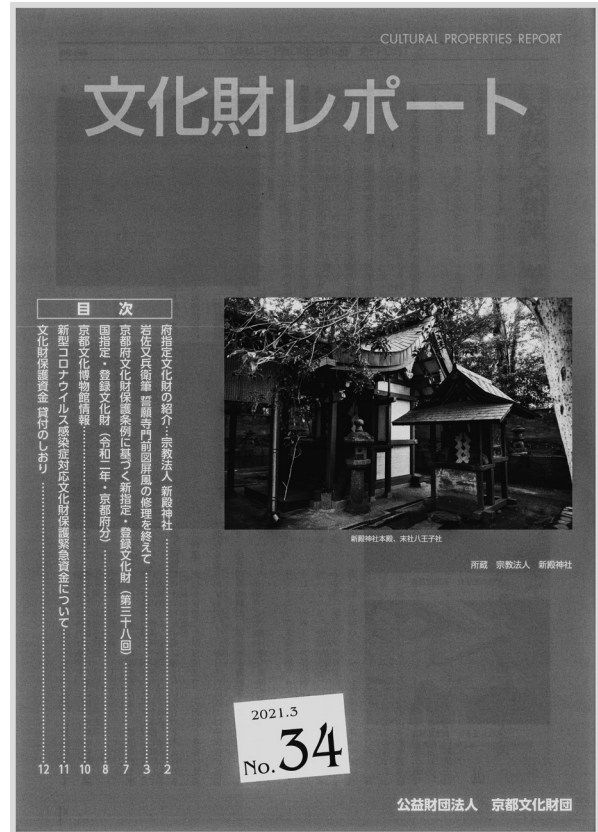
#### 【よろず相談】

実 施 日	2020年10月29日
会 場	京都市(京都文化博物館)
来訪者数	2団体
相談件数	2件

### 3) 文化財保護の啓発普及

#### ①「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート」2,000部を発行した。





# VI ギャラリー事業

## VI-1 5・6階展示室

### 1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都市立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・諸工芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使

用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2020年度の委員会は以下のとおり開催した。

#### 【展示室運営委員会】

委員会開催日	審議対象期間	件数
※2020年 6月	2020年12月～2021年 3月	10
※2020年 10月	2021年 4月～2021年 7月	16
2021年 3月9日	2021年 8月～2021年11月	18

※資料送付による報告

### 2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より、美術・工芸作家が利用できる場を設けており、利用は府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家としている。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などの

ジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品等を審議して決定している。

2020年度の利用件数は、13件であった。

#### 【作家利用一覧】

会 期	展 覧 会 名	分 野
2020 6.16 ~ 6.21	第38回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合
11.3 ~ 11.8	芦田英次 生涯作品展	写真
11.3 ~ 11.8	選抜 京都墨彩画壇 秋季展	日本画(水墨画・墨彩画)
11.3 ~ 11.8	北沢一念能面展	諸工芸(能面)
11.3 ~ 11.8	ヒロセマリコ写真展「情景・II」伝統芸能シリーズ	写真
12.9 ~ 12.13	第17回京都現代写真作家展 受賞者記念展	写真
12.9 ~ 12.13	第29回 帆の会展	洋画
2021 1.27 ~ 1.31	第53回 京都書作家協会 新春展	書
2.4 ~ 2.7	水明書道会 第15回 墨聚展	書
2.5 ~ 2.7	2020年度 京都橋大学 卒業制作展	書
3.10 ~ 3.14	第一美術協会 サムホール展	洋画
3.24 ~ 3.28	第64回 あまがつ会人形展	諸工芸(京人形)
3.25 ~ 3.28	第41回 京都現代書芸展	書

計 13件(66日間) 10,663人

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため32件キャンセル

### 【作家利用分野別件数・入場者数一覧】

	美術						工芸				美術工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	1	2	4	3	0	1	0	0	2	0	0	13
割合(%)	8%	15%	31%	23%	0%	8%	0%	0%	15%	0%	0%	100%
入場者数	1,093	889	3,901	2,760	0	824	0	0	1,196	0	0	10,663
1件平均入場者数	1,093	445	975	920	0	824	0	0	598	0	0	820

\* 諸工芸には、能面・人形を含む。

### 3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準

ずる期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

### 【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2020 9.2 ~ 9.6	KYOTO~TOKYOドラード芸術祭	洋画	271
	9.2 ~ 9.6	第8回ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	356
	9.18 ~ 9.22	第31回中藤益子画伯とその仲間たち(5月開催振替)	日本画	254
	10.14 ~ 10.18	'20写人展	写真	397
	10.14 ~ 10.18	創部84年 京都大学写真部OB展	写真	393
	10.15 ~ 10.18	第37回龍雲会書展	書	511
	11.10	丹羽幸(日本きものシステム協同組合 礼会)	その他	50
	11.19 ~ 11.23	『ラプリーニット デザイン50』出版記念 石井麻子のニットアート展京都展	諸工芸	519
	11.27 ~ 11.29	シルバー美術展/SKYふれあい作品展2020	(美術)総合	1,210
	12.2 ~ 12.6	祇園祭山鉦ご神体と装飾品の特別公開 一鯉山・浄妙山一	その他	478
	1.15 ~ 1.24	第33回京都美術文化賞 受賞記念展 <18日休室>	美術工芸総合	1,452
	2.11 ~ 2.14	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2021 デザイン・建築学課程	(美術)総合	1,453
	2.18 ~ 2.21	「祈りの心と美の創造」展 ~コロナ禍の魂・蠢きと波動~	日本画	378
	3.3 ~ 3.7	第15回“あすなろ”写真展	写真	378
	3.5 ~ 3.7	第34回全国シルバー書道展 京都展	書	758
	3.10 ~ 3.14	第20回福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術)総合	346
計16件 使用日数：73日				9,204

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため11件キャンセル

	会期	展覧会名	分野	入場者数
6階	2020	9.19 京都文博 嘸の会vol.14 蜃気楼龍玉 独演会 (3/7 振替公演)	その他	104
		9.20 京都文博 嘸の会vol.16 笑福亭松喬 独演会	その他	130
	10.17 ~ 10.18	第36回文化書道近畿連合会展	書	464
	10.27 ~ 10.29	創立75周年記念 京都工芸美術作家協会展(作品搬入・撮影)	その他	0
	10.31	京都・五花街の舞妓による踊り鑑賞会(祇園甲部：2回公演) 主催 博和会	その他	210
	11.1	京都・五花街の舞妓による踊り鑑賞会(宮川町：2回公演) 主催 博和会	その他	210
	11.3	京都・五花街の舞妓による踊り鑑賞会(祇園東：2回公演) 主催 博和会	その他	210
	11.7	京都・五花街の舞妓による踊り鑑賞会(上七軒：2回公演) 主催 博和会	その他	210
	11.8	京都・五花街の舞妓による踊り鑑賞会(先斗町：2回公演) 主催 博和会	その他	210
	11.28	三条通 みちとまのWS(京都歴史文化クラスター実行委員会)	その他	51
	11.29	ソーソーシー TOUR 2020~京都公演~ 春風亭昇々・瀧川鯉八・玉川太福・立川吉笑 with 玉川みね子	その他	106
	12.13	第五回京・笑いの会	その他	70
	12.19	三条通 みちとまのWS(京都歴史文化クラスター実行委員会)	その他	34
	2.11 ~ 2.14	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2021 大学院 デザイン学専攻	(美術)総合	1,115
	2.25	(一社)文化継承機構「博物館と回想法」(情報交流会) Zoom開催	その他	20
3.6	第六回京・笑いの会	その他	80	
計16件 使用日数：22日				3,224

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため22件キャンセル

#### 【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美術							工芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶・金工 漆・竹工	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	—	2	1	2	3	2	3	13	—	—	2	—	2	1	16
	日数	—	9	5	7	15	6	12	54	—	—	10	—	10	9	73
	人数	—	632	271	1,269	1,168	528	3,009	6,877	0	—	875	—	875	1,452	9,204
6階	件数	—	—	—	1	—	14	1	16	—	—	—	—	—	—	16
	日数	—	—	—	2	—	16	4	22	—	—	—	—	—	—	22
	人数	—	—	—	464	—	1,645	1,115	3,224	—	—	—	—	—	—	3,224

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会、特別展「舞妓モダン」展関連イベント等。

※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため33件キャンセル

## 4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

#### 【一般利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	小計
5階	件数	—	—	—	—	—
	日数	1	—	—	—	1
	人数	—	—	—	—	—
6階	件数	8	—	—	—	1
	日数	17	—	—	—	3
	人数	1,300	—	—	—	419

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

※5階及び6階の3/31準備日を今年度の使用日数に含む。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため14件キャンセル

## VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業催事からファッションショーまで様々な催事の利用に供している。

近年は、KYOTOGRAPHIEやARTISTS' FAIR KYOTOなど、大型展覧会の開催により新たな客層の賑わいが生まれており、ホールの利用に合わせたサブイベントとして、講義室やウッドデッキの利用も増えている。

2020年秋からはコロナ禍により、インターネットを活用したオンラインイベントやコンサートにも使用されている。

### 【別館利用状況一覧】

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2020.4.1～4.5	祇園祭展 山鉾展示	10.16～10.18	第22回佐々木真弓・アトリエエンジェルズステンドグラス・ランプ展
5.23～5.24	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	10.21	古代学協会
6.8～6.9	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	10.23	オールピアソラコンサート-二胡・チェロ・ピアノトリオ-【収録】
6.14	mama!milk 配信ライブ	10.24	ふたりのリサイタル【配信】
6.20	ふらっと♪ 配信ライブ	10.25	すてきな音楽会
6.27	京都周遊アコースティックフェス 配信ライブ	10.25～10.26	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
6.28	三条まちづくり協議会総会	10.27	通崎睦美コンサート「今、甦る!木琴デイズ」vol.13～アマリリスのある風景(4回公演)
7.18～7.19	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	10.29	文化財保護基金よろず相談
7.24	ふらっと♪ 生配信ライブ	10.31～11.1	京都伝統工芸士連合会 作品展
7.31	通崎睦美コンサート「今、甦る!木琴デイズ」番外編	11.3	ドレクスキップ6thアルバム発売記念ライブ
8.2	京都周遊アコースティックフェス ライブ	11.7～11.8	京都ヒストリカ国際映画祭
8.5	京フィル室内楽シリーズB 「チェコの音楽会/生誕130年マルティヌーとドヴォルザークの世界」	11.10	丹羽幸(樹)会議
8.8～8.9	京あそび 京都刀剣御朱印めぐり記念イベント	11.11～11.15	2020年度 共生の芸術祭「距離のみちのり」
8.15	第20回夏のひととき	11.13	日本工芸会近畿支部
8.16	真夏の恋泥棒リターンズ(プラス・配信コンサート)	11.18	古代学講座
8.18～8.23	翼鵬程(キョウ・ホウテイ)書展	11.19～11.23	「十人十色ガラス展」vol.10 -京都秋色3-
8.25	Summer Museum Concert	11.19	日本工芸会近畿支部
8.26	森本英希フルートコンサート	11.20	京都府立鴨沂高校連携授業
8.27	Summer Museum Concert	11.21～11.22	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
8.28	オールピアソラ委員会リハーサル	11.23	バウハウス映画祭ワークショップ
8.29	mama!milkコンサート	11.27	京都府新鋭選抜展会議
8.29～8.30	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	11.29	森川七月コンサート
9.1	Summer Museum Concert	12.1～12.6	貴久樹 天竺展
9.3	京フィル室内楽シリーズB 「ダンス音楽のタベ」	12.10～12.11	～悠久の時を超えて～能とクラシック楽器による創作舞「楊貴妃」
9.4	Summer Museum Concert	12.12	松尾優生音ピアノコンサート【同時配信】
9.5	崎村潤子ツィンパロンリサイタル	12.13	西垣正信クリスマスギターリサイタル
9.6	RingO&Chance! コンサート vol.5	12.17	Joyful Bells/ハンドベルコンサート
9.12～9.13	2020秋 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK伝統工芸大学校	12.18	IL TESORO del seicento イタリア初期バロック音楽の粋
9.18～9.20	第32回建築家展	12.19	田中純・大西貴浩デュオリサイタル
9.22	8人の饗宴 無限大のハーモニー	12.20	博物館の夜 七尾旅人と寺尾紗穂
9.27	近代建築ウィークシンポジウム	12.20	京都橘大学博物館実習
9.26～9.27	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	12.19～12.20	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
10.3	Drei Violetteアンサンブルコンサート	1.5～1.13	文化庁メディア芸術祭 京都展
10.7	古代学講座	1.20	古代学講座
10.9～10.11	KPA「メイキングワークショップ2021」		

会 期	展覧会・音楽会名
1.22～2.7	Kyoto Art for Tomorrow 2021 京都府新鋭選抜展
1.23	イマジカ復元ワークショップ
1.23～1.24	ぶんぱくアートマルシェ 〈三条ウッドデッキ〉
2.7	京都画廊連合会会議
2.11～2.14	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2021【建築学専攻】
2.16	第28回常磐津都毘蔵研究会
2.17	古代学講座
2.19	京都市立芸術大学古典派音楽研究会「こてけん」 第4回定期演奏会
2.20	でも、春は来るコンサート 深川和美+ラロ(西村泳子・岩崎智早)
2.21	田中純リクエスト&トークコンサート
2.23	京都ファインアーツ・プラス 第22回定期演奏会
2.24～2.25	“男だけ”のオーケストラ
2.27～2.28	ぶんぱくアートマルシェ 〈三条ウッドデッキ〉
3.4～3.7	ARTISTS' FAIR KYOTO 2021
3.12～3.14	2021春京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校
3.12～3.14	ろうじの古本市
3.16	The 4th コールメイプル スプリングコンサート
3.17	Kowanwan Brass 3rd Concert
3.18	京都フィルハーモニー室内合奏団定期公演B室内楽シリーズ「室内楽の愉しみ」
3.19	アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ 結成15周年企画第一弾 ライブコンサート&オンデマンド「イタリア・フィレンツェ モノディーの夜明け」
3.20	松峰綾音 月の庭『月光微韻』シャンソンと朗読のひとつとき Vol.8
3.21	京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団 第67回定期演奏会
3.23	第16回「みやこの粋 京の技」展(展示・販売・実演)
3.24	古代学講座
3.24	Sax × Marimbaサククス&マリンバ デュオリサイタル
3.26～3.28	第33回 建築家展
3.27	京都画廊連合会連続講座
3.27～3.28	ぶんぱくアートマルシェ 〈三条ウッドデッキ〉
3.31	京都フィルハーモニー室内合奏団定期公演B室内楽シリーズ「管楽器の魅力」
	入場者数 計 88,523人

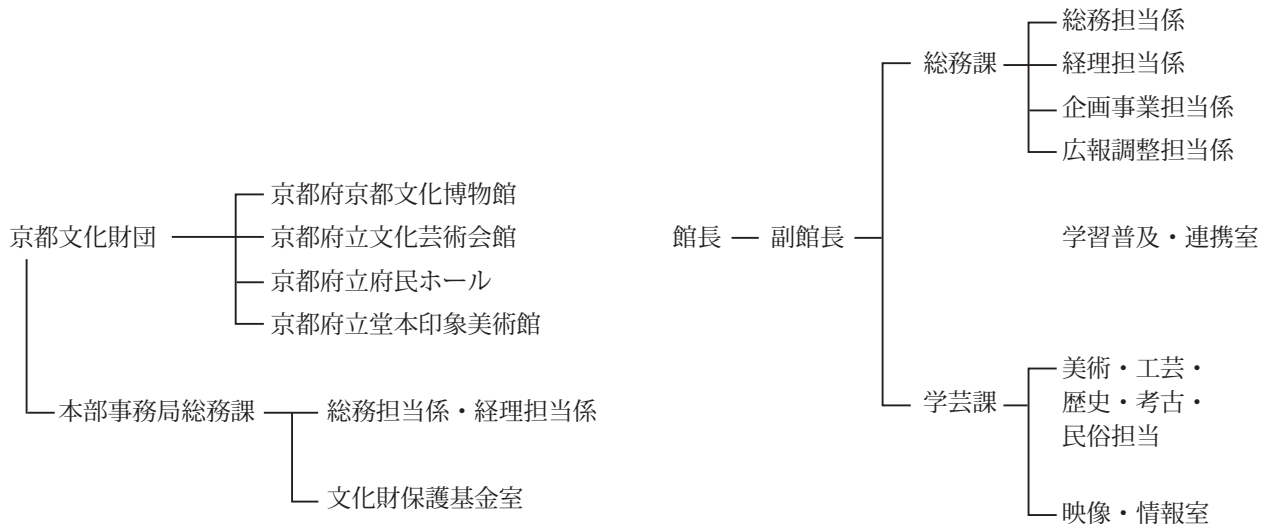
※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため50件キャンセル



# VII 管理・運営

## VII - 1 組織と職員

### 1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる

### 2) 京都文化財団

#### 【京都文化財団役員名簿】

2021年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	西脇 隆俊 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学教授、美術工芸資料館館長
理事長	山田 啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事		平林 幸子	京都中央信用金庫副会長
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長		深尾 憲一	弁護士
理事	金田 章裕	京都府立京都学・歴史館館長、京都府公立大学法人代表理事	監事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
	小林 正幸	京友商事株式会社代表取締役会長		光田 周史	公認会計士
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所教授		中村 健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事

#### 【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	山極 壽一	前京都大学総長、総合地球環境学研究所所長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	赤松 玉女	公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長		佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、学校法人大賞寺学園理事
	有馬 頼底	臨済宗相国寺派管長		潮江 宏三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授
	池坊 雅史	華道家元池坊総務所事務総長		杉本 節子	公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事
	今井 政之	陶芸家		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	上原 雅明	京都府教育委員会教育長職務代理人		名和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事、文庫長
	上村 淳之	日本画家		古川 博規	京都府副知事
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト		山内 康敬	京都新聞社代表取締役主筆
	杭迫 柏樹	書家		山本 壯太	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー
	兒島 宏尚	京都商工会議所専務理事		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

※評議員会長は2021年6月28日選出

### 3) 京都文化博物館

#### 【京都文化博物館職員名簿】

2021年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
	名誉館長	荒巻 禎一	学芸課	課長	課総括 畑 智子
	館長	山田 啓二		課長補佐 主任学芸員	工芸 洲鎌佐智子
	副館長	神山 俊昭		課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	映像・情報 森脇 清隆
総務課	総務課長兼文化財保護基金担当課長	広井 真弓		学芸員	染織 林 智子
	経理担当係長	西村 尚久		学芸員	絵画 植田 彩芳子
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹		学芸員	歴史・文献 西山 剛
	調査役	磯野 真知子		学芸員	歴史・考古 村野 正景
	担当係長	海老名 和孝		学芸員	民俗 橋本 章
	主任	高桑 鉄則		学芸員	歴史・文献 長村 祥知
	主任	新谷 婦美子		学芸員	映像・情報 大矢 敦子
	主事	竹内 文香	学芸員	映像・情報 植田 憲司	
	主事	岡田 友美	学芸員	絵画 清水 智世	
主事	大矢 亜美	学芸員	絵画 有賀 茜		

## VII-2 施設

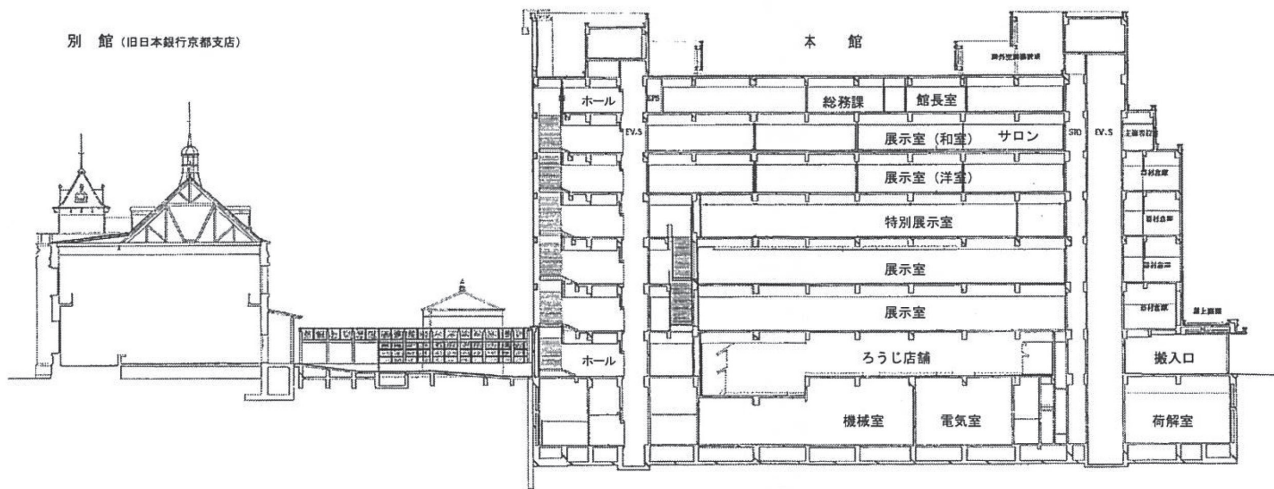
### 1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1  
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所  
 施工期間：1986年10月～1988年9月  
 2010年12月～2011年7月  
 (リニューアル工事実施)  
 敷地面積：4,830.0㎡ (別館を含む)  
 建築面積：3,646.5㎡ (別館を含む)  
 延床面積：15,854.7㎡ (別館を含む)  
 本館床面積：13,591.8㎡  
 (内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡  
 2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡  
 4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡  
 6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡  
 塔屋 182.8㎡  
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

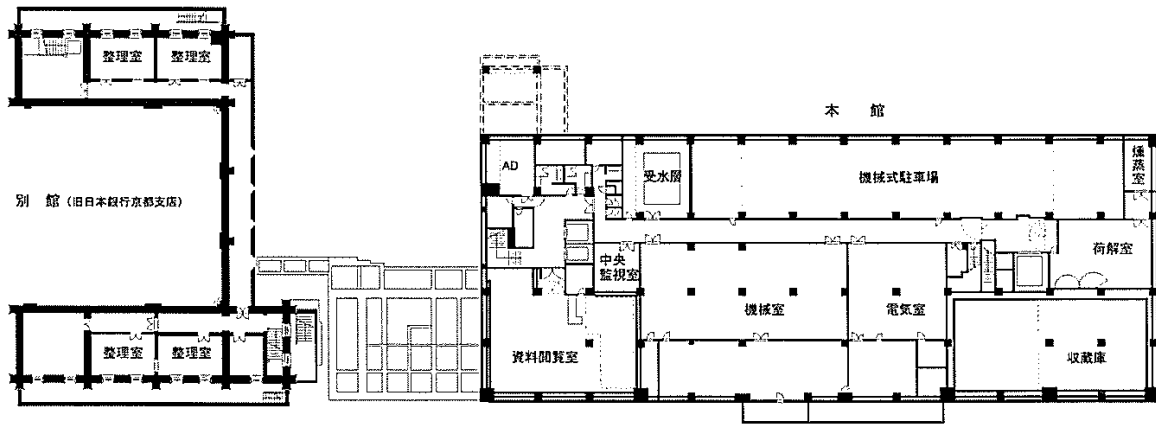
### 2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地  
 設計：辰野金吾・長野宇平治  
 施工期間：1903(明治36)年9月  
 ～1906(明治39)年6月  
 延床面積：2,249.3㎡  
 別館構造：建築面積……819.7㎡  
 煉瓦造、2階建一部地下1階  
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付  
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡  
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺  
 指定：重要文化財  
 指定名称 旧日本銀行京都支店  
 指定年月日 1969年3月12日  
 指定書番号 建第1,708号

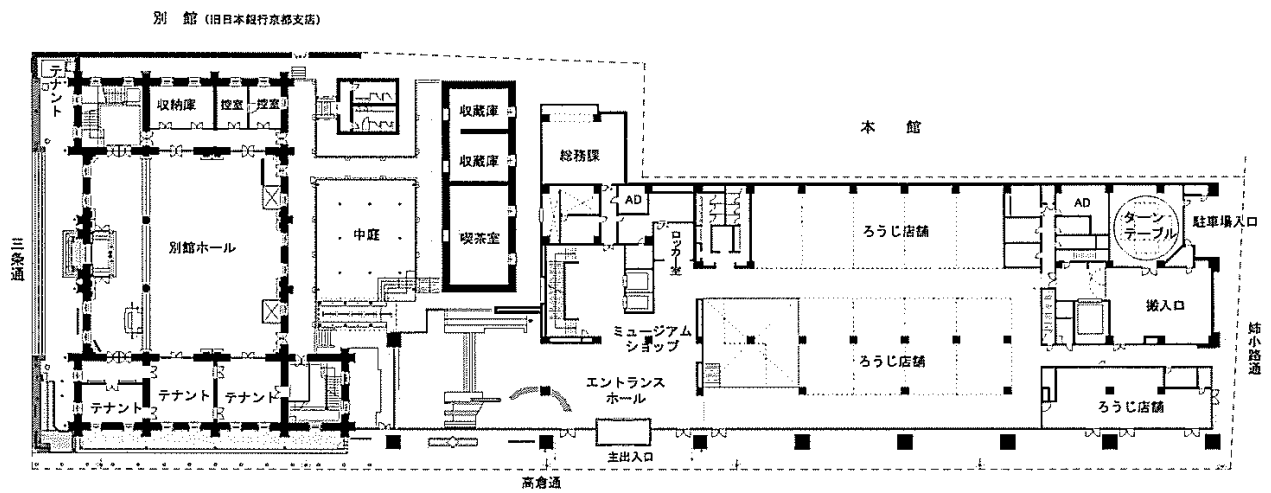
【京都文化博物館断面図】



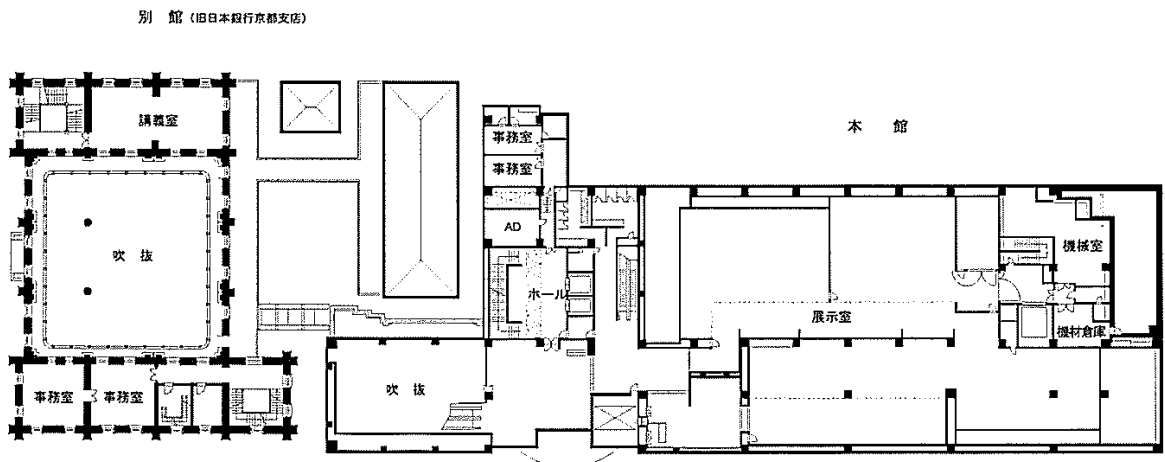
【京都文化博物館 地下1階平面図】



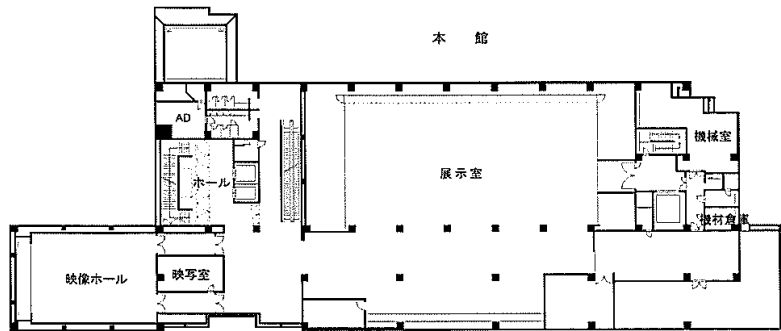
【京都文化博物館 1階平面図】



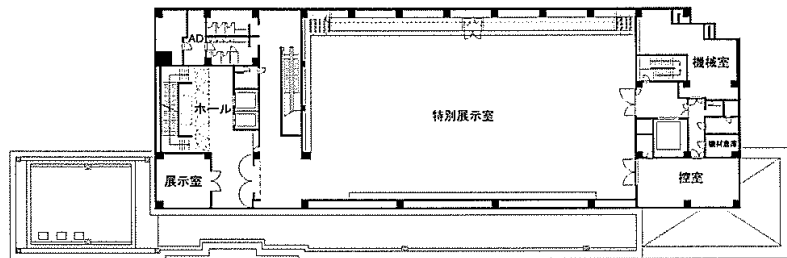
【京都文化博物館 2階平面図】



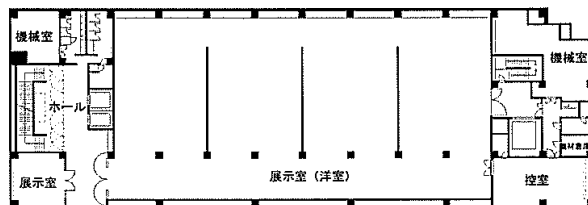
【京都文化博物館 3階平面図】



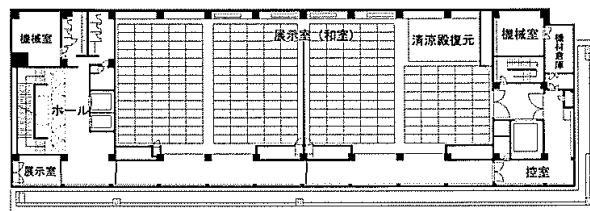
【京都文化博物館 4階平面図】



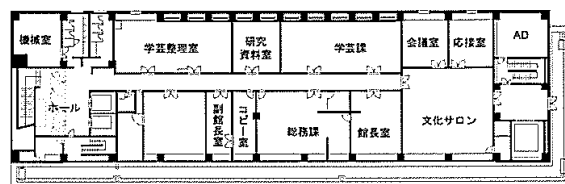
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】





## VII-3 館内店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各

店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は64,665名であった。

### 1) ろうじ店舗一覧

◇和紙と和紙小物の店—楽紙館

◇京のエッセンス15店舗 名店会（順不同）

2021年2月28日まで

香老舗—松榮堂

京麩—半兵衛麩

京念珠—福永念珠舗

京菓子—鼓月

京佃煮—野村

宇治茶—福寿園

京扇子—とくの

京象嵌—川人象嵌

八ッ橋—井筒八ッ橋

京の額—古澤仙壽堂

京風雅便箋—表現社

野菜せんべい—京煎堂

ちりめん小物—くろちく 京つけもの—西利

竹の匠—高野竹工

◇手打ちそば 蕎麦料理—有喜屋

◇あめとカフェ とにまる

◇京都なだ万寶館

◇京・嵐山上流の蔵 京丹山

◇ミュージアムショップ 京都便利堂

### 2) 別館店舗

◇前田珈琲文博店

◇Art Shop JARFO 京・文博

◇アートギャラリー arton art gallery

2021年3月31日まで

◇和雑貨—くろちく文博店

### 3) 博和会・ろうじ店舗行事

#### 【博和会行事】

区 分	名 称	開催日	入場者
博和会イベント	特別展「舞妓モダン」関連イベント 京都・五花街の舞妓による踊り鑑賞会 祇園甲部	2020年10月31日(土)	1部14:00 1部 95 2部15:00 2部 96
	〃 〃 宮川町	2020年11月1日(日)	1部14:00 1部 98 2部15:00 2部 99
	〃 〃 祇園東	2020年11月3日(火・祝)	1部14:00 1部 99 2部15:00 2部 90
	〃 〃 上七軒	2020年11月7日(土)	1部14:00 1部 95 2部15:00 2部 96
	〃 〃 先斗町	2020年11月8日(日)	1部14:00 1部 98 2部15:00 2部 94
	博和会キャンペーン	『ろうじの古本まつり』 協力：京都古書研究会 特別展・総合展の半券でおトクキャンペーン	2021年3月12日～14日 2021年2月16日(火)～

# VIII 2020(令和2)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月日	事項	
2020年		
4月4日	新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止の為、特別展示室及び総合展示室、フィルムシアターを閉室	(～5月18日、FTは～5月19日/展示室他)
5月19日	総合展示「京の翠とわざの粋ー緑釉陶器と緑釉瓦ー」	(～8月30日/2階)
5月19日	総合展示「生誕140周年 津田青楓と京都」	(～6月14日/2階)
5月20日	常設上映「映画と古典芸能ー江戸世話物情話の世界を描く」	(～6月28日/FT)
5月25日	京都学・歴史館 展覧会「新収藏品展」開催	(～7月5日/歴史館)
6月20日	総合展示「皆川月華・泰蔵」	(～9月13日/2階)
6月20日	総合展示「明智光秀と戦国京都」	(～8月16日/2階)
6月20日	特別企画展「祇園祭～京都の夏を彩る祭礼～」開催	(～7月26日/3・4階)
6月30日	常設上映「深作欣二監督生誕90年記念上映ー出町座協賛企画」	(～7月8日/FT)
7月9日	常設上映「特別企画展祇園祭記念上映ー祇園祭と京の伝統工芸」	(～7月24日/FT)
7月25日	常設上映【生誕100年】映画監督・田中徳三特集」	(～8月2日/FT)
8月4日	常設上映「医をめぐる闘いー映画にみる医療現場」	(～8月30日/FT)
8月12日	特別企画展「池大雅ー文人たちの交流ー」開催	(～9月22日/4階)
8月12日	特別企画展「木島櫻谷と京都画壇ー京都三条・大橋家コレクションー」開催	(～9月22日/3階)
8月17日	博物館実習	(～8月21日/館内)
8月22日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝10」	(～10月18日/2階)
8月25日	京都文化博物館 Summer Museum Concert 2020	(～9月4日うち4日間/AH)
9月1日	常設上映【生誕90年記念】武満徹の映画音楽世界」	(～9月30日/FT)
9月5日	総合展示「町のちからー三条御倉町文書の世界ー」	(～11月1日/2階)
9月12日	日本映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会「蒲田行進曲」	(12日/FT)
9月12日	2020秋京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	(～9月13日/別館他)
9月17日	映画監督・山中貞雄を偲ぶ「丹下左膳余話」百万両の壺」	(17日/FT)
9月19日	総合展示「京都府内の学校所在資料展ー「京一中」「府一」「京二中」のたからものー」	(～12月6日/2階)
10月1日	常設上映「戦前名作記録映画特集」	(～10月4日/FT)
10月6日	「京都文化プロジェクト2016-2020関連事業舞妓モダン」開催	(～11月29日/3・4階)
10月6日	常設上映「舞妓モダン展記念特集 銀幕の舞妓」	(～10月18日/FT)
10月17日	京都学・歴史館 展覧会「仮面展」開催	(～12月6日/歴史館)
10月20日	【京都ヒストリカ国際映画祭連携】松竹映画100周年 松竹京都撮影所特集	(～11月15日/FT)
10月24日	総合展示「中川伊作と南蛮陶器の世界ー沖繩に魅せられてー」	(～11月8日/FT他)
10月31日	第12回京都ヒストリカ国際映画祭	(～12月6日/2階)
11月7日	総合展示「近代博覧会と京都の産業」	(～1月11日/2階)
11月17日	常設上映「高峰秀子没後10年 デコちゃんの映画渡世 子役から少女スター、そして女優へ」	(～12月26日/FT)
11月21日	パウハウス100年映画祭 at 京都文化博物館	(～11月23日/FT)
11月28日	京まちなか映画祭2020	(～11月29日/FT)
12月12日	総合展示「動乱の世から太平の世へー戦国を乗り越えた人々のくらしー」	(～1月31日/2階)
2021年		
1月5日	文化庁メディア芸術祭 京都展	(～1月17日/FT他)
1月15日	総合展示「創立75周年記念 京都工芸美術作家協会展ー煌・KIRAMEKIー」開催	(～2月7日/3階)
1月19日	常設上映「おちょやんの役者魂ー浪花千栄子出演映画特集」	(～2月5日/FT)
1月23日	「Kyoto Art for Tomorrow 2021ー京都府新鋭選抜展ー」開催	(～2月7日/4階他)
2月2日	総合展示「雛人形名品展」	(～4月4日/2階)
2月6日	総合展示「映画『羅生門』展」	(～3月14日/2階)
2月6日	【映画『羅生門』展記念】映画『羅生門』と大映京都撮影所特集	(～3月14日/FT)
2月17日	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2020年度合評上映会	(17日/FT)
3月12日	2021春京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	(～3月14日/別館他)
2月16日	「木梨憲武展 Timingー瞬間の光りー」開催	(～3月28日/3・4階)
3月16日	常設上映「京都府所蔵記録映画名作選」	(～3月31日/FT)
3月27日	第26回 京都国際子ども映画祭	(～3月28日/FT)

# IX 新型コロナウイルス感染症予防対策

## IX-1 新型コロナウイルス感染症予防対策による休止等の対応

### ①館の対応

2020年2月28日～3月23日 閉館  
 ※京都府 緊急事態宣言  
 4月4日～5月18日 閉館  
 ※京都府 緊急事態宣言  
 5月19日～6月19日 18時閉館  
 2021年4月13日～4月24日 20時閉館  
 ※京都府 まんえん防止等重点措置  
 4月25日～5月31日 閉館  
 ※京都府 緊急事態宣言

### ②フィルムシアターの対応

2020年2月28日～3月31日 閉館  
 ※京都府 緊急事態宣言  
 4月4日～5月19日 閉館  
 ※京都府 緊急事態宣言  
 5月20日～6月19日 昼1回のみ  
 5月20日～9月25日 定員半数(78名)  
 2021年4月13日～4月24日 夜の部17時繰り上げ  
 ※京都府 まんえん防止等重点措置  
 4月25日～5月31日 閉館  
 ※京都府 緊急事態宣言

## IX-2 展覧会の中止および変更

<p><b>京都文化プロジェクト関連事業</b>  <b>京都 祇園祭</b>          一町衆の情熱・山鉦の風流—          2020年2月24日(金)～5月17日(日)</p> <p>平楽の町・夏・その都市としての精神を支えてきたのが          祇園祭です。この機会に山鉦を飾る船衆の形など          祭品や祭具の展示を行います。並行して近代化を          経ての歴史を振り返るべく、山鉦に込められた物語やその          歴史、そして山鉦の歴史として重要な京都の歴史と祭          具の歴史について展示いたします。</p> <p>3/24から4/3まで展示          4/4から中止</p>	<p><b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p> <p><b>開催中止</b></p>	<p><b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p> <p><b>特別企画展 池大雅</b>  <b>文人たちの交流</b>          8/12(水)・9/22(火)</p> <p>木島櫻谷と京都画壇          京都 三条・大橋家コレクション          8/12(水)・9/22(火)</p>	<p><b>京都文化プロジェクト関連事業</b>  <b>舞妓モダン</b>          2020年10月6日(金)～11月29日(日)</p> <p>舞妓、いまの京都を代表す          文化の一つとして知られ          ています。その歴史の淵          源は意外にも知られて          いません。この機会に          舞妓のファッションと          文化のつながり、さら          は舞妓の歴史から、          現代京都において、          舞妓のファッションと          して成長していく過程を          展示いたします。</p>	<p><b>Kyoto Art for Tomorrow 2021</b>          一京都府新鋭選抜展—          2021年1月23日(金)～2月7日(日)</p> <p>新進作家による単独した展覧会を開催          いたします。あわせて別館ホールでは、特          出作家による展示を行います。</p> <p><b>3種企画展</b>  <b>京都工芸美術作家協会展</b>          一創立75周年記念—          2021年1月15日(金)～2月7日(日)</p> <p>京都工芸美術作家協会の創立75周年を          記念し、陶器、染織、漆、木工、工          芸、現代美術など、多彩な作品約250          点を展示いたします。</p>	<p><b>木梨憲武</b>          Timing—瞬間の光り—          2021年2月16日(金)～3月28日(日)</p> <p>国内だけでなく、ニューヨーク、ロ         ンドンでも開催された木梨憲武。本展は          25年にも及ぶ創作活動から、展          示された作品を一挙に集めた展覧会。          木梨憲武の創作活動、その表現活動は、          絵画、ドローイング、オブジェ、映像          品から木梨の広い交友関係を感          じたアートワーク、インスタレーション          作品まで多岐にわたります。代          表作から最新制作まで、木梨ワ          ルドの現在を余すところなく紹          介いたします。</p>
<p>2020年3月 4  <b>京都 祇園祭</b>          一町衆の情熱・山鉦の風流—</p>	<p>2020年3月 4  <b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p>	<p>2020年3月 4  <b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p>	<p>2020年3月 4  <b>舞妓モダン</b>          2020年10月6日(金)～11月29日(日)</p>	<p>2020年3月 4  <b>Kyoto Art for Tomorrow 2021</b>          一京都府新鋭選抜展—</p>	<p>2020年3月 4  <b>木梨憲武</b>          Timing—瞬間の光り—</p>
<p>4F  <b>京都 祇園祭</b>          一町衆の情熱・山鉦の風流—</p>	<p>3F  <b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p>	<p>3F  <b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p>	<p>3F  <b>舞妓モダン</b>          2020年10月6日(金)～11月29日(日)</p>	<p>3F  <b>Kyoto Art for Tomorrow 2021</b>          一京都府新鋭選抜展—</p>	<p>3F  <b>木梨憲武</b>          Timing—瞬間の光り—</p>
<p>2F  <b>三島館資料</b>          大橋家の歴史と美術</p>	<p>2F  <b>津田青楓と京都</b></p>	<p>2F  <b>明智光秀と戦国京都</b></p>	<p>2F  <b>池大雅</b>          1773-1861は、軽佻な好奇心と豊かな想像          力で戯画や浮世草子を創った浮世絵師。その弟子の丹          阿彌半蔵(1839-1921)は、近代化の波を捉えつつ、浮世          絵の新たな境地を開拓しました。本展では、池大雅と半蔵          の二人の人間関係を軸に展示いたします。</p>	<p>2F  <b>京都府内の学校所在資料展</b>          一「京」の文化、資料から—</p>	<p>2F  <b>京都工芸美術作家協会展</b>          一創立75周年記念—</p>

**三島館資料 大橋家の歴史と美術**  
 2020年3月14日(土)～4月19日(日)

京都の歴史・経済  
 文化の中心地として、  
 京都の歴史・経済  
 文化の中心地として、  
 京都の歴史・経済  
 文化の中心地として、

8/12・9/22

**津田青楓と京都**  
 2020年6月20日(土)～8月19日(日)

日本近代美術において先駆的な役割を果たした津田  
 青楓(1892-1987)の作品を中心に紹介します。

**池大雅**  
 2020年8月22日(土)～10月18日(日)

19世紀の京都に生  
 きた文化人、江戸時代  
 を代表する一人です。  
 池大雅は、浮世絵師  
 として活躍し、その  
 作品は、現代の  
 美術界にまで影響を  
 与えています。

8/12・9/22

**京都府内の学校所在資料展**  
 一「京」の文化、資料から—  
 2020年10月24日(土)～12月6日(日)

京都府内の学校所在資料展  
 一「京」の文化、資料から—  
 2020年10月24日(土)～12月6日(日)

**京の華とわざの粋**  
 一舞妓の世から大平の世へ—  
 2020年12月12日(土)～2021年1月31日(日)

舞妓の世から大平の世へ  
 2020年12月12日(土)～2021年1月31日(日)

**町のちから**  
 一三条御所町文政の舞臺—  
 2020年9月5日(土)～11月1日(日)

町民の生活を支えた町民の舞臺  
 2020年9月5日(土)～11月1日(日)

**近代博覧会と京都の産業**  
 2021年11月7日(土)～2021年11月11日(日)

近代博覧会と京都の産業  
 2021年11月7日(土)～2021年11月11日(日)

# IX-3 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(第2次版)

**京都文化博物館**  
**新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(第2次版)**  
**令和2年9月25日改定**

「11月までの催物の開催制限等について」(令和2年9月11日付け内閣官庁新型コロナウイルス感染症対策推進室事務連絡)に基づく制限の緩和にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを改定する。

**I 共通事項(施設利用者、従業員(館内店舗、委託業者を含む))**

- 来館前の検温実施の要請の他、来館自粛を促す条件を事前にホームページ等で周知するとともに、館内に明示する。従業員に対しては、必要に応じて医療機関等の受診を促すとともに、自宅待機させる。
  - 一平熱と比べて高い発熱(目安として37.5℃以上、以下同じ。)のある場合、咳・咽頭痛等感冒様の症状がある場合
  - 一新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
  - 一過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在留者との濃厚接触がある場合 等
- サーモグラフィー等による来館者に対する検温を実施し、平熱と比べて高い発熱がある場合は、入館を制限する。
- 対人間の接触をできるだけ避け、最低限人と人が接触しない程度の間隔を確保し、入口等の行列が生じる時は、必要に応じフロアマーカ―等を設置し、十分な間隔(最低1m)を空けた整理等を促す。
- マスクの着用、咳エチケット、手洗い、配渡された手指消毒剤による手指の消毒を徹底する。
- 対面での対応する場合、アクリル板等により来館者との間を遮蔽する。
- 従業員は現金等を扱う際は手袋を着用し、現金の取扱いを減らすためキャッシュレス決済を導入する。
- 施設内共有部分(エレベーターボタン、手すり等)の定期的な消毒、ペーパーカー、車椅子等の貸出物の消毒を行う。
- エレベーターの定員は、4人とする。
- 施設内が密になる時間帯の空調の換気を強化するなど適切な換気を実施する。
- 大声を出さないよう注意喚起する。
- 従業員のユニフォーム等のこまめな洗濯を行う。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報等の取扱いに十分注意しながら、来館者に対してスマートフォンアプリケーションの利用を促す。
- 感染者が発生した場合は、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。
- 従事者及び来館者に対し、差別防止の徹底について周知する。
- 「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく施設運営を行うとともに、その旨をWEBサイト等で公表する。

1

**II 展覧会での留意点**

- 感染予防のため、チケット等のもぎり等は原則来場者本人にしてもらう。
- 感染予防のための入場の制限を実施する。
- 展示室内で入場者の滞留が発生しないための措置を講じるとともに、会話を控えるよう求める。
- ハンズオン作品は原則展示しない。やむを得ない場合は職員が管理して消毒を徹底する。
- 感染者の発生等とともない、保健所等の指導による展示室等の消毒が行われる場合、露出展示されている展示物や展示ケースへの悪影響に備え、あらかじめ展示物や展示ケースと来館者の距離を長めに設定し、導線を検討する。

**III 博物館における公演等の開催に際し、「I 共通事項」の他に講ずべき対策**

施設において、講演会、コンサートや演劇等の公演等(以下「公演等」という。)が開催される場合には、以下の措置を講ずることとし、その際、措置を講ずるべき主体は、公演等の主催者であることに留意し、施設管理者との連携・協力の下で以下の対策を実施する。

**1 公演等前**

- 各回の公演等ごとに、当該公演等の来場者(以下「公演来場者」という。)の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。また、公演来場者に対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 公演等のスタッフ(以下「公演スタッフ」という。)の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。また、公演スタッフに対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 本ガイドライン及び施設ごとの対応方針について、全員に周知徹底を図る。

**2 公演等当日**

- 公演来場者の感染防止策は「I 共通事項」及び以下のとおりとする。
  - マスクを着用していない公演来場者に対して公演等の主催者により配布するなど、マスクの着用を徹底する。
  - 密閉空間は、密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を確保する。この場合、マスクの着用状況が確認できるようにするとともに、着用していない場合、個別に注意等を行う。また、大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるような体制を整備する。
  - 合唱等の演者が発声する公演等については、舞台から公演来場者の間隔を最低2m確保するとともに、演者間の感染リスクが低減される措置を講ずる。
  - 公演等中の公演来場者同士の接触は控えるよう周知する。
  - 公演来場者と接触するような演出(公演来場者をステージにあげる、ハイタッチをする等)は行わないこととする。
  - 場内における会話制限を実施する。
  - 公演スタッフの感染予防策として、催事の運営に必要な最小限の人数とする。
  - 会場内の換気を行う。
  - 人員の配置や導線の確保等により、休憩時間や待合場所等での密集を回避する。

2

- ・ 入待ち・出待ちは控えるよう呼びかけ。
- ・ 終演後の面会は原則禁止する。
- ・ 感染が疑われる者が公演等中に発生した場合は、VI(5)と同様に取り扱う。
- ・ 感染が疑われる者が公演等の終了後に発生したことが判明した場合は、京都文化博物館に連絡を行うとともに、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。

**IV フィルムシアターでの留意点**

- マスク着用の上、途中入場は不可とする。
- 入退出時(入退出時の行列含む)や集合場所等において人と人との十分な間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保し、入口前にフロアマーカ―を設置する。

**V 貸館での留意点**

主催者は、当ガイドラインに基づき事業を実施するとともに、施設管理者が通知する留意事項に従う。十分な感染対策等が講じられないと判断された場合は、当該主催者に対して開催の自粛を促す。

**VI 施設の感染対策**

**(1) 飲食**

- ・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限する。
- ・ 対面での飲食や会話を回避するよう促す。

**(2) トイレ**

- ・ 清掃を徹底するとともに、不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を行う。
- ・ トイレの水を流す際は、トイレの蓋を開けて行うよう表示する。

**(3) 清掃、消毒等**

- ・ 清掃従事者は、殺菌が認められる薬品等を利用し、不特定多数が触れる環境表面を清拭消毒する。
- ・ 清掃従事者は、鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して捨てる。
- ・ 清掃従事者は、必ずマスクや手袋を着用し、作業完了後手洗いをする。
- ・ 清掃従事者は、業務完了後にマスクや手袋を脱いだ後、必ず石鹸と流水で手を洗う。

**(4) 店舗**

- ・ テナント事業者等と連携の上、以下の措置を講ずる。
  - ・ 飲食物を提供する場合、家族等の一集団と他の集団との間隔が概ね1m以上となるよう座席を配置するよう、各店舗において席の位置を工夫する。
  - ・ 混雑時の入場制限を実施する。
  - ・ 施設内の換気を徹底する。
  - ・ 食器、テーブル、椅子等の消毒を徹底する。
  - ・ 飲食施設に関わる従業員は、体調管理、マスクの着用及び手指消毒を徹底し、飲食施設の利用者も手指消毒を行ってから入場する。
  - ・ 物販を行う場合は、多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わない。

**(5) その他**

館内において、感染が疑われる者が見つかった場合、以下のとおり対応する。

- ・ 感染が疑われる者を速やかに待機場所へ隔離する。
- ・ 対応する従事者は、マスク、防護服、手袋の着用等適切な防護対策を講ずる。

3

- ・ 速やかに、保健所等へ連絡をとり指示を仰ぐ。
- ・ 当該者が感染していた場合は、保健所等との連携の下に、速やかな情報公開等事後の対策を講ずる。
- ・ 貸展示室利用者等において、感染が疑われる者が見つかった場合は、速やかに京都文化博物館総務課まで連絡をとること。

4

---

## 京都文化博物館 2020(令和2)年度年報

発行日 2021年9月30日  
編集・発行 京都府京都文化博物館  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL：075-222-0888  
FAX：075-222-0889  
印刷 株式会社 ITP